



(公社)鹿児島県診療放射線技師会

# 会報

平成25年9月

第118号



公益社団法人 **鹿児島県診療放射線技師会**

鹿児島市東坂元四丁目28-11  
TEL 099-248-0028  
FAX 099-248-0028



## 目 次

巻頭言	「会報発行に際して」 (公社) 鹿児島県診療放射線技師会 会長 池田 睦	1
	リレー・フォー・ライフ・ジャパンかごしまに参加して	2
	第23回参議院選挙に関して	6
	第23回参議院選挙の反省点について	7
	認定技師制度の認知について	9
	理事就任にあたって	13
お知らせ	日本診療放射線技師会永年勤続表彰について	15
	鹿児島県診療放射線技師女性の集いウェブサイト開設のお知らせ	19
	女性サミット「女性診療放射線技師の小部屋」ウェブサイト・Facebook ページ 開設のお知らせ	20
	寄付の紹介	21
	第8回九州放射医療技術学術大会のお知らせ	22
	第30回日本診療放射線技師学術大会(大分県別府市で開催)のお知らせ	23
ご案内	平成25年度(公社)鹿児島県診療放射線技師会秋季学術大会のご案内	25
	平成25年度鹿児島地域研修会並びに一般演題募集のご案内	26
	第27回南薩地域研修会開催について	28
報 告	平成24年度 大島支部研修会報告	29
	レントゲン週間イベント市民公開講座 報告	31
	第1回 鹿児島支部 アフターミーティングに参加して	32
	平成25年度 第10回フレッシュャーズセミナー(開催報告)	34
	鹿児島 CT 研究会活動報告	36
	鹿児島医療画像情報管理士部会報告	38
	平成25年度 リーダー研修会開催報告	39
	静脈注射(針刺しは除く)講習会開催	41
	平成24年度(公社)鹿児島県診療放射線技師会 春季学術大会 開催報告	43
	足関節X線撮影における至適撮影法を探る 側面天蓋角: TLS 角に着目して	45
	膝関節の軸位影における検討	48
	Flat Panel Detector(FPD)長尺撮影の使用経験	51
	トモシンセシスの断層厚について	54
	乳房超音波検査の基本テクニックとピットホール	57
	透視装置における線量表示値と実測値の比較検討	60
	小児心臓CTの撮影条件の検討	63

アルツハイマー型認知症における解析ソフトの比較検討	66
当院における脂肪抑制法 IDEAL の使用経験	70
理事会議事録 平成25年度 第1回理事会議事録	73
第2回理事会議事録	82
総会議事録 臨時総会議事録	92
第92回鹿児島県診療放射線技師会定時総会議事録	98
平成24年度 事業報告	105
平成24年度 収支計算書	112
平成24年度 監査報告書	118
岡田 淳徳先生 祝賀会 ～瑞宝双光章受章～	119
富吉 司先生 祝賀会 ～瑞宝双光章受章～	123
お願い 会員情報の修正について	127
会費納入について	128
漏洩線量測定事業について	129
理事・監事名簿	130
広告掲載一覧	131
広告	

## 会報発行に際して

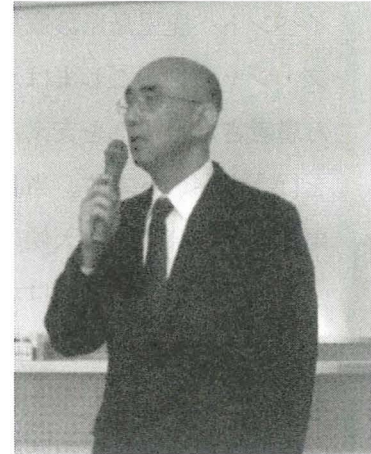
公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

会長 池田 睦

## 巻頭言

平成25年4月1日に公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会としてスタートして、平成25年度の事業計画、予算に沿って技師会運営を取り行っています。

5月11日(金)、がんサポートかごしまのリレー・フォー・ライフ・ジャパンかごしまのイベントに参加して、午後から夕方までパネルの展示や骨密度の測定を90名近くを行ないました。また、7月6日(土)には総合メディカル(株)の小宮裕恵先生を講師としてリーダー研修会を開催しました。人事管理、人材育成、コーチングについて様々な観点からリーダーとして必要な資質について



講演され、リーダーとしてのビジョンや方針、部下とのかかわり方等を深く考えさせられた大変有意義な研修会でした。また、今回の研修会の内容はリーダーだけでなく、中堅や若手の方々にも十分に取入れられる内容でした。リーダーだけではなく、通常の技師会の特別講演にもお願いしたく、機会があれば会員の皆様方にも聴講の出来ればと思います。

6月1日に第73回公益社団法人日本診療放射線技師会の定期総会が東京都千代田区の日経ホールで開催されました。平成24年度の事業報告と決算書の承認、平成25年度事業計画案と予算案の審議があり共に問題なく承認されました。定期総会資料はJART会誌6月号に掲載されておりますので詳細はご覧ください。

日本診療放射線技師会では厚生労働省から2009年度に提唱されたチーム医療の推進を効果的に行うために準備をしております。平成24年度から25年度にかけてもその路線を維持しております。全国的なアンケート調査に基づき、現在の診療現場の状況が診療の補助行為として認可されるような研修制度を全国的に行い、教育等によって安全を担保した上で検査関連行為と核医学検査を診療放射線技師の業務範囲に追加するよう努力しております。この件については第25回社会保障審議会医療部会で意見がまとめられております。検査関連行為とはご存じのような造影剤注入機からの造影剤の投与、留置針の抜針・止血、下部消化管検査のネラトンチューブの挿入等を差します。また、制定後60年以上経過している診療放射線技師法の改訂等が平成25年度の主な事業として挙げられています。いずれの問題も今年度中には国会で審議される予定です。鹿児島県診療放射線技師会では日本診療放射線技師会の委託事業としてこれらの講習会や研修会の事業を行って参り、数多くの会員に参加していただきました。平成25年度は抜針講習会を8月4日に開催しており、また昨年度MRIの基礎講習を開催いたしました。平成25年度も別なモダリティーの基礎講習の開催も計画しております。

これからも鹿児島県診療放射線技師会活動にご協力をよろしくお願い致します。

## リレー・フォー・ライフ・ジャパンかごしまに参加して

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会会長 池田 睦

平成25年5月11日(土)に開催されましたリレー・フォー・ライフ・ジャパンかごしまのイベントへ鹿児島県診療放射線技師会として初めて参加しました。このリレー・フォー・ライフ・ジャパンかごしまは「つなげよう命のリレー」を目標にして今年で7回目の開催です。がん患者さんとそれを支える家族や医療団体、公的機関が一緒になって24時間のリレーウォークを行うイベントです。当日は朝から雨で大変な1日になるかと思われたのですが、昼過ぎから雨も上がり爽やかな天候のもとにイベントが開催されました。

参加されている方々はがん患者さんとがんを克服した方(サバイバーと言います)、またその家族や医療団体、医療施設の医療従事者が参加しています。がん患者さんと共に歩くことでがんに向かう勇気や生きる感動を分かち合おうとするものです。

鹿児島県診療放射線技師会の会員も病院から参加している方もおられ、自分の参加時間には会場に集まっておられました。他のコ・メディカルの団体や医療施設の方々もたくさん参加されており、リレーウォークには52チーム、870名、イベント全体では延べ参加人数は1,000人という大きなイベント結果でした。寄付金やグッズの売り上げで200数十万円集まり、それから会場設営費や広告代その他諸々の支出を差し引いた残りの60万円を対がん協会へ寄付されました。鹿児島県診療放射線技師会会員も技師会の旗を持ってそれぞれ1~2週のウォーキングを楽しみました。実行委員会からこのイベントの参加に感謝を表す意味として表彰状が贈られてきましたので資料と共に供覧します。

今回は来年の5月10日に開催されます。鹿児島県診療放射線技師会としてブースの展示だけではなくリレーウォークにも参加するのも良いのではないかと思っている次第です。平成26年度の事業にあげるか理事会でも検討したいと考えます。また、その時には皆様方のご協力をお願い致します。

関係者各位

平成25年6月吉日

リレー・フォー・ライフ・ジャパンかごしま実行委員会  
実行委員長 白石 隆志

リレー・フォー・ライフ・ジャパンかごしま ご協力のお礼

拝啓

初夏の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、5月11日・12日に開催されました「リレー・フォー・ライフ・ジャパンかごしま～つなげよう！命のリレー～」におきましては、たくさんのご支援・ご参加をありがとうございました。2007年からスタートした「つなげよう！命のリレー」から7年目を迎えた今回は、天気にも恵まれ過去最高の1000名を超えるご参加をいただきました。

今回のイベントを無事に終了できたのも、ご参加の皆さん、ご出演や救護班でご協力いただいた皆さん、ご支援いただいた皆さんのお力によるものです。心から感謝致します。また次回の開催日程も来年春の5月10日・11日の開催が決定しております。ぜひ来年も変わらぬご支援を頂ければ幸いです。

また当日ご参加いただきましたチームで、参加の表彰状をお渡ししていなかったチームの皆様には同封させていただきました。

敬具

▽問合せ先 リレー・フォー・ライフ・ジャパンかごしま実行委員会  
鹿児島市下伊敷3-1-7鹿児島県民総合保健センター内2Fがんサポートかごしま内  
TEL&FAX:099-220-1888 Mail:rfl-kagoshima@circus.ocn.ne.jp

## リレー・フォー・ライフ・ジャパンかごしま ～つなげよう！命のリレー～



日時：平成25年5月11日（土）12時～12日（日）12時  
場所：ウォーターフロントパーク

### 開催概要

●主催

リレー・フォー・ライフ・ジャパンかごしま実行委員会  
公益財団法人 日本対がん協会

●共催

NPO法人がんサポートかごしま  
NPO法人あなただけの乳がんではなく  
あやめ会  
太陽の会

●後援

厚生労働省、鹿児島県、鹿児島市、鹿児島県医師会、鹿児島県歯科医師会、鹿児島県薬剤師会、鹿児島県看護協会、鹿児島県診療放射線技師会、鹿児島県理学療法士協会、鹿児島県臨床検査技師会、日本臨床衛生検査技師会、鹿児島県栄養士会、がん看護研究会、鹿児島県民総合保健センター（公益財団法人日本対がん協会鹿児島県支部）、鹿児島県地域女性団体連絡協議会、あおぞら会、鹿児島・生と死を考える会、公益財団法人がんの子どもを守る会、さくら会、松実会、西日本新聞社鹿児島総局、南日本新聞社、読売新聞西部本社、朝日新聞社、毎日新聞社、MBC南日本放送、NHK鹿児島放送局、KKB鹿児島放送、KTS鹿児島テレビ、KYT鹿児島読売テレビ、FM鹿児島、鹿児島シティFM

## ルミナリエ

旅立ったがん患者さんへのメッセージ、  
今もがんばっている患者さんへのメッセージ。  
たくさんの思いがこもったルミナリエに灯がとまりました。

## ブース

NPO法人PandAさんの「ダンボールハウス」作り

看護キャラバンバスもやってきました！

アロママッサージ

今年初めてのがん患者会大集合ブース

サバイバーさんのフラッグも作りました

リレーライブイベント  
かごしま 2013  
つなげよう！命のリレー

## 第23回参議院選挙に関して

放射線技師連盟鹿児島支部会員 池田 睦

5月31日に全国会長会議が開催され、その折に、第23回参議院選挙に日本放射線技師連盟理事の畦元将吾氏が出馬される事が伝えられました。畦元氏は「A Z E」の代表取締役社長でもあり、我々と同じ診療放射線技師のため、日本診療放射線技師会として全面的な支援が必要でありました。鹿児島県の会員の皆様方にも総会時や事あるごとに選挙のお願いや技師連盟入会のご案内をさせていただきました。結果は残念ながら当選は出来ませんでした。日本診療放射線技師会の会員数は減少傾向にあり、現在は28,000人程度です。また政治活動を目的として組織された放射線技師連盟は会員数よりもかなり少ない人数ですので組織として票を伸ばす難しさを感じた選挙でした。

診療放射線技師が将来的に抱える諸問題、業務拡大や待遇改善、制定後60年以上も経過し、現在の医療業務とそぐわない部分も多い診療放射線技師法の改訂等も国政に我々の推薦する仲間が居れば改訂することは難しい問題ではなかったと思われます。しかし、全国的な票の集まりが意外なほど獲得できなかったのは政党の公認取得から選挙期間までの間が2か月間程度とあまりにも短かった事も当選できなかった原因の1つでもあろうかと思ひます。現在、放射線技師連盟で分析や選挙の見直しを行っております。

再度、3年後に診療放射線技師が出馬するようであれば、今から広報活動を行い末端までの会員への周知や他職種団体への協力要請等を行うことが重要と考えられます。また非会員の会員化及び技師連盟の入会率の増加を図らなければなりません。皆様方にも非会員の勧誘や技師連盟への入会をお願い致します。ちなみに今回の選挙の畦元氏に対する鹿児島県の投票数は九州地域で福岡県を抑えて最多でした。また一人当たりの得票数も2倍であり、全国において広島県、岐阜県に次いで3番目でした。皆様方のご協力に大変感謝申し上げます。

## 第23回参議院選挙の反省点について

鹿児島県診療放射線技師会 池田 睦

1. 放射線技師連盟だけの組織活動だけでは当選の可能性は低い。  
他職種団体との協力体制が必要である。  
前回の歯科技工士会の代表時にはそれなりの得票数（90,000票）を確保できた。
2. 診療放射線技師会の単独候補であったため、選挙の具体的な対策が不慣れであった。
3. 他職種に応援を依頼しても、他職種の推薦候補が決まっておらず協力が得られなかった。
4. 自民党の推薦を貰えたのが選挙の2か月前くらいであったため、選挙活動が不十分であった。  
選挙活動をもう少し長い期間をかけて行う必要がある。例えば3年後の選挙を目指すのであれば、今から準備しておかなければいけない。3年間かけて候補者の知名度、診療放射線技師会としての必要性を時間をかけて末端の会員まで浸透させていく必要がある。また、選挙方法も政党ではなく候補者名の記入の徹底を図る必要もあろう。
5. 畦元候補の知名度はそれなりにあったが、末端までの会員には届いていなかったのではないかと。
6. 政治活動の許容範囲を明確に出来なかった。選挙活動できる事、出来ない事の線引きが選挙に不慣れなために出来なかった事も反省点の1つであった。
7. 技師連盟の活動を日頃より活発に行う必要がある。今回の選挙の反省点として、技師連盟の入会率を上げる事から始める事が必要である。

## 第23回参議院選挙における畦元氏の得票結果(都道府県別)

	第21回選挙得票数(中西氏)		会員数	第23回参議院選挙畦元氏選挙結	会員一人当たりの得票数
北海道	5725	北海道 5725	1622	1195	0.74
東北地域	7183	青森県 1705	293	307	1.05
		岩手県 798	326	196	0.60
		宮城県 767	304	319	1.05
		秋田県 967	453	316	0.70
		山形県 1305	361	248	0.69
		福島県 1641	478	264	0.55
北日本地域	9943	新潟県 2444	520	329	0.63
		茨城県 981	444	485	1.09
		栃木県 944	665	305	0.46
		群馬県 809	490	275	0.56
		埼玉県 4765	1095	1628	1.49
南関東地域	13196	千葉県 2142	623	871	1.40
		東京都 4945	1965	2498	1.27
		神奈川県 2745	1480	1347	0.91
		山梨県 916	213	130	0.61
		長野県 2448	540	330	0.61
中日本地域	13441	富山県 1760	427	244	0.57
		石川県 1201	293	302	1.03
		福井県 1592	311	103	0.33
		岐阜県 2545	647	1308	2.02
		静岡県 2500	805	531	0.66
		愛知県 3843	1832	2263	1.24
		三重県 2499	479	489	1.02
近畿地域	20851	滋賀県 1058	379	257	0.68
		京都府 1384	475	500	1.05
		大阪府 9227	1184	1252	1.06
		兵庫県 3442	1272	1149	0.90
		奈良県 1286	374	334	0.89
		和歌山県 1955	277	257	0.93
中国地域	6584	鳥取県 496	187	196	1.05
		島根県 891	224	176	0.79
		岡山県 1251	663	517	0.78
		広島県 2899	690	2179	3.16
		山口県 1047	465	393	0.85
四国地域	3705	徳島県 842	173	136	0.79
		香川県 944	308	273	0.89
		愛媛県 1368	374	406	1.09
		高知県 551	189	136	0.72
九州地域	11578	福岡県 3430	1667	928	0.56
		佐賀県 671	202	239	1.18
		長崎県 636	355	360	1.01
		熊本県 2080	441	403	0.91
		大分県 1644	361	335	0.93
		宮崎県 778	348	377	1.08
		鹿児島県 1747	467	933	2.00
		沖縄県 592	318	251	0.79
	92206	合計 92206	28059	28519	1.02

鹿児島県の得票数は九州では最多。一人当たりの得票率は2.00と広島県、岐阜県に次いで全国で3番目。鹿児島県の全会員が一人当たり2名分の投票をお願いした形です。

## 認定技師制度の認知について

鹿児島県診療放射線技師会 会長 池田 睦

厚生労働省より6月26日発刊の「医療機器産業ビジョン2013」に、日本診療放射線技師会が行っている認定技師制度（放射線機器管理士制度）が取りあげられ、臨床の場でのこのような専門職の活用が謳われました。「医療機器産業ビジョン2013」～次元の違う取り組みで、優れた医療機器を迅速に世界の人々に届ける～の（2. アカデミア・医療機関への提言）の項に記載されています。

詳細は厚生労働省の「医療機器産業ビジョン2013」を参照して下さい。

項目のPDFを添付します。

# 医療機器産業ビジョン 2013

～次元の違う取組で、優れた医療機器を

迅速に世界の人々に届ける～

**厚生労働省**

**平成25年6月26日**

## 2. アカデミア・医療機関等への提言

### (1) 産業界との密接な連携

医療機器の特性として、医療機器は臨床現場での実際の使用を通じて、実用化が進み、臨床使用を通じて新たな課題や医療側のニーズが明らかとなって更なる改良・改善が行われる。このようなコミュニケーションが循環することが、医療機器の持続的な改良・改善を促し、延いては医療機器の使用を通じた医療の質の向上につながる。また、医療機器開発のためのニーズとシーズは医療現場にあるため、産業界との密接な連携により、真に医療に役立つ医療機器の実用化を進める必要がある。また、医療機器に関する臨床データには限りがあり、多くの症例情報を得ることは困難であるため、できるだけ多施設が共同して研究を重ねるとともに、産業界との間で症例データの共有と解析を行うことにより、新たな医療機器の開発や既存の医療機器の改良・改善につなげていくことも重要である。

医療の現場で発生するヒヤリ・ハット情報や不具合情報等は、医療機関における医療の安全管理のため貴重な情報であるが、産業界にとってもこれらの情報は医療事故を未然に防止するための製品改良につなげるために必要な情報である。このうち、不具合情報に関しては薬事法上一定の報告義務が課せられているため、医療関係者から速やかに当該医療機器を製造販売する企業に情報提供することが期待される。

一方、ヒヤリ・ハット情報については、医療機関にとって再発防止策を検討するにあたり、製品設計した企業の参画を求めることも有効な手段と言える。一般社団法人日本医療機器学会が平成20年に医療機器情報コミュニケーター(MDIC: Medical Device Information Communicator)の認定制度を創設している。このMDIC認定制度は、医療機関において医療機器を使用する医師、看護師、臨床工学技士等及び医療機器製造販売業に従事する者などを念頭に、4日間のセミナーの受講及び検定試験の合格を認定要件としており、医療機関関係者と医療機器製造販売業者の間で、ヒヤリ・ハット情報や不具合情報等を含む情報の収集・提供や、医療機器全般の適正な使用及び保守管理に必要な情報を共有することなどが期待されている。そのため、医療機関内においてMDIC認定を有する者を育成・配置することは医療機器の安全管理及び適正使用に資すると考えられることから、医療機

関内での普及に期待したい。また、MDICを認定する日本医療機器学会においては、本認定制度の普及・広報に努めることにより、医療機関側の需要に応えられるだけの認定者の輩出に努めることが望まれる。

同様に、臨床工学技士会、診療放射線技師会等による専門認定制度などにより専門性が向上することで、臨床の現場でこうした専門職の活用が進み医療の質の向上に寄与するものと考えられる。医療機関においてはこれらの専門認定制度の活用が進むことを期待したい

臨床検査薬の開発には、希少疾患の患者検体、新興感染症の病原体を入手しなければならないが、開発に必要な検体・病原体等の入手が困難な場合がある。このような緊急時の対応は危機管理の一環であることから、医療機関や研究機関との連携が重要であり、必要に応じて行政も協力する必要がある。

## (2) 臨床研究・治験を実施する体制の強化

日本で開発が進まない治療系機器の臨床研究・治験を円滑に実施できる環境整備を進めるため、臨床研究中核病院等において、希少疾病・難病治療用の医療機器等の研究開発が進められるよう、臨床研究・治験に参加する患者の支援を行う臨床研究コーディネーター(CRC: Clinical Research Coordinator)の増員や臨床研究・治験を適切に管理できるデータセンターの設置など臨床研究・治験病院の機能強化を図ることが必要である。また、外部の機関もこれらのインフラを活用できるよう、病院間の連携を強化することが求められる。また、臨床研究や治験に係る業務は医療機器の実用化に資するものであり、かつ当該施設にて集積された臨床データの利活用を通じて、施設内での新たな先進的な診断・治療技術の発掘にも寄与するものであることから、臨床研究・治験に従事する人材への評価について、学会レベルでの検討が望まれる。

## (3) 基礎分野と応用分野、臨床分野の連携

医学系、工学系の研究機関・大学と医療関連産業が連携(医工連携)し、資金・人材・技術を共有し、それらを効率的かつ効果的に環流させる拠点が今後更に求められる。また、「大学内の医療関係の技術・発明・特許を技術移転機関(TLO: Technology Licensing Organization)で一元管理のうえ、概要や想定される用途を公表するなどし、ライセンス供与先を積極的

## 新理事就任あいさつ

この度鹿児島県放射線技師会の法人化に伴い 理事に選任されました鹿児島市立病院の瀬戸和人です。

日々の業務を行う中で、我々、放射線技師の未来を考えた時に組織として諸問題に対応していく必要性を感じるこの頃です。

大変微力ではありますが、鹿児島県放射線技師会の理事として一生懸命努めていきたいと考えております。

よろしくお願いいたします。

鹿児島市立病院 放射線技術科 瀬戸和人

## 大島地域理事就任にあたり

このたび、総会の承認を得て前理事の中原氏のあとを引継ぎ大島地域理事に就任しました田畑です。前任は、北薩支部で支部長の岡野さんのもと、副支部長をやっていました。大島は4年ぶりで当時は支部長の下、研修会等の世話人をやっていたので、当地域の実情等は把握しているつもりです。

平成25年度より鹿児島県放射線技師会が公益法人となり、本技師会が地域住人に対して公益性を重視した業務・行動を要求される、そのような状況下大島地域は、全技師数45名、内技師会員14名で技師会加入率30%と県内で加盟率最下位と思われます。地理的に難しいところもありますが、まずは各職場間、連絡を密にとり加入者を少しでも増やしなが、大島地域の医療福祉の向上に貢献できるような魅力ある技師会活動を実施していきたいと考えます。

平成25年7月29日

鹿児島県立大島病院放射線部

田畑 一文

## 理事就任にあたって

この度、理事に就任いたしました 南風病院の藤崎 誠です。

なにぶん初めての経験になりますので、理事として自分ができることは未知数です。

まずは、技師会の催し等のお手伝いから初めて、技師会の活動がますます活発になるように自分なりに考え、努めていきたいと思えます。

若輩者ではありますが、宜しくお願いいたします。

公益社団法人鹿児島共済会 南風病院 放射線技術科 藤崎 誠

## 理事就任にあたって

この度、7月より理事に就任しました鹿児島市医師会病院の齊藤二郎です。

以前、岡田会長の下で4年間理事をさせていただき今回で2回目の就任となります。

技師会の仕事は多岐にわたる業務を少ない人数で運用してしなければならなかった事を良く覚えております。また会員の皆様の協力も不可欠と感じております。

在任中は何かとご迷惑をおかけいたしますが、なにとぞご指導、ご協力をお願いいたします。

鹿児島市医師会病院 診療放射線室  
齊藤 二郎

平成25年8月21日

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会  
会員各位

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会  
会長 池田 睦

## 永年勤続表彰候補者のお知らせ

日本診療放射線技師会より功労表彰および永年勤続表彰候補者の案内が来ております。候補者は①功労表彰 ②永年勤続表彰50年 ③永年勤続表彰30年の会員が対象となっております。この表彰の推薦は自己申告となっております。

功労表彰の要件はかなり厳しいですが、永年勤続表彰30年は会費納入15年以上の会員で、特に賞罰で問題なければ推薦できます。また永年勤続表彰50年は永年勤続表彰30年を受章された方が対象となります。

該当されると思われる会員の方は鹿児島県診療放射線技師会として推薦いたしますので申し出て下さい。

履歴書を記載して貰う必要がございますので早目に申し出て下さい。毎年、各都道府県診療放射線技師会で4～5名の受章者がおります。鹿児島県診療放射線技師会ではなかなか申し出が無いようです。現在、勤続年数を総務に調査をさせておりますが、会員の皆様方からの申請をお待ちしております。

なお、表彰は日本診療放射線技師学術大会の開会式で記念品と共に表彰状が贈与されますが、特に学会場まで出かけて行かなくても後日郵送されて来るようです。最近の受章者は平成23年度に元鹿児島大学病院 富吉 司氏、福島 昇氏が受章されております。

推薦の締め切りが平成25年11月29日（金）までとなっております。早めのご連絡をよろしくお願い致します。

### 連絡先

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1  
鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 臨床技術部  
公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会事務局  
会長 池田 睦  
TEL 099-275-5664 (放射線部受付) FAX 099-275-5915  
Mail: imutsumi@m2.kufm.kagoshima-u.ac.jp

## 永年勤続表彰 30 年（過去の受賞者）

1. 久徳 嘉八氏（50 年表彰も受章）（184）
2. 石原 勝氏（50 年表彰も受章）（4293）
3. 竹井 忠男氏（50 年表彰も受章）（5951）
4. 中村 純雄氏（8697）
5. 山口 信夫氏（10912）
6. 冨吉 司氏（13542）
7. 橋口 孝氏（15291）
8. 森山 正氏（16140）
9. 西 浩一氏（16546）
10. 福島 昇氏（16762）
11. 池田 睦氏（18706）

永年勤続表彰 30 年の対象者の方は 1983 年（昭和 58 年）以降に診療放射線技師職に就かれた方です。その方は鹿児島県診療放射線技師会では 91 名おられ、上記の 11 名の方が既に受章されておりますので 80 名の方々が対象者です。

ご自身の技師職年数を確認され、もし 30 年表彰のご希望があれば手続を致しますのでご連絡をください。ただし、1 度に推薦できる人数は限られますので早く連絡をくださった方を優先とします。また、上記の永年勤続表彰 30 年受賞者の方で 50 年表彰の基準を満たされている方もご連絡をお待ちしております。

よろしくご検討下さい。

以下に永年勤続 30 年表彰対象者のリストを掲載致します。  
ご確認ください。

	氏名(漢字)	会員番号	資格登録年月日	勤務先施設名
1	米澤 照彦	35102	1969/9/12	鹿児島徳之島保健所
2	梶 岩雄	14184	1969/11/26	鹿児島大学病院
3	西本 孝市	17840	1974/5/13	鹿児島市立病院
4	吉永 利彦	18324	1974/5/13	鹿児島大学病院
5	大久保 光男	16763	1974/5/27	川内市医師会立市民病院
6	藤中 正治	17618	1975/5/26	独立行政法人国立病院機構 鹿児島医療センター
7	久永 健司	17880	1975/6/14	名瀬保健所
8	出水田 尚文	24209	1976/7/1	鹿児島県立北薩病院
9	廣瀬 洋一	22558	1977/5/10	国立療養所星塚敬愛園
10	藤橋 弘	28815	1977/5/10	川辺生協病院
11	室屋 純一	20787	1977/5/23	今給黎総合病院
12	齊藤 勇悦	19550	1977/6/10	鹿児島生協病院
13	新村 栄次	20786	1978/5/25	今給黎総合病院
14	渡辺 泉	24732	1978/6/9	今村病院
15	鮫島 洋一	28816	1978/6/9	鹿児島県立北薩病院
16	川井田 政己	20701	1979/5/28	鹿児島県民総合保健センター始良支所
17	穂満 信行	20785	1979/5/28	鹿児島大学病院
18	吉留 正刀	21271	1979/5/28	パールランド病院
19	児玉 康照	24832	1979/5/28	済生会川内病院
20	中村 裕	21955	1979/6/9	井之上病院
21	古田 正成	20866	1979/6/19	出水総合医療センター
22	下吉 則孝	23188	1979/6/19	鹿児島県立薩南病院
23	中原 隆重	26294	1979/10/17	県民健康プラザ鹿屋医療センター
24	本村 登	22252	1980/5/22	独立行政法人国立病院機構 南九州病院
25	石山 重行	22363	1980/5/22	鹿児島厚生連病院
26	村野 和久	22364	1980/5/22	済生会川内病院
27	宮脇 明光	22221	1980/5/31	湯田内科病院
28	太田原 美郎	22359	1980/5/31	鹿児島市立病院
29	伊原 孝志	23186	1980/5/31	南風病院・消化器病センター
30	橋口 善治	21939	1980/10/1	鹿児島市医師会病院
31	竹之内 学	22360	1980/11/26	今給黎総合病院
32	馬場 俊昭	22361	1981/5/14	鹿児島県民総合保健センター
33	里 隆照	22365	1981/5/14	鹿児島県立大島病院
34	濱田 耕	22796	1981/5/14	加世田病院
35	飛松 浩一郎	28813	1981/5/14	谷山生協クリニック
36	中山 龍一	29176	1981/5/14	鹿児島県立薩南病院
37	末永 浩一	22607	1981/5/16	鹿児島大学病院
38	重信 隆彰	22797	1981/5/16	JA厚生連健康管理センター
39	松元 修	25189	1981/5/26	鹿児島県民総合保健センター
40	田畑 一文	28604	1981/5/26	鹿児島県立大島病院
41	茶園 計義	31047	1981/5/30	鹿児島徳洲会病院
42	瀬戸 和人	23189	1981/6/30	鹿児島市立病院
43	大迫 正美	27457	1981/6/30	鹿児島県立大島病院
44	安田 秀作	23386	1981/11/18	岩尾病院
45	吉海 保	31045	1982/5/10	国分外科胃腸科
46	野上 春彦	23504	1982/5/24	鹿児島大学病院
47	隈元 満広	31043	1982/5/24	鹿児島生協病院
48	餅原 信広	26472	1982/5/31	県民健康プラザ鹿屋医療センター
49	平賀 真雄	23935	1982/6/11	霧島市立医師会医療センター
50	鶴田 正人	30402	1982/6/22	鹿児島徳洲会病院
51	児玉 公輝	26099	1982/11/1	鹿児島県立北薩病院
52	島児 末治	29708	1982/11/25	垂水市立医療センター垂水中央病院
53	福居 重和	25014	1982/12/28	国立病院機構 大牟田病院
54	飯伏 順一	25571	1983/5/10	今給黎総合病院
55	吉谷 正浩	31875	1983/5/10	肝属郡医師会立病院
56	隈元 忍	26915	1983/5/12	パールランド病院
57	園田 実郎	24831	1983/5/17	久木田整形外科病院
58	内田 一久	26241	1983/5/17	肝付町立病院

59	尾曲 和久	33546	1983/5/17	鹿児島市東部保健センター
60	松本 俊也	24211	1983/5/25	鹿児島大学病院
61	前東 純一郎	25013	1983/5/25	鹿児島県立大島病院
62	瀬戸口 勲	25015	1983/5/25	河井脳神経外科
63	駒水 義文	25757	1983/5/25	鹿児島県民総合保健センター
64	前床 寿隆	29836	1983/5/25	ウエルフェア九州病院
65	長野 秀行	31356	1983/5/25	大井病院
66	大迫 良一	32931	1983/5/25	今給黎総合病院
67	執印 裕之	25018	1983/5/31	吉井中央病院
68	前田 哲也	26293	1983/10/29	鹿児島県庁保健福祉部健康増進課
69	斉藤 二郎	25539	1983/11/30	鹿児島市医師会病院
70	川畑 歳文	28819	1983/11/30	今村病院
71	田上 浩幸	29712	1983/11/30	鹿児島県立大島病院
72	中村 若夫	31659	1983/11/30	薩摩郡医師会病院
73	岡田 淳徳	9501		
74	河野 正人	9650		
75	村山 光生	9912		
76	鯨嶋 宗俊	13150		
77	竹元 信秀	18216		吉田温泉病院
78	緒方 和男	18259		鹿児島労働衛生センター
79	谷 俊雄	19764		川内市医師会立市民病院
80	坂元 成行	26406		独立行政法人国立病院機構 鹿児島医療センター

# ウェブサイト開設のお知らせ 鹿児島県診療放射線技師 女性の集い

鹿放技女性の集い運営委員会  
松野下 直美

このたび、平成25年8月中旬に、ウェブサイトを開設し公開にいたしましたので、お知らせをいたします。

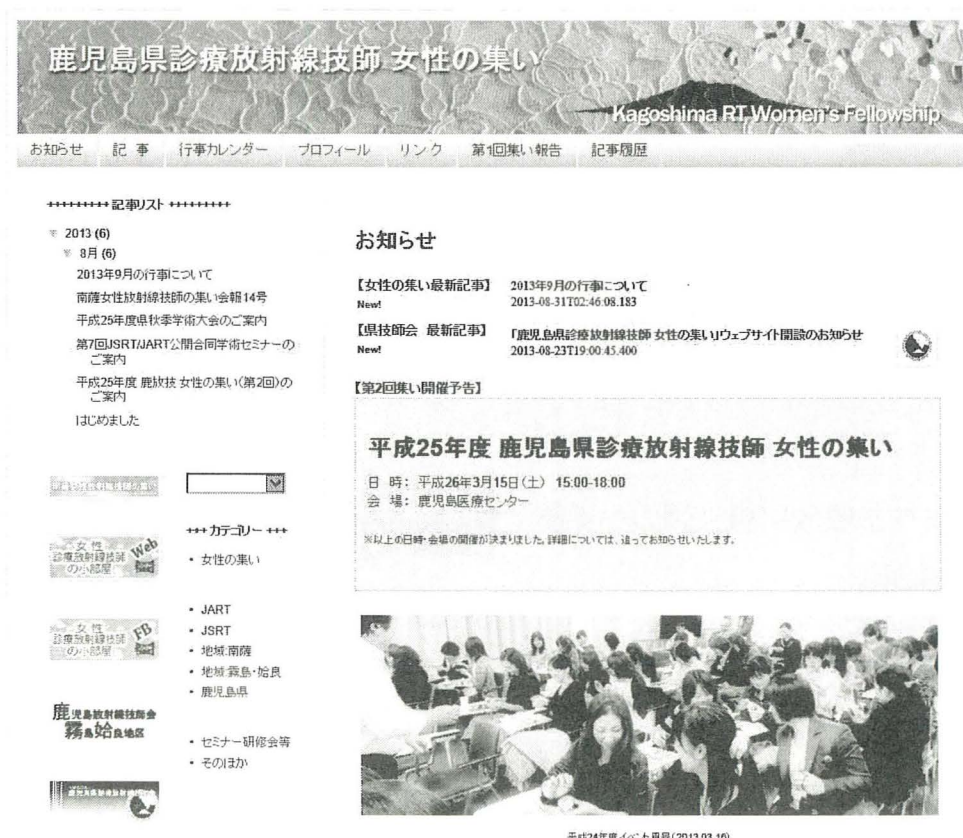
当サイトでは、今後、「女性の集い」をはじめ、JART・他地域の女性技師の活動等の情報、そのほか技師に関すること、女性に関することなど、拡がりをもって発信していきたいと思っております。まず、そのひとつとして、「平成24年度鹿児島県診療放射線技師 女性の集い」イベントの様子を掲載しております。

男女問わずどなたでも、本サイトへのご訪問を歓迎いたします。

どうぞ、お気軽にご訪問ください。

サイト名： 鹿児島県診療放射線技師 女性の集い

URL： <http://kagoshima-rt-women.blogspot.jp/>



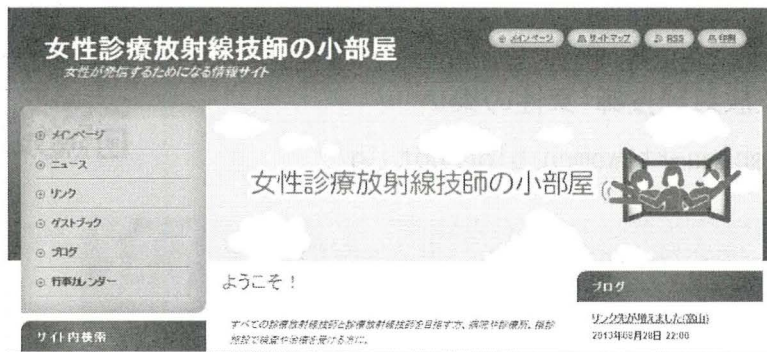
# ウェブサイト・Facebook ページ開設のお知らせ 女性サミット「女性診療放射線技師の小部屋」

女性サミット運営委員  
松野下 直美

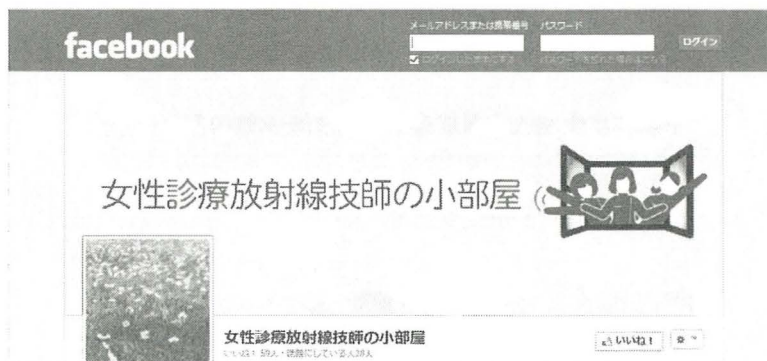
平成24年度女性サミットのグループディスカッション等で、女性の情報発信の提案を受け、この度、WebページとFacebookページを立ち上げました。

女性が中心となって発信していきますが、もちろん男性の積極的なご参加をお待ちしております。また、日本診療放射線技師の会員だけでなく、非会員に対してもオープンな場としております。どうぞ、宜しくお願いいたします。

サイト名：女性診療放射線技師の小部屋 URL：http://josei-rt.webnode.jp/



FB名：女性診療放射線技師の小部屋 URL：https://www.facebook.com/jfrfts



## ご寄付の紹介

平成25年7月に北薩地域会員（本会終身会員）の石原 勝様より鹿児島県診療放射線技師会活動に役立てて欲しいと100,000円のご寄付をいただきました。本会会員の資質向上のために使用させていただきます。

誠にありがとうございました。

鹿児島県診療放射線技師会会長 池田 睦

The Annual Meeting of the kyushu Radiological Medical Technology

# 第8回 九州放射線医療技術学術大会

第59回九州放射線技師学術大会  
第62回日本放射線技術学会九州部会学術大会

## 佐 賀

### 診療放射線技師の将来を見据えて

期日:平成25年11月23日(土),24日(日)

場所:佐賀市文化会館

主催:九州地域放射線技師会 / 公益社団法人 日本診療放射線技師会  
公益社団法人 日本放射線技術学会九州部会

写真提供: 一社 佐賀県観光連盟

## 第30回日本診療放射線技師学会(大分県別府市で開催)

### お知らせ



**第30回** The 30th Japan Conference of Radiological Technologists (JART)  
**日本診療放射線技師学会大会**  
**第21回** The 21st East Asia Conference of Radiological Technologists (EAART)  
**東アジア学術交流大会**

● **大会テーマ**  
国民・医療者と協働し質の高い医療を提供しよう  
“調和がもたらす至極の業”


● **開催** 平成 26 年 9 月  
19 日◎・20 日◎・21 日◎  
● **会場** 別府国際コンベンションセンター  
B-Con Plaza

● **主催** 公益社団法人 日本診療放射線技師会  
● **共催** 公益社団法人 大分県放射線技師会  
● **協賛** 厚生労働省(大分)・大分県(大分)・別府市

日本一の  
大分県人・大分県産品をいかに味わえるか  
2014 **大分**

第30回日本診療放射線技師学会大会/第21回東アジア学術交流大会

- **メインテーマ**  
「国民・医療者と協働し、  
質の高い医療を提供しよう」
- **サブテーマ**  
「調和がもたらす至極の業」
- **大会の主眼**  
“診療放射線技師による読影と放射線管理の真価”  
「第30回大会記念シンポジウム」  
「県民公開シンポジウム」



日本一の  
大分県産品をいかに味わえるか

**ホームページ公開** : 平成25年10月1日

**演題募集開始** : 平成26年1月15日 (予定)


**事前参加登録開始**

- ・ランチョン
- ・情報交換会
- ・宿泊
- ・シャトルバス
- ・エクスカーション
- ・決済

※一括予約

平成26年2月1日

※アポロンシステム (株) 日本旅行



日本一のおんせん県おおいた 味力も満載



別府温泉 地獄めぐり



高崎山自然動物園



別府冷麺



よぐ刺巻



日本一のおんせん県おおいた 味力も満載



マリーンパレス水族館うみたまご

九州会員の皆様の多数のご参加をお待ちしております。



氷焼酎



開アジ開サバ



カボス



別府 夜景

平成 25 年 8 月吉日  
(社)鹿児島県診療放射線技師会

## 平成 25 年度(社)鹿児島県診療放射線技師会 秋季学術大会のご案内

拝啓

皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。  
鹿児島県放射線技師会が公益社団法人となりまして最初の秋季学術大会が霧島・始良地域を中心として、下記の日程にて開催いたします。  
『読影補助』をメインテーマに、独立行政法人りんくう総合医療センター 坂下恵治先生による基調講演と、鹿児島県内の 5 研究会代表者によるパネラー講演及び総合討論会を企画させていただきました。  
我々鹿児島県の診療放射線技師が強い意欲を持ち読影補助と真剣に向き合ういい機会だと考えています。多数のご出席とご協力の程、宜しくお願ひいたします。

### 記

日時 : 平成 25 年 11 月 16 日 (土) 15:00 ~ 18:30  
会場 : 霧島市立医師会医療センター 2階 大会議室  
内容 :

1. 一般演題(3 演題程度 30 分)
2. 基調講演(60 分)

『診療放射線技師による読影の補助～私たちが今すべきことは何か～』  
独立行政法人りんくう総合医療センター 坂下恵治先生


3. パネラー講演(75 分)  
●CT 研究会 ●MR 研究会 ●消化管研究会  
●超音波研究会 ●乳房研究会
4. シンポジウム(総合討論会)(30 分)

※ 一般演題募集中です。よろしくお願ひします。  
※ 詳細が決定次第、二回目の案内をさせていただきます。  
※ 技師会非会員のみ会場整理費として 500 円徴収いたします。  
※ 会終了後、情報交換の場として懇親会を予定しています。(詳細未)

#### 【問い合わせ】

霧島・始良地域理事 坂口右己(霧島市立医師会医療センター) 0995-42-1171(内線 242)

☆なお、様々な情報を皆様と共有し、霧島・始良地域住民の健康に少しでも貢献する目的で、

『鹿児島県放射線技師会 霧島・始良地域』という名称で  Facebook を開設しました。  
次の QR コードにてアクセス可能です。多数のアクセス、「いいね」お待ちしております。



平成 25 年 7 月吉日

鹿児島地域会員各位

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会  
会長 池田 睦  
地域理事 坂下 周一郎

## 平成 25 年度鹿児島地域研修会並びに一般演題募集のご案内

謹啓

盛夏の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素から、本会の事業運営につきましては、ご協力を賜り誠に有り難うございます。

さて、鹿児島地域では、下記の日程で研修会を開催いたします。お忙しい時期ではありますが多数の参加と一般演題発表（演題名を9月末日までに）をお願いいたします。日々、患者様と接して思う事や臨床研究、実績など気軽に発表してみませんか？

万障お繰り合わせの上ご参加のほどよろしくお願い申し上げます。

謹白

記

1. 日 時 平成 25 年 10 月 26 日（土）15:00～18:00(予定)

2. 場 所 未定（7 月 30 日現在）

3. 内 容

- ・鹿児島地域総会
- ・一般演題 9 月末日まで募集、応募要項は下記参照
- ・学術講演 未定（7 月 30 日現在）
- ・特別講演 未定（7 月 30 日現在）

## 応募要項

発表型式: 口述発表とし、発表時間は7分、質疑応答は3分とします。

PC (PowerPoint) による発表をお願いします。発表スライドファイルはUSBメモリでご持参ください。OSはWindowsに限らせてください。その他のOSの場合は、PCをご持参ください。

**申込締切日：平成25年9月末日まで**

申込方法: 氏名、所属、演題名を必ず記載の上、電子メールにて下記宛先までご応募ください。

連絡先メールアドレス: [tmegumi@jiaikai.jp](mailto:tmegumi@jiaikai.jp)

学術担当: 恵 智徳まで

なお、詳細についてご不明の点等がございましたら、下記にお問い合わせいただきますようお願い申し上げます。

連絡先： 鹿児島大学医学部附属病院 臨床技術部 放射線部門  
坂下 周一郎 電話 099 (275) 5664 (坂下まで)  
[sakasita@m3.kufm.kagoshima-u.ac.jp](mailto:sakasita@m3.kufm.kagoshima-u.ac.jp)

平成25年 8月30日

会員各位

(公社)鹿児島県診療放射線技師会  
会長 池田 睦  
(公社)鹿児島県診療放射線技師会 南薩地域  
理事 野中 康博

## 第27回 南薩地域研修会開催について

拝啓

皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

前回7月30日付け案内文書で伝達の通り、第27回南薩地域研修会を下記日程にて開催いたします。  
会員の皆様には多数のご出席とご協力の程、宜しくお願いします。

記

開催日：平成25年 9月28日（土）

時間：15時～18時

会場：加世田病院 別館2F 多目的ホール

（南さつま市加世田唐仁原1181 tel.0993-53-6300）

### ■研修会

#### 1. 演題 15:15～

1) 「新築移転に伴う放射線部門の取り組みと工夫」（仮題）

和風会 加世田病院

濱田 耕 技師

2) 「条件付きMRI対応ペースメーカーについて」

日本メドトロニック株式会社 クリニカルスペシャリスト 山東 玲子 先生

#### 2. 施設紹介 16:15～

1) 松岡救急クリニック（南九州市）

2) 久木田整形外科病院（枕崎市）

#### 3. 施設見学 16:45～

※加世田病院画像診断部門の見学を予定しています。

### ■情報交換会

18時30分～「<sup>だんて</sup>暖手」電話0993-52-0933(3,000円程度の会費制)

### 【問い合わせ】

理事 野中 康博（菊野病院） 0993-56-1135

世話人 長野 勝悟（馬場病院） 099-298-2611

世話人 前迫 秀利（サザン・リージョン病院） 0993-72-1351

◎非会員の方は参加費として500円を徴収いたします。ご了承下さい。

## 平成24年度 大島支部研修会報告

平成24年 2月26日

鹿児島県放射線技師会大島支部

研修会担当 里 隆照

平成24年2月2日(土)に県立大島病院講堂において、平成24年度の大島支部研修会がCT研究会と同時に実施され、昨年の研修会で会員から要望のあった「CT検討会」の開催もあり今回は22名の参加がありました。

県立大島病院の餅原さんの支部長挨拶代行の後、新村副会長の挨拶では、平成25年4月1日の公益法人移行に伴う総会時期の案内やセミナーや業務拡大に抜針講習会の案内などの説明がありました。

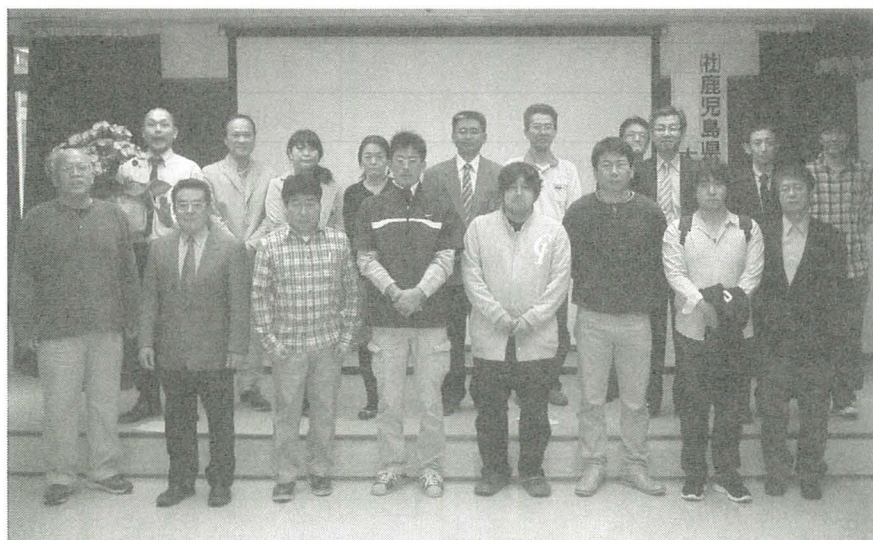
つづいての会員研究では、「頭部3DCTAにおける脳表静脈(浅シルビウス静脈)の描出について」として県立大島病院の吉田さんから脳動脈だけではなく静脈の描出の有用性について検討された内容が発表されました。

講演では、東芝メディカルの加納さんに「最新のCT装置について」として被ばく低減対策における最新の現状や逐次近似法による最新の事例紹介に続いて、多列CTで収集されるボリュームデータの新しい利用方法等について示していただきました。

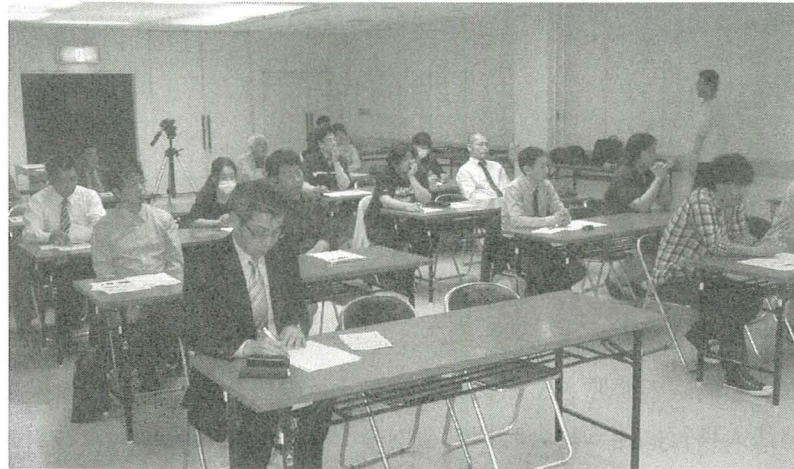
CT検討会では、県立大島病院の元さん、奄美中央病院の永山さん、今給黎病院の新村さんから施設紹介とプロトコール紹介がされ、引き続いて新村さんより「造影理論を知ろう」と題してCT造影検査の基礎について講演をしていただきました。

各施設が保有する機器や撮影目的が異なることにより、各施設なりに撮影プロトコールについての苦勞されていることを感じられました。

大島支部研修会が各施設の抱える問題・疑問点等の解決へ向けて参考となるような研修会に出来たらと思います。



【研修会の様子】



平成24年度 大島支部研修会出席者一覧 (順不同)

	勤務先等	氏名
1	鹿児島県放射線技師会 副会長	新村 栄次
2	鹿児島大学病院	藤坂 智史
3	名瀬保健所	久永 健司
4	奄美和光園	吉本 博明
5	奄美中央病院	永山 貴之
6	県立大島病院	餅原 信広
7	〃	里 隆照
8	〃	田上 浩幸
9	〃	前東 純一郎
10	〃	濱崎 誠
11	〃	元 俊晶
12	〃	吉田 行寿
13	〃	牧迫 佑紀

他、非会員参加 9名 (6医療機関)

## レントゲン週間イベント市民公開講座 報告

総務担当 藤坂 智史

日 時：平成25年3月10日(日)13時20分より

場 所：鹿児島商工会議所 アイムビル 4階

参加者：骨密度測定32人

講演会参加者45人（一般7人 技師35人 エーザイ3人）

レントゲン週間イベントが平成25年3月10日開催されました。会場は、鹿児島商工会議所 アイムビル4階アイムホールで講演会、パネル展示、DVD放映を行い会議室で骨密度測定、放射線相談を行いました。天文館も近く、一般市民に多数来場していただけるような会場、ということで会場探しには苦勞しましたが、目的どおりの会場が確保できたのでは？と思います。

イベントの内容は、メインテーマ：骨についてここが知りたい～ に沿って、市民健康祭りで好評だった無料骨密度測定を目玉として開催しました。

無料骨密度測定には32名の一般市民の測定と結果の説明を行いました。

市民公開講座には講演1としてJA鹿児島県厚生連健康管理センター 原口 誠 先生による～診療放射線技師の立場から～「骨密度測定の原理 -X線・超音波を使った測定の相違点について-」という30分の講演をいただき、骨の構造、測定原理から測定方法により値が変わる理由などをわかりやすく説明いただいた。

また、講演2としては鹿児島大学病院 整形外科 山元 拓哉 先生の～医師の立場から～「骨粗鬆症の特徴と対策 -健やかなエイジングのために-」という50分の講演をいただいた。骨の構造、骨粗しょう症の現状や性差、年齢差、同年齢の平均と比べるのではなく、若いときと比べる。また、治療法などをわかりやすく説明いただき、市民の皆様が興味深く聞き入っておられ活発な質問などもあった。他に、会場内に臨床写真等のパネル・3D画像の展示およびDVD放映「放射線」に関する相談コーナーを設置しました。

反省点としては、一般市民の方に広く開催案内が知られていなかったせいか、当日は天文館のアーケードまで宣伝に行ったのですが、参加者が予想より少なかった。また、骨密度測定をしてから講演が始まるまでの時間が長く、待ちきれずに骨密度測定だけで会場を去られる方が多かったように見受けられました。次回からは宣伝の方法、あまりお待たせしないスケジュールを考えた方がよいと感じました。

最後になりましたが、共催していただいたエーザイ株式会社様、スタッフとしてお手伝いいただいた会員の皆様、骨密度測定装置を提供いただいた日立メディコ様には心から感謝いたします。

以上、ご報告申し上げます。

## 第1回 鹿児島支部 アフターミーティングに参加して

公益財団法人慈愛会今村病院 上釜健作

鹿児島県放射線技師会鹿児島支部が活動を始めて約8年が経ちました。今年度より、鹿児島県放射線技師会は公益法人となります。そこで、公益法人化に向けて、会員の交流を含め、過去8年間、学術大会に発表頂いた会員を囲んでアフターミーティングを開催する運びとなりました。

日時は平成25年3月15日（金）の19時からでしたが、平日での開催にも関わらず、遠いところでは指宿から、鹿児島市内の11施設、全24名の会員にご参加いただきました。会員の皆様の時間厳守のおかげで、スムーズにアフターミーティングを始めることが出来ました。はじめに、副支部長の隈元氏から開会のあいさつがあり、その後、乾杯を引き続き隈元氏が行いました。アフターミーティングの場で初対面の人もいたということもあり、乾杯の後、ひとりづつ自己紹介をしていただきました。内容は、施設名、氏名、職歴、仕事での主な従事内容、プライベートのことなど、それぞれが個性あふれる自己紹介となりました。自己紹介のあとは、各々が自由に移動し、仕事やプライベートのことを会話しながら楽しく過ごしていました。あっという間に時間も過ぎ、閉会のあいさつを石山氏が行い、一本締めで会を締めくくりました。最後に、感想ですが、店の広さが狭く、終始おしくら饅頭状態でしたが、今思えば、その狭さが会員どうしの距離を縮めたのではないかと思います。また、このような場は、今まであまりなかったので、他施設の会員との交流は新鮮であり、いい刺激になりました。今後も、第2回、第3回と継続的な開催があれば参加していきたいです。

## アフターミーティングに参加して

鹿児島厚生連病院 梶 祐幸

平成25年3月15日に開催されたアフターミーティングに参加したので報告致します。

今回、鹿児島支部の活動の活性化と会員の交流、過去8年間に学術大会で発表した方々があつまり親睦を深めるという目的で懇親会が開催されました。

私は、今まであまり積極的に技師会活動に参加していなかったため、他施設の技師との交流を深めることができ、とても楽しく有意義な時間となりました。今まで勉強会などで会って、顔や名前は知っているけれど、話をした事がない方々も多くて、色々な情報交換が出来ました。

今年度から、鹿児島支部の理事にもなり、今後の技師会を会員一人一人が盛り上げていけるように頑張ろうと思います。今後も研究会や交流会など技師会の活動に積極的に参加していきたいと思っています。

## 平成25年度 第10回フレッシューズセミナー（開催報告）

恒例により、平成25年度の第10回フレッシューズセミナーが下記の日程・内容にて開催されました。今回も、(公社)日本放射線技師会と(公社)鹿児島県診療放射線技師会との共同開催という形をとり、プログラムは、去年と同様のエチケット・マナー講座、医療安全講座、感染対策講座、気管支解剖講座、CT検査講座で開催されました。参加人数は、非会員15名(新人10名)、会員22名の計37名の参加があった。昨年と同じ講座ではありましたが、内容は、(公社)日本放射線技師会からの最新情報のスライド提供等もあり、それぞれバージョンアップされて非常に充実した講演でありました。実際にこれらの講義を聴講するとしたら、いくつもの研修会への参加が必要であり、時間、費用も伴うので、是非、来年度から新人に限らず会員のみならずさまに有効に利用して欲しいと考えております。

修了者には学術研修活動として6ポイント、修了証書、スマホ対応のノート(コクヨのCamiapp A5 ツインリングノート)が参加者全員へ配布され、又、このセミナーを受講された診療放射線技師免許取得年度の新入会者へは、入会金免除+初年度会費5千円(通常2万円:入会金5千円+年会費1万5千円)の特典もありますので、是非、本年度中に入会と来年度も開催予定ですので、新人参加のご配慮及び会員のみならずさまの参加をよろしくお願い致します。

### 【日程及びプログラム】

日 時：平成25年6月2日(日) 9時～17時

場 所：鹿児島大学医学部第4講義室

プログラム：① 9時～9時30分 エチケット・マナー講座

(有) プラスピュア代表取締役 野口 純子 先生

② 9時30分～10時30分 医療安全講座

元日本放射線技師会 医療安全対策委員会委員長

太田原 美郎(鹿児島市立病院)

③ 10時30分～11時30分 感染対策講座

学術担当理事 石本 裕二(すこやか健康事業団総合健診センター)

④ 12時30分～14時30分 CT検査講座

CT研究会世話人 小濱 剛(大井病院)

⑤ 14時30分～16時30分 気管支解剖講座

学術担当理事 藤崎 拓郎(鹿児島大学病院)

⑥ 16時30分～17時 入会案内

総務担当理事 藤坂 智史(鹿児島大学病院)

【参加者氏名】

有菌 良一、池田 睦、石本 裕二、太田原 美郎、小濱 剛、上川 智弘、  
西郷 康正、坂下 周一郎、佐藤 洋一、新村 栄次、中島 祐二、西元 孝海、  
原口 誠、平田 勝、藤坂 智史、藤崎 拓郎、藤崎 誠、大久保 光男、  
松野下 直美、柳川 絢海、吉崎 早紀、高田橋 司、西岡 大倫、川原 美咲、  
羽田 里美、河野 亜紀、里 志織、小山 聡、上田 康博、古川 希望、  
亀甲 有希、田中 彩乃、三浦 妃、川口 夏実、末村 良昭、渡邊 拓哉  
(順不同、敬称略)

## 鹿児島CT研究会活動報告

代表世話人 今給黎総合病院

新村 栄次

平成22年に発足して年6回開催して来ましたが、鹿児島県CT研究会も第20回を開催することができました。そこで節目に際し、6月15日(土)に全国で著名な広島大学病院、診療支援部高次医用画像部門部門長石風呂実先生に来ていただきご講演いただきました。メーカー3社によるワークステーションの最新情報の提供、県内6施設でのワークステーションの活用例を発表していただきました。石風呂先生には「医療に役立つ3DCTの活用」と題し、3D画像の基礎から臨床への応用を幅広くご講演いただきました。特に四肢末梢血管の描出は、非常に綺麗でした。また膝の靭帯の描出もCTで可能で撮影体位も教えていただきました。整形領域の手術では、3D画像を利用することで、加算が取れることも教えていただき、早速当院でも検討に入りました。県内のワークステーションの活用例を聞いていただき、レベルが高いといただき、安心いたしました。情報交換会では二次会まで参加して頂いて有意義な時間となりました。鹿児島CT研究会では、この後9月、11月、1月、3月に研究会を開催する予定です。会員の皆様のみならず非会員の方も参加してください。

### プログラム

場 所：鹿児島医療センター 2階 大会議室

〒892-0853 鹿児島市城山町8-1

(日本X線CT専門技師認定ポイント付与)

#### 【製品紹介(10分)】

「ヨード造影剤の安全性情報」

エーザイ株式会社

#### 【ワークステーションの最新情報(50分)】

AZE、アミン、FUJI

#### 【ワークステーションの活用例(60分)】

今給黎総合病院、鹿児島大学病院、霧島市立医師会医療センター、  
今村病院分院、鹿児島医療センター、南風病院

#### 【講演(60分)】

『医療に役立つ3D-C Tの活用』

広島大学病院 診療支援部 高次医用画像部門 部門長

石風呂 実 先生



## 鹿児島医療画像情報管理士部会報告

鹿児島県医療画像情報管理士部会

部会長 島見 未治

平成25年7月20日(土) 南風病院 アネックス1で鹿児島医療情報システム研究会と合同開催し、62名の参加があり大盛会のうち終了した。

教育講演1では、横河医療ソリューションズの小田先生に DICOM 基本と接続テストについて事例を交え分かりやすく講演して頂いた。講演2は、NTT西日本の谷口先生が、NTT西日本におけるクラウドへの取組と題してクラウドの定義・メリット・市場動向・取組事例等について講演され、各施設サーバー更新に向けた方向性が示された。意見交換ではサーバーテロに対する万全なセキュリティ体制を望む意見等、会員の前向きな姿勢が伺えた。

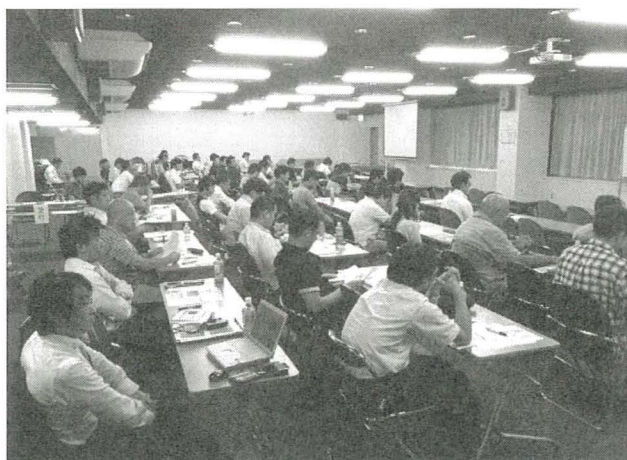
また、南風病院の白石技師がユーザー及び管理者の立場における医用画像情報管理の知識について基礎講演を行い、DICOMに関する知識を再認識する良い機会となった。

鹿児島市立病院の太田原技師による、PACS運用及び可搬型媒体に関する県内外の各施設の聞き取り調査を基にした施設間分析報告は興味深いものであった。特に、サーバー容量保存期間や可搬型媒体の取組に関し私自身参考となった。

私は、医療画像情報精度管理士部会の目的・活動実績・認定取得方法において説明を行った。県技師会員数約470名中、県内の医療画像情報精度管理士数は、42名と少なく部会員増加に向けた取組をしていく必要性を痛感した。今回は、部会との合同開催の為、会員参加者に対し生涯教育カウント3.5C付与となった。引き続きカウント付与の会として位置づけ参加増加を期待したい。

最後に、鹿児島医療情報システム研究会との合同開催に当たり、快諾して頂いた代表世話人太田原さん及び各世話人の方に深く感謝します。

### 【研修会風景】



## 平成25年度（公社）鹿児島県診療放射線技師会リーダー研修会（開催報告）

総務担当 藤坂智史

平成25年度（公社）鹿児島県診療放射線技師会リーダー研修会が、平成25年7月6日（土）15時00分から16時30分まで、ホテルパレスイン鹿児島にて開催されました。

今回は「人事管理、人材教育、コーチングについて」という演題で、総合メディカル株式会社コンサルティング推進部小宮裕恵先生に講演して頂きました。



小宮裕恵先生からはまず、各々に求められる技量として概念的思考能力、対人関係能力、実技的能力に分けられること、それから人事管理の重要さと病院経営との関係、リーダーとリーダーシップの違い、そしてそれぞれの意味と具体的な内容について、コーチングについては、部下の

タイプ分けとどのようにすればその人のやる気を引き出せるか、上司の一言が部下に与える影響、リーダーに求められる役割など、とても説得力のある講演でありました。参加者数は、県内各地から会員40名の参加がありました。

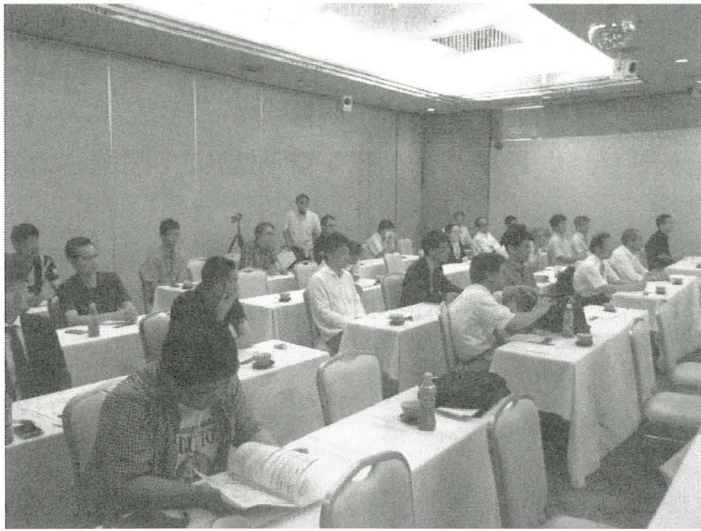
最後に、リーダー育成研修会は、施設のリーダー的立場の方だけでなく、将来、先輩として後進を育てるという意味からも、今回の講演は有意義な内容でした、来年度も有意義な研修会を企画開催予定ですので、リーダーという名称に臆することなく、多くの会員のみなさんの参加をお待ちしております。

### 【参加者】

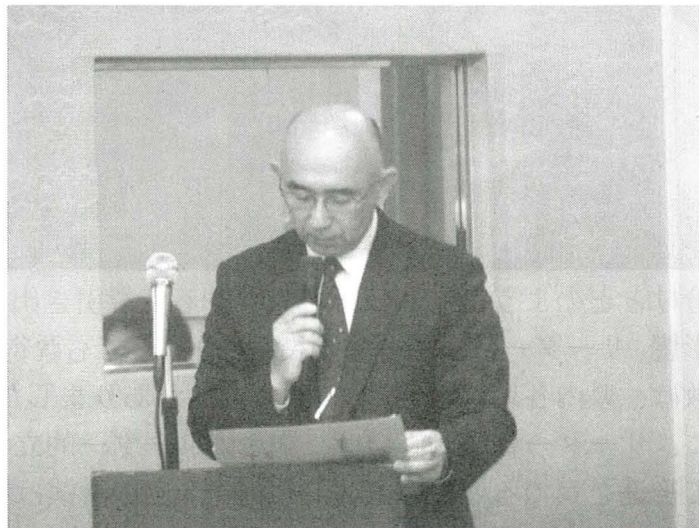
床波 隆幸、大塚 麻里、橋口 満、荒武 俊平、四本 斉、松下 啓、  
 飯伏 順一、西郷 康正、山下 勇一郎、齊藤 二郎、小林 学、坂口 右己、  
 児玉 康熙、坂下 周一郎、脇田 慎一、永山 照明、井之上 祐二、  
 中島 祐二、岡野 三男、藤崎 拓郎、原口 誠、大久保 光男、新村 栄次、  
 島児 末治、藤坂 智史、平田 勝、佐藤 洋一、石山 重行、室屋 純一、  
 山口 信夫、田川 伸夫、瀬戸口 勲、上釜 健作、野中 康博、池田 睦、  
 松山 芳郎、淵脇 崇史、直 竜貴、三反田 正紀、吉野 健

（順不同、敬称略）

# リーダー研修会



会 場



座 長



講 師  
小宮裕恵先生

## 平成24・25年度 静脈注射（針刺しは除く）講習会（開催報告）

厚生労働省「チーム医療推進方策検討ワーキンググループ」において診療放射線技師の業務範囲の見直しに関する検討が行われ、「CT、MRI 検査等において造影剤投与終了後の静脈路の抜針および止血をおこなうこと」が取り上げられ、十分な教育・研修を行うことを条件に実施できる方向で検討されています。これに伴い、公益社団法人日本診療放射線技師会主催でCT・MRI 検査における造影後の静脈針の抜針・止血の習得を目的に、全国の都道府県診療放射線技師会共催で静脈注射（針刺しは除く）講習会が開催されることとなり、平成24年度は、九州地区で熊本県と鹿児島県の2カ所で開催され、鹿児島では、平成25年1月27日（日）に開催された。又、平成25年度は、九州各県で開催される予定で、鹿児島では、平成25年8月4日（日）に開催された。募集要項、プログラムについては下記に示す。参加者は九州各県と広島県等からも参加があり、平成24年度が50名、平成25年度が30名の参加数であった。DVDによる講義は、東海大学医学部附属病院の感染管理者の医師や薬剤師、認定看護師を講師に、実習では、鹿児島大学医学部歯学部附属病院の看護師を講師に招いて開催された。たかが抜針だけだと思われがちですが、なかなか奥の深い面もあり、受講者からは非常に有意義な講習会であったとの声があります。

法案が国会を通りますと厚生労働省より各都道府県へ通達があり需要が増えると思われま、来年度も開催予定ですので、まだ、受講されていない会員のみなさまは、参加をよろしくお願い致します。

## 【日程及びプログラム】

開催目的：CT・MRI 検査で造影後の静脈針の抜針・止血を習得する

日時：平成25年8月4日（日） 9：50～16：30

会場：鹿児島大学医学部臨床講義実習棟2F「第4講義室」

受講料：会員2000円 非会員8000円

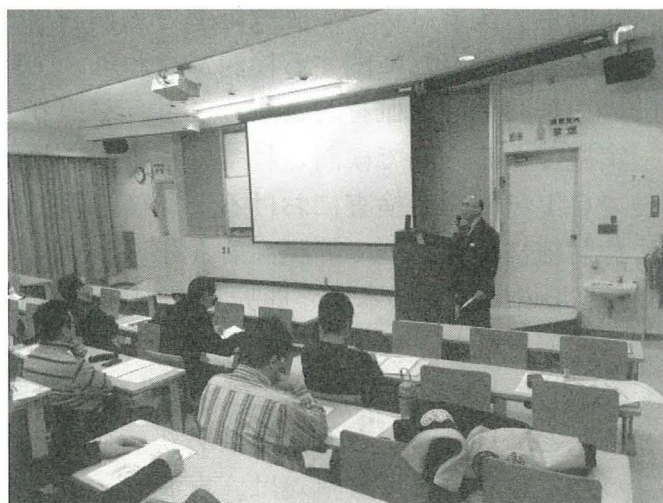
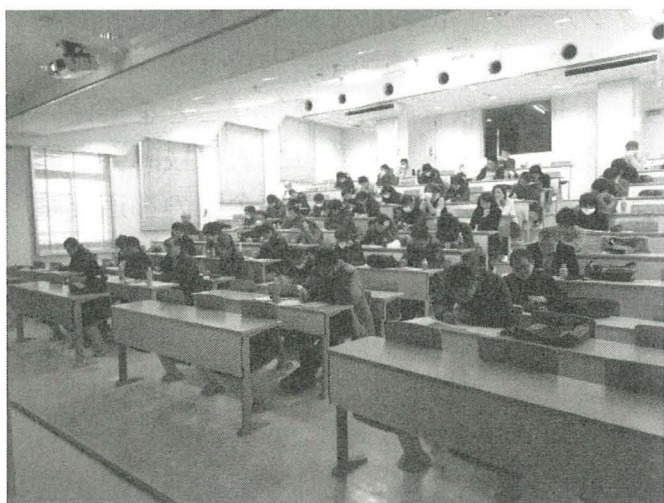
受講者数：50名（定員になり次第締め切り）

内容：DVDによる講義（視聴）及び看護師による実習

日程：

9：30～9：50	受付
9：50～10：00	開講式・オリエンテーション
10：00～10：45	静脈注射に関わる診療放射線技師の法的責任
10：45～11：45	静脈注射と感染管理
11：45～12：45	休憩
12：45～13：30	薬剤（造影剤）に関する知識
13：30～14：30	合併症への対応
14：30～14：45	休憩
14：45～16：15	抜針の実際（演習）・試験
16：15～16：30	修了書授与 閉講式

【会場風景】



## 平成24年度(公社)鹿児島県診療放射線技師会 春季学術大会 開催報告

恒例により、平成24年度(公社)鹿児島県診療放射線技師会の春季学術大会が、今年度は、公益法人移行もあり、遅れて平成25年4月21日(日)に鹿児島大学医学部保健学科6Fインテリジェンス講義室にて開催された。

例年になく演題申し込みが多く、プログラムも13時30分までかかり、充実した大会となった。発表の10演題は、モダリティが多岐に渡り、発表態度や、内容も十分に検討された所が分る発表で、非常に好評であった。又、参加者も多く103名の参加数となった。

是非、発表者には更に研究を進められ、今年佐賀県で行われる第8回九州放射線医療技術学術大会にもエントリーして頂きたいと思います。尚、鹿児島県診療放射線技師会では、秋に霧島始良地区で開催予定ですので、多数の発表と参加をお願い致します。

## 「学術大会プログラム」

## 【セッション1】 11時20分～12時

座長 清泉クリニック 渡邊義治

1. 足関節X線撮影における至適撮影法を探る 側面天蓋角:TLS角に着目して  
慈愛会今村病院分院 馬場 隆行
2. 膝関節の軸位撮影における検討  
霧島市立医師会医療センター 池田 隆太
3. Flat Panel Detector(FPD)長尺撮影の使用経験  
鹿児島大学医学部歯学部附属病院 馬渡 慎治
4. トモンセシスの使用経験  
鹿児島大学医学部歯学部附属病院 田中 嵩人

## 【セッション2】 12時10分～12時40分

座長 霧島市立医師会医療センター 佐々木 崇

5. 乳房超音波検査の基本テクニックとピットホール  
さがらパース通りクリニック 原口 織歌
6. 透視装置における線量表示値と実測値の比較検討  
鹿児島大学医学部歯学部附属病院 新山 雄志
7. 小児心臓CTの撮影条件の検討  
鹿児島大学医学部歯学部附属病院 淵村 有紀

## 【セッション3】 12時50分～13時20分

座長 鹿児島大学病院医学部歯学部附属病院 岩永 崇

8. アルツハイマー型認知症における解析ソフトの比較検討  
さかき脳神経外科 平原 大助
9. 当院における脂肪抑制法 IDEAL の使用経験について  
鹿児島共済会南風病院 放射線技術科 山下 友也
10. 鹿児島県多施設共同心筋ファントム実験～結果から自施設撮影条件の分析と検討～  
鹿児島大学医学部歯学部附属病院 若松 重良

## 「参加者」

岡田 淳徳・村山 光生・山口 信夫・鮫嶋 宗俊・梶 岩雄・大久保 光男・西本 孝市・池田 睦・  
新村 栄次・室屋 純一・橋口 善治・竹之内 学・石山 重行・村野 和久・伊原 孝志・瀬戸 和人・  
平賀 真雄・松本 俊也・園田 実郎・瀬戸口 勲・斉藤 二郎・藤崎 拓郎・児玉 公輝・松野下 直美・  
末永 浩二・西郷 康正・松下 芳正・西元 辰也・馬場 隆行・田口 利樹・島児 末治・前迫 秀利・  
隈元 満広・廣瀬 親・園田 隆・中島 祐二・江平 俊雄・井ノ上 祐二・有薊 良一・平田 勝・  
三反田 正紀・川原 浩・原口 誠・野中 康博・藤坂 智史・四本 斉・浮田 啓一郎・大園 健一・  
坂下 周一郎・藤崎 誠・中島 さおり・坂井 宣彦・久保 幸子・淵脇 崇史・吉野 健・中原 武志・  
平原 大助・丸尾 美由紀・下園 大介・佐々木 崇・本村 江利子・小磯 美奈・元日田 調・佐藤 洋一・  
梶 祐幸・福留 三朗・上釜 健作・白石 朋之・穂山 和章・坂本 幸望・白坂 記男・新留 寿・郭 武浩・  
齊藤 朋典・小谷 弘樹・塔尾 政彦・岩永 崇・西元 孝海・奥 好史・東 幸浩・市原 正道・浅井 愛邦・  
日高 稔・原口 織歌・本村 克朗・木屋尾 祐太郎・西村 美幸・木村 圭佑・小屋 保浩・岩元 亮太・  
上川 智弘・梅北 陽平・瀬筒 美紀・上床 達哉・渡邊 義治・大迫 俊一・柳川 絢海・持留 浩輔・  
寺園 将・山下 友也・大塚 佳純・池田 隆太・若松 重良(敬称略 順不同)

足関節X線撮影における至適撮影法を探る  
側面天蓋角：T L S角に着目して

今村病院分院

画像診断センター 馬場隆行<sup>#</sup>

岩下昌平

徳久整形外科 松野下直美

(目的)

MRIやX線CTなど多様化するモダリティの進化の中において、単純X線撮影は軽視される傾向が強くなってきているように思われる。

しかし画像診断における基本は単純X線撮影であり、さらに、立位加重撮影など他のモダリティでは不可能な撮影が容易に行える利点がある。

これまで、側面天蓋角：T L S角を考慮した撮影法は無く、見過ごされていた。

足関節X線撮影において、脛骨天蓋—距骨滑車の関節裂隙を描出することは非常に重要であるが、定量化し、再現性良く撮影することは容易ではない。

そこで足関節を構成する脛骨の側面天蓋角：T L S角に着目し、撮影体位と、X線入射角度を再検討し、脛骨天蓋—距骨滑車の関節裂隙を描出することが出来る至適撮影法を決定する。

(はじめに)

足関節を構成する脛骨には

正面天蓋角：T A S角と

側面天蓋角：T L S角がある 図 1-1

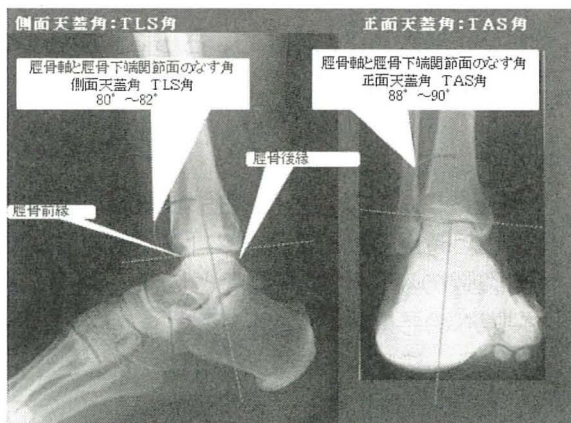


図 1-1

今回、側面天蓋角：T L S角に着目し、撮影体位と、X線入射角度を再検討し、脛骨天蓋—距骨滑車の関節裂隙の描出を比較検討する。

(これまでの撮影法とその問題点)

足関節前後方向撮影

内果および外果をカセット面より等距離にし、脛骨を水平にして撮影する。中心X線は距腿関節中心に目掛けてカセット面に垂直に入射する。図 1-2



図 1-2

(問題点) これまでの通常撮影の場合、脛骨後縁がどうしても関節裂隙に投影される可能性が高い 図 2-3

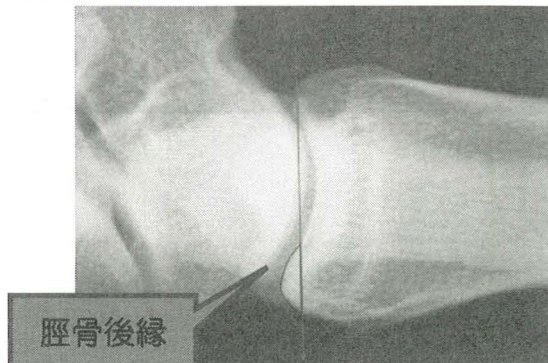


図 2-3

(方法)

脛骨の側面天蓋角：T L S角の正常値は  $80^{\circ}$  ~  $82^{\circ}$  である。そこで、脛骨天蓋—距骨滑車の関節裂隙に対して、X線を  $2.5^{\circ}$  刻みで5方向から入射し、X線検像を行い評価する。

図 2-4

図 2-4



(結果)

今回の被験者の側面天蓋角：T L S角  $83^{\circ}$  である。

今回の脛骨天蓋—距骨滑車の関節裂隙の描出は総合的に判断してX線入射角度が  $82.5^{\circ}$  の時が優れている。図 2-5

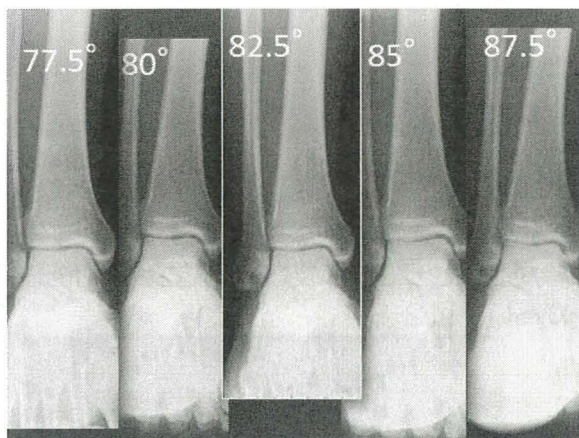


図 2-5

対象患者の側面天蓋角：T L S角を利用し、X線入射を決定すれば、骨天蓋—距骨滑車の関節裂隙を広く描出することが示唆された。

(考察)

臨床で使用する標準角度としては、個々の側面天蓋角：T L S角を計測してから足関節正面を撮影するわけにはいかず、標準撮影法を決定しておくべきと思われる。

標準的な\*側面天蓋角：T L S角が  $80^{\circ}$  から  $82^{\circ}$  である事を考慮すると  $81^{\circ}$  前後で撮影することが最良と考えられるが、X線管球の角度計の精度と実際に設定可能な角度の最小値は  $2.5^{\circ}$  程度であることを考慮し、当院では、 $82.5^{\circ}$  足関節正面専用撮影補助具にて撮影し良好な結果を得ている。図 2-6

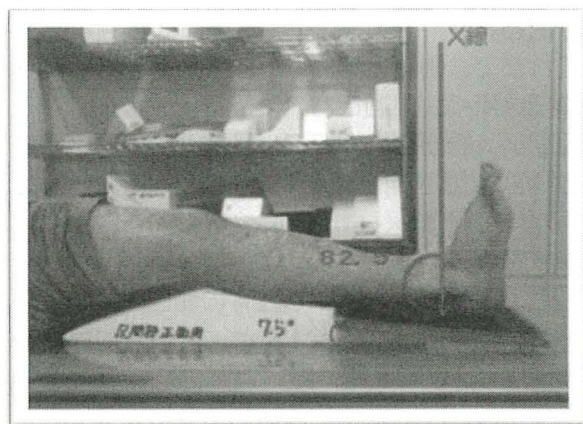


図 2-6

実際の撮影では、側面天蓋角の個人差、下腿が太いと角度が増すなどの個人差などを考慮し、微調整を加えることにより、さらに診断価値の高い画像を提供できると考えられる。

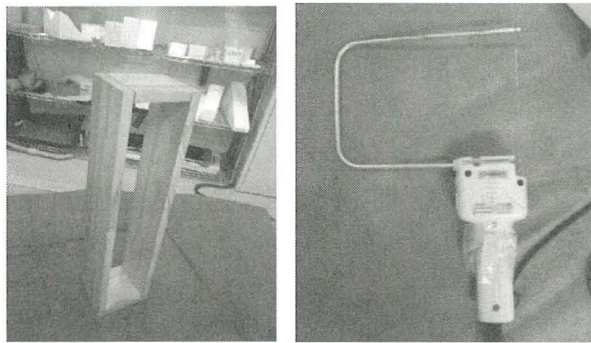
正面の足関節前後方向撮影のX線写真において

再撮影かどうか迷った場合 側面まで撮影を終了した時点で、側面天角：T L S角の値や、関節裂隙の狭小化や骨棘などによる画像の関節裂隙への悪影響の度合いなど、総合的に判断してから、決定すべきだと考えられる。

(最後に)

市販の発砲スチロールを用いて撮影補助具を作成する場合、電熱線を使用したスチロールカッターで切断するが、精度よく切断するのは専用治具を使用しないとほぼ不可能に近い。我々は市販の発砲スチロール(910×1820×100mm)を精度よく切断するために専用治具を開発し実際に使用し非常に有効であった。

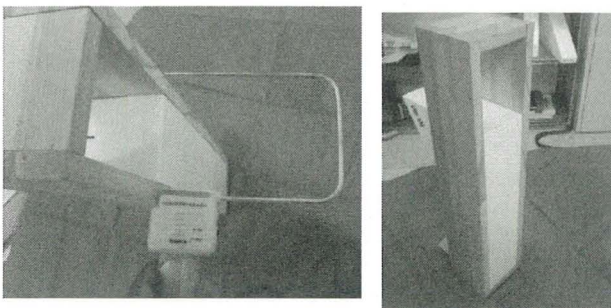
(図3-2)



(図3-2)

これまでに40種ほどの撮影補助具を作成したが、この専用治具が無ければ、これほど多種多様の撮影補助具を高精度で作成できなかったであろう。(図3-3)

実際の臨床で使用できる補助具にするためには、自分達で使用感を試し、何度も試行錯誤を繰り返し、検証と手直しを加えた後に完成する。そこに至るまでには、いくつかの試作がお蔵入りした。

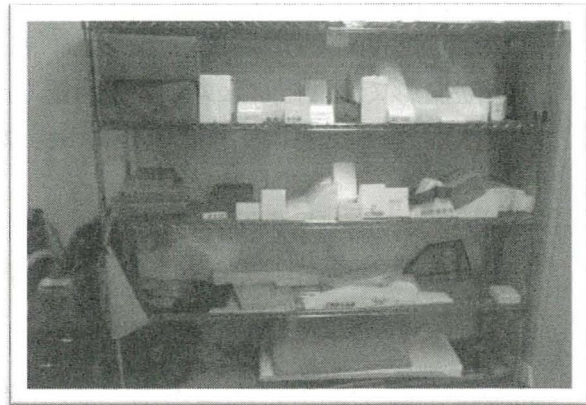


(図3-3)

これからも「あったらいいな。」を具現化し、

妥協せず、勘や経験に頼りすぎない、定量化された撮影方法で、再現性の良い画像を提供し続けたい。

(図3-3)



参考文献

※ 理想的なTLS角は81~82°である。

Mark E.Easley 著

通常のTLSの角度は約80°~81°:

勝井ら1980:Monji1980)81

安藤栄次:図解下肢撮影法、オーム社2010

骨・関節 X線写真の撮り方と見かた

第7版 堀尾重治

計測結果

今村病院分院

側面天蓋角:TLS角:81.5° ±4.6° (n:100)

## 膝関節の軸位影における検討

霧島市立医師会医療センター 放射線室  
池田 隆太

### 【背景・目的】

当院では膝関節のルーチン撮影で正面、側面、軸位の3方向撮影が多く用いられる。特に軸位撮影では関節腔の描出が困難なことがある。

今回の研究は、描出再現性の良い撮影が出来る方法について基礎的な検討を行った。

### 【対象】

健常者男性6名(平均年齢：32歳)を仰臥位にて膝関節の撮影を行った。

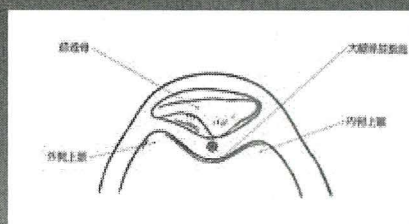
### 【方法】

仰臥位で膝下部分に角度90°の三角クッションを置いた状態で膝関節側面を撮影し、描出された側面像より管球斜入角度を求め軸位撮影を行った。なお側面撮影時と軸位撮影時では被験者の体位は同体位とした。

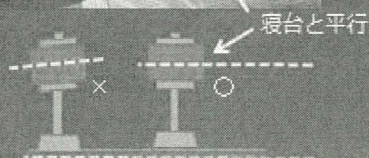
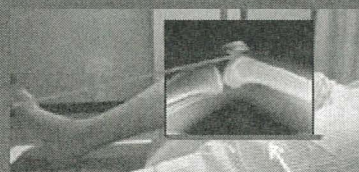
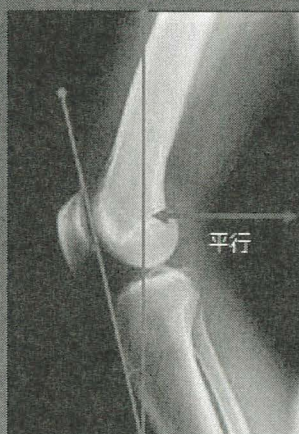


## 軸位撮影の合格基準

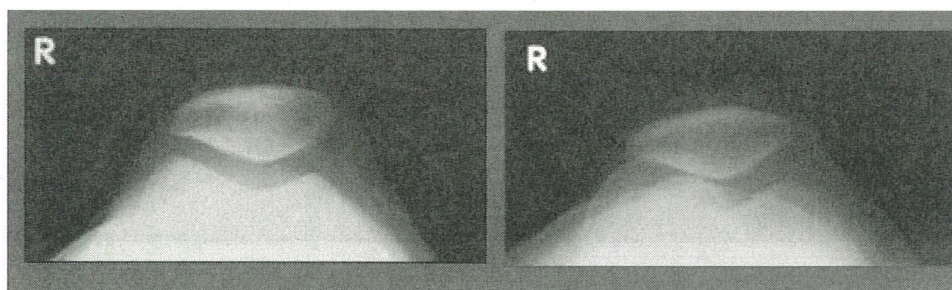
- 大腿骨膝蓋面が接線状であり膝蓋骨関節面の内側と外側も接線状の状態関節腔を均等に広く描出する。
- 大腿骨膝蓋面の外側面は長く、辺縁で鋭角な曲線。
- 内側面は短く、辺縁は鈍角な曲線。



## 軸位撮影



- カセットの長辺は寝台と平行で、側面像から膝蓋骨下辺を基準とし管球射入角度を求める。



### 【結果】

6名中4名が関節腔の描出が良好だった。  
しかし、残りの2名では、関節腔に脛骨が被った画像が描出された。

【考察】

## 脛骨が関節腔に被った原因①

- 今回の撮影では側面像の写真を基に角度を計測したうえで軸位撮影に移るため、この間少々の時間を要する。被験者は同体位を保持する必要があるが、保持できず外旋してしまい、脛骨が関節腔に描出されたのではないかと考えられる。今後、側面撮像～軸位撮像間の時間の短縮と下腿部の固定をさらに強化することで改善可能と考える。



## 脛骨が関節腔に被った原因②

- カセット長辺と寝台が平行でなかったため、実際に射入する角度が異なり脛骨が関節腔に被った像が描出されたのではないかと考えられる。



【結語】

膝関節の軸位撮影で描出再現性の良い撮影が出来る方法について、基礎的な検討が行えた。

# Flat Panel Detector (FPD)長尺撮影の使用経験

鹿児島大学医学部歯学部附属病院 臨床技術部放射線部  
馬渡 慎治, 大園 健一, 野上 春彦, 西郷 康正

## 【背景・目的】

当院に Flat Panel Detector (FPD) 長尺撮影機能が導入され、1年が経過した。現在は、立位脊椎連続撮影、立位下肢連続撮影に使用している。脊椎連続撮影を必要とする側弯症の外来診察日が、水曜日の午後にあるため、検査時間が重なる。また、一人当たりの検査時間も長いので、待ち時間軽減のため、以前から使用している長尺カセットと併用している。長尺カセットを使用するときは、カセットの入れ替え、画像処理に時間を要する。検査時間短縮のため、撮影担当と画像処理担当を分けて行うことが多い。

今回、FPD 長尺撮影と長尺カセットでの照射から画像表示までの時間の比較と FPD 長尺撮影の使用経験を報告する。

## 【使用機器】

FPD 長尺撮影

撮影装置 RAD speed safire

長尺カセット撮影

カセット FUJI IP LONG VIEW : 35.4×83cm

グリッド MS-X レイ・グリッド (グリッド比 8 : 1)

読み取り装置 FCR PROTECT

## 【撮影方法】

当院の脊椎連続撮影は、頸椎から股関節、下肢連続撮影は、腸骨稜から足関節が含まれるように撮影を行う。上記撮影範囲が含まれるように、照射野、撮影回数の決定を行う。表1に照射野、撮影回数の違いによる撮影範囲の違いを示す。撮影範囲を決定した後、X線管球を上下させ、撮影範囲の上限、下限を決定すると、1回目の撮影位置にX線管球、FPDがセットされる。その後、X線を照射すると、2回目の撮影位置に、X線管球の回転とFPDの移動が行われ、X線が照射される。撮影は、最小3cmの重なりをもって行われる。撮影が終わると、自動で画像のつなぎ合わせが行われ、画像が表示される。画像のつなぎ合わせは、撮影時に重なっている部分に濃度勾配をかけて行われる。

表 1 照射野、撮影回数の違いによる頭尾方向の撮影範囲の違い

	2 step	3 step
大角 (14×14)	62cm	92cm
半切 (14×17)	76cm	111cm

## 【結果】

表 2 に FPD 長尺撮影と長尺カセットでの照射から画像表示までの時間の比較を示す。FPD 長尺撮影の X 線の照射から画像表示までの時間は、4.5 秒であった。また、1 回目の照射から 2 回目の照射までの時間は、3.6 秒であった。

表 2 FPD 長尺撮影と長尺カセットでの照射から画像表示までの時間の比較

	FPD	CR
X 線照射から画像表示までの時間	4.5 秒	2 分 27 秒
1 回目の照射から 2 回目の照射 までの時間	3.6 秒	—

## 【利点・改善点】

画像表示までの時間が大幅に短縮された。また、カセットの入れ替えが不要であるため、検査時間の短縮、待ち時間の軽減につながる。撮影と画像処理の人員を分けて割かなくてよい。照射毎に線量の変化が可能である。最大 17×17 inch で撮影が可能である。

図 1 は縦 14inch×横 17inch の 3step で撮影した下肢連続撮影の画像である。17inch で撮影できたため、長尺カセットよりも情報量の多い画像が得られた。



図 1 下肢連続撮影図

**【注意点】**

身長が 180cm 以上ある場合、撮影台、FPD の上下動の制限のため、頸椎まで入らないため、撮影不可能なことがある。

動きにより、撮影になった画像を図 2、3 に示す。FPD 長尺撮影では、FPD の移動と X 線管球が回転する時間があるため、長尺カセットでの撮影よりも、患者の動きに注意が必要である。



図 2 動いてしまい再撮影となった画像

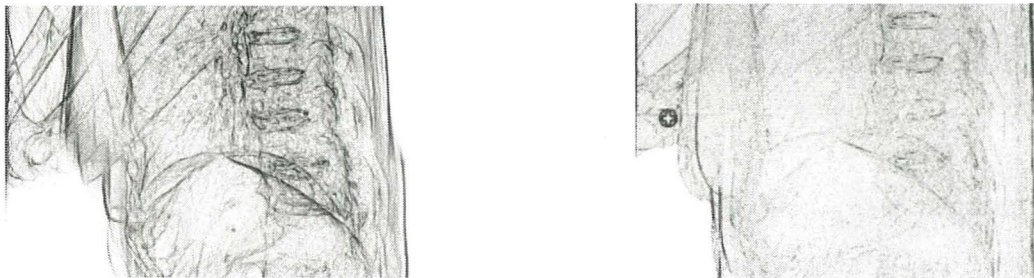


図 3 再撮影となった画像のエッジ強調画像(左)カセットによる再撮影後の画像(右)

**【結語】**

FPD 長尺撮影機能は、照射から画像表示までの時間が早く、カセットの入れ替えの作業が不要なため、検査時間の短縮が可能である。今後、線量と画質の評価を検討する必要がある。

## トモシンセシスの断層厚について

鹿児島大学病院 臨床技術部放射線部門  
○田中嵩人・川原 浩・末永浩一・西郷康正・池田 睦

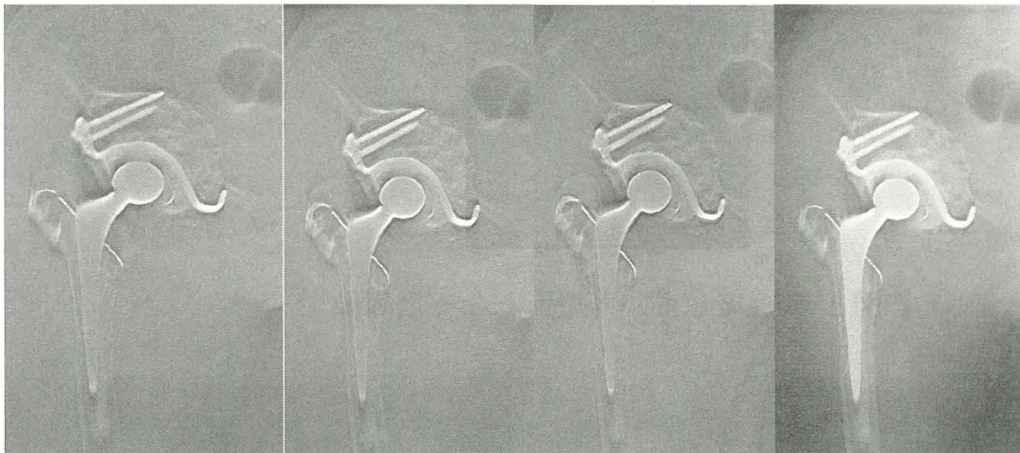
<はじめに>

トモシンセシスとは、断層撮影とデジタル画像処理を融合させた新しいデジタル断層技術のことである。特長としては、撮影に要する時間は、約5秒程度で、一回の撮影で高さの異なる任意の断面が再構成可能である。主に、骨折や腫瘍の有無の診断、治療後の経過観察に用いられている。

(画像再構成法)

- ① SA (シフト加算) 法
- ② FBP (フィルタ補正逆投影) 法

(主な画像再構成フィルタ)



T++

T

T--

T++ (Metal 2)

<目的>

当院でルーチンとして用いている断層角度  $40^\circ$  を用いて撮影を行っています。トモシンセシスの断層厚について比較検討を行い、その結果をもとに、撮影部位・目的によって断層角度・再構成フィルタを使い分けできないか考えることを目的としました。

<検討項目>

- ① 断層振角の違いによる断層厚
- ② 画像再構成フィルタの違いによる断層厚

(使用機器)

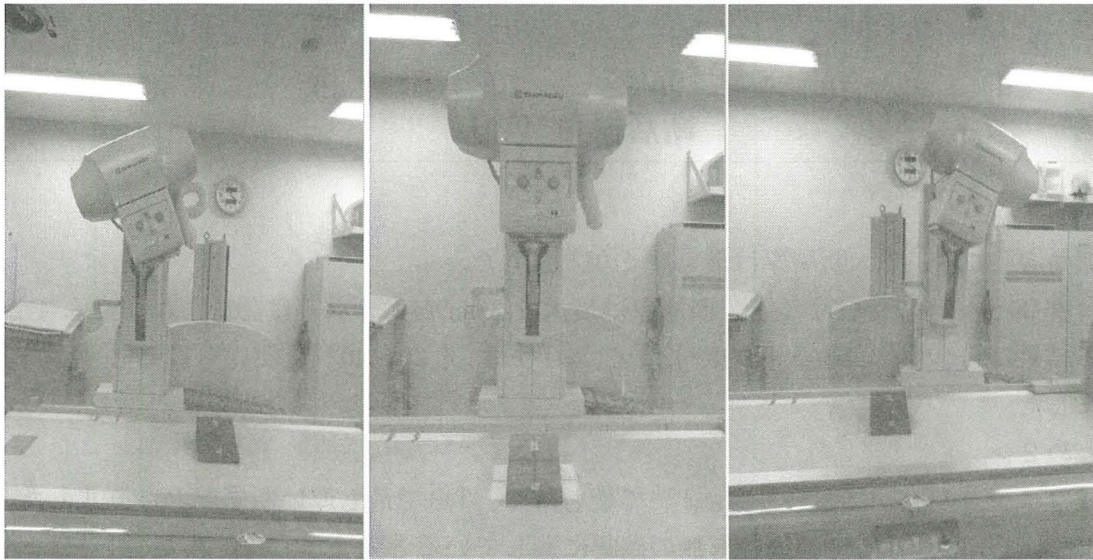
- ・FPD 透視装置 SONIALVISION safire 17 (島津製作所)
- ・ファントム タングステン線 0.1mm
- ・データ解析 Image-J

<ワイヤー法の撮影条件>

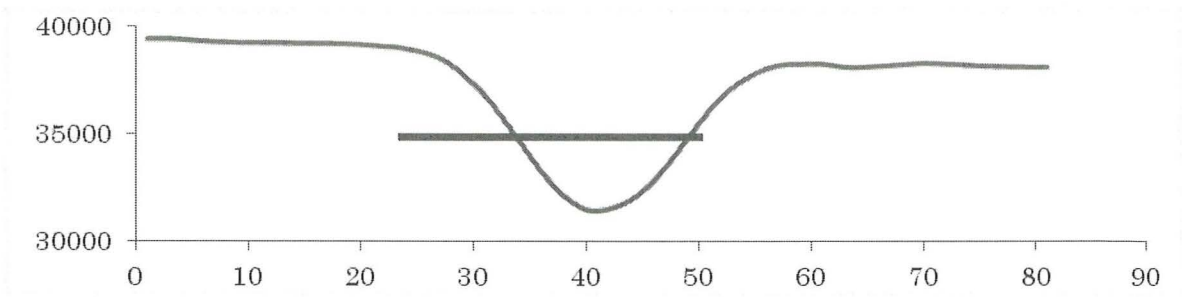
- ・管電圧 55kV ・管電流 200mA ・時間 6.3ms/フレーム(74フレーム)
- ・再構成高さ(中心) 60mm ・再構成範囲 40mm ・再構成ピッチ 1mm
- ・SID 110cm
- ・断層振角 8° 20° 30° 40°
- ・画像再構成フィルタ T++ / T / T--/T++(Metal2)

<方法>

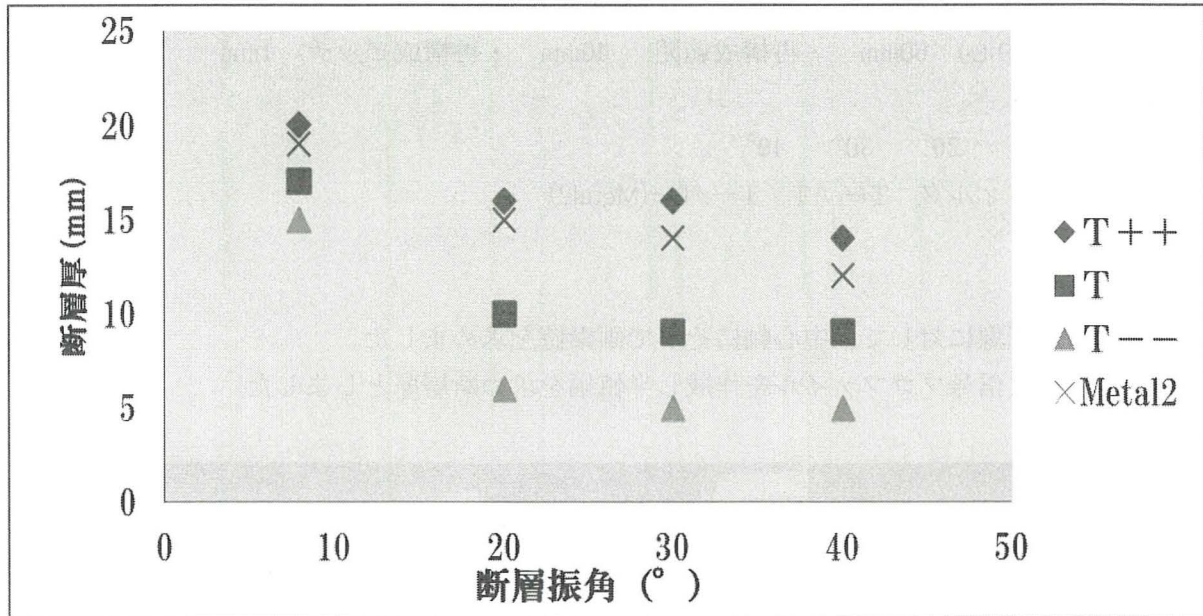
40枚の断層画像に対して、中心軸にそって画素値を求めました。  
それをもとに、信号プロファイルを作成し半値幅を求め断層厚としました。



**計40枚の断層画像を作成**



## &lt;結果&gt;



## &lt;まとめ1&gt;

断層振角 8° において、断層厚は最も厚くなりました。

断層角度 20~40° で比較すると、断層厚は最大で 3mm と大きな差は認められませんでした。今回の結果から、撮影部位・目的によって、8° および 20~40° を使い分ける必要があると考えました。

## &lt;まとめ2&gt;

再構成フィルタの違いにおいては、T--で最も薄く、T++で最も厚い断層厚となりました。

これより、T++は、骨折や腫瘍の有無の確認に適していると考えました。また、T--は、骨折線の確認や腫瘍の浸潤の確認に適していると考えました。

## &lt;今後の課題&gt;

断層厚の測定方法には、ワイヤー法以外にビーズ法が知られている。2つの方法による断層厚の違いについて検討していきたいです。また、今回の結果を踏まえ、撮影部位に応じた適切な断層振角・再構成フィルタについて検討したいです。

## 乳房超音波検査の基本テクニックとピットホール

相良病院附属ブレストセンター 画像検査部

原口織歌 田口稔基 大迫俊一 岡本瑠美 楠田喜子 市木由美 中村友紀 前鶴麻樹

### 【目的】

乳房超音波検査は病変の描出に優れ、乳癌の早期発見に極めて有用である。

しかし一方で、検査者の判断による断層面しか提示できず、検査者の技量に依存するという問題点を含んでいる。そこで今回、これまでの失敗を改めて振り返ると共に、基本テクニックを再確認し、今後の検査に活かしていく。

### 【はじめに】

当院で行っている乳房超音波検査の基本テクニックを提示する。

1. ポジショニング：検査側の腕を挙上し、肩下に枕を敷くことで、乳腺を伸展させ、乳房がフラットになり、検査をしやすくする。
2. 深度：乳腺全体と胸筋まで描出できる深さが望ましい。当院では前回との比較がしやすいように5cmに統一している。（場合によって変えることもある）
3. フォーカス：乳腺の深さや厚みに応じて適切な位置に変えながら観察する。
4. 基本走査：頭尾方向は鎖骨下から乳腺下極まで、左右方向は腋窩線から胸骨部まで、乳腺全体を最低2回スキャンする。このとき、プローブを出来るだけ垂直に当て、プローブが一部重なるように折り返し、スキャンに隙間ができないように注意する。
5. 乳頭直下：乳頭直下は乳頭がブラインドになりやすく観察しにくいいため、基本走査とは別に最低2回観察する。

当院における乳腺超音波検査の正診率  
(平成11年乳癌症例340例)

的中率が約85%、感度が約98%であった。感度残り数%はほとんどが石灰化を伴うDCISであり、それ以外の明らかな病変の見落としは過去5年間で5症例であった。

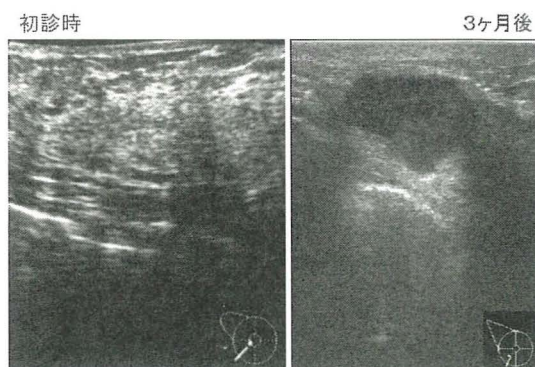
### ＜基本テクニック＞ ＜ピットホール＞

- ポジショニング → 下垂乳房
- 深度
- フォーカス位置
- スキャン → 乳腺端の見落とし  
→ T2見落とし
- 乳頭直下 → 乳頭下見落とし
- プローブの当て方 → 偽像

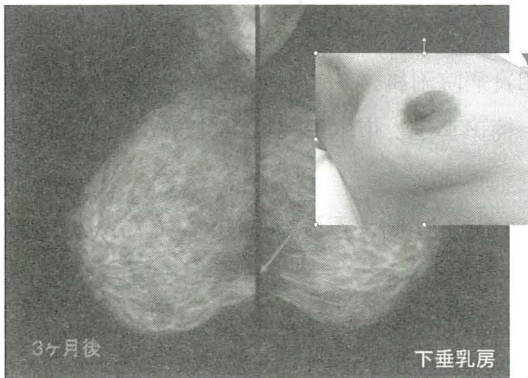
### 【方法】

基本テクニックをもとに、過去に描出できなかった症例や正確に指摘できなかった症例を拾い上げ、その原因と対策を考える。

### I. ポジショニングに対してのピットホール下垂乳房



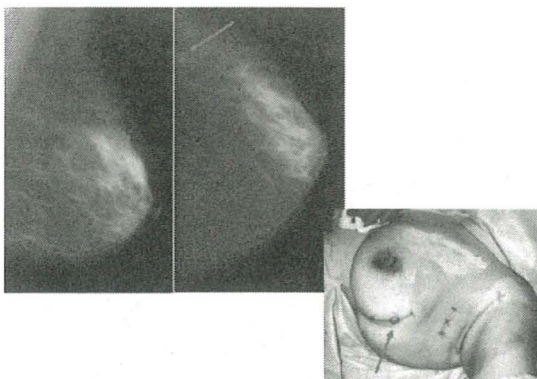
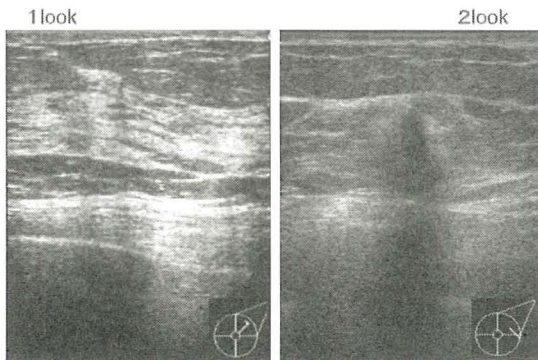
MMG(初診時)



原因:下垂乳房ではポジショニング時に段差ができやすく、さらにそこに病変があり、見落としが考えられる。

対策:段差ができないようにポジショニングする。ポジショニングが困難な場合は体位変換、乳房を手で伸展させるなどの工夫が必要である。

II-1)スキャンに対してのピットホール乳腺端の見落とし

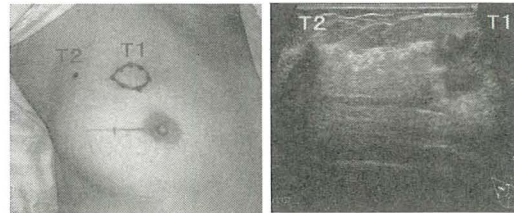
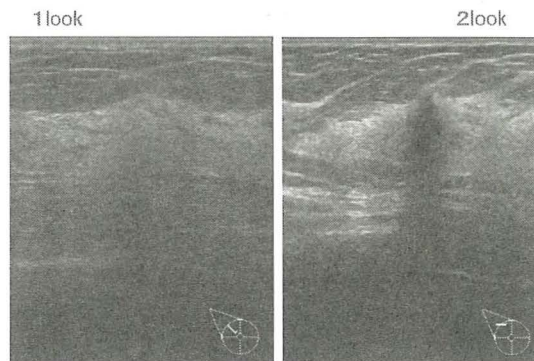


原因:乳腺の端がスキャンできていなかった

ことが考えられる。

対策:乳腺の範囲は個人差があることを念頭に入れ、隙間がないように、また乳腺の端までしっかりスキャンすることが重要である。

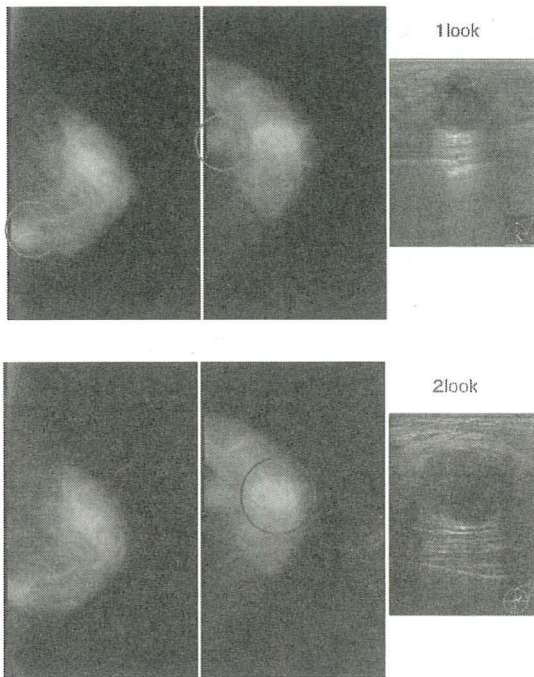
II-2)スキャンに対してのピットホール T2 の見落とし



原因:大きな T1 に気を取られていたこと、検査者より1番遠方の部位(C<sup>^</sup>)であり走査がしにくいためスキャンに隙間があったことが考えられる。

対策:主病変他所見検索を怠らないこと、スキャンに隙間がないようにする。

III.乳頭直下に対するピットホール乳頭直下の見落とし

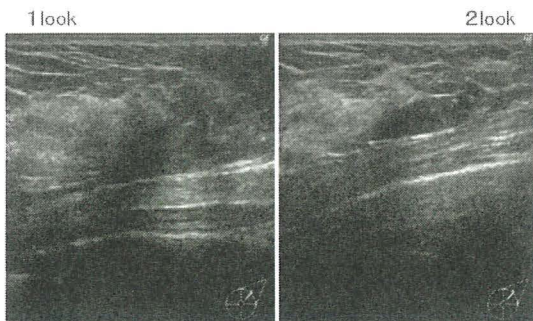


1look で赤丸の腫瘍のみを指摘していたが、実際には乳頭下に大きな腫瘍（青丸）があり、これを見落としていた。

原因：乳頭直下の観察を怠ったこと、マンモグラフィで描出されていたにも関わらず見落としとしていたことから、検査前のマンモグラフィの確認不足が考えられる。

対策：基本走査後、改めて乳頭下（乳頭内を含む）を念入りに観察する、超音波検査前にMMG 確認をしっかりする。

#### IV. 偽像



1look で低エコー域の病変と提示していたが、2look で描出されず、偽像を作っていた症例である。

原因：①プローブが垂直に当てられていなかったことが考えられる。プローブが傾くと超音波が垂直に入らないため、音速が異なる皮膚や脂肪間では、斜め入射で超音波の屈折や反射が強くなり、超音波は拡散して画像が劣化する。②膠原線維が複雑に増生した部分であり、それによって超音波が減弱し低エコー域として描出されたことが考えられる。③適度な圧迫不足により密着も悪く、観察視野が深くなり、画質が不鮮明になった可能性が考えられる。

対策：プローブを可能な限り垂直に当て、患者様の苦痛にならない程度の適度な圧迫をする必要がある。また、クーパー靭帯やプローベ痕などの影響でこのような低エコー域を呈す場合があることを念頭に入れておく必要がある。そして、2方向以上で観察し、真の病変であるか確認する必要がある。

#### 【まとめ】

乳腺超音波検査において、見落としやすい部位も基本テクニックを忠実に行うことで回避することができる。今回、基本テクニックの重要性を再確認できた。

乳房検査において、マンモグラフィ、超音波共に見逃しやすい部位が言われているが、互いに補うことができることを理解し、検査を遂行することが重要である。

またこれらを技師間で共有することでスキルアップが図れ、乳がん早期発見に繋がるものとする。

## 透視装置における線量表示値と実測値の比較検討

鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 臨床技術部 放射線部門  
新山雄志 川原浩 末永浩一 西郷康正 池田睦

### 【背景】

・当院では装置の老朽化に伴い、平成 23 年度に 4 台の装置更新を行った。・更新に際し、HIS や RIS 画像も参照できるように 4 面型モニタを設置した。また、検査中の透視・撮影も記録できるようにした。・RIS 接続においては患者情報の取得ならびに被ばく線量管理を考慮し、MWM・MPPS の設定を行った。

### 【目的】

・各透視装置からの被ばく線量情報については、面積線量計を用いた算出や NDD 法による計算式など各メーカー独自の方法にて被ばく線量が表示されている。・今回、被ばく線量情報が得られるオーバーチューブ型透視装置の表示値と実測値の比較検討を行ったので報告する。

### 【使用機器】

- ・透視装置 AXIOM Luminos dRF (シーメンス・ジャパン株式会社) CUREVISTA (日立メディコ)
- ・指頭型線量計 MODEL9015 (Radcal 社)
- ・アクリルファントム (30cm×30cm) 厚さ：5~28cm

### 【各装置の特徴】

- ・2つの装置で大きく異なるのは被ばく線量の算出方法であり、SIEMENS 社製の装置はテーブルから 30cm の高さにおける線量を空気カーマで表示しており、HITACHI 社製の装置は NDD 法により計算で求めている。
- ・SIEMENS 社製の装置は撮影線量を検査終了後にレポートとして保存することができる。HITACHI 社製の装置は検査終了後に透視線量・撮影線量・総線量が表示される。

### 【検討項目】

- 1.アクリル厚(5~28cm)の変化に対する透視線量率および撮影線量
- 2.透視装置表示値と実測値との被ばく線量の比較

### 【測定方法・条件】

- ・測定した表示値と実測値を記録し、実測値に関しては照射線量を吸収線量に変換する。
- ・実験配置を Fig.1 に示す。
- ・測定条件を以下に示す。管電圧および mAs 値は被写体厚により変動する。

AXIOM Luminos dRF

FPD サイズ：22.7cm×22.7cm

SID：115cm

CUREVISTA

FPD サイズ：20cm×20cm

SID：120cm

### 【結果】

各測定結果を以下に示す。

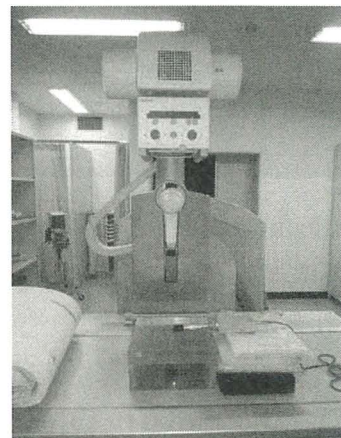


Fig.1 実験配置

・ファントム厚と実測線量の関係

AXIOM Luminos dRF

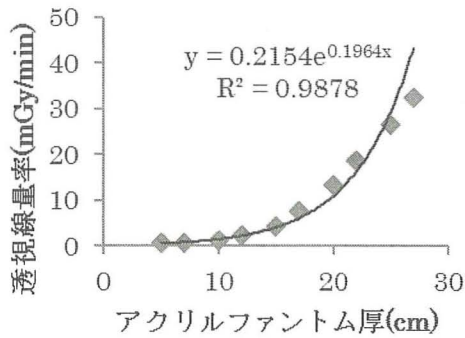


Fig.2 ファントム厚と線量率の関係

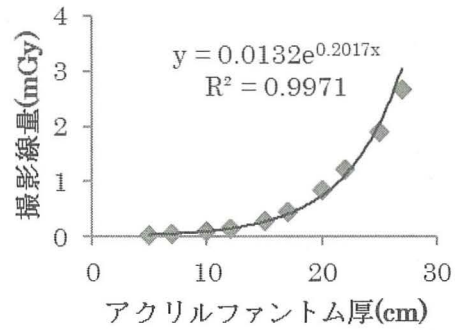


Fig.3 ファントム厚と線量の関係

CUREVISTA

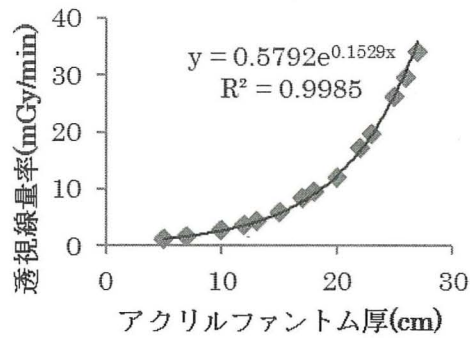


Fig.4 ファントム厚と線量率の関係

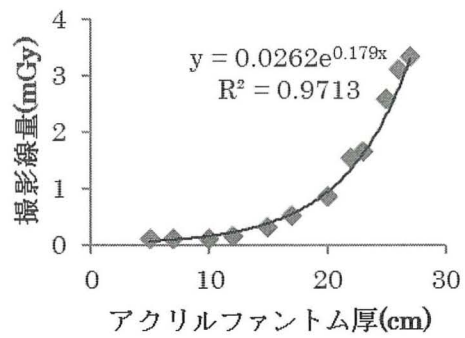


Fig.5 ファントム厚と線量の関係

・表示値と実測値の比較

Table.1 表示値と実測値の関係(被写体 20cm 撮影 10回 透視時間 6分)

透視装置	線量	表示値 (mGy)	実測値 (mGy)	実測値と表示値の誤差(%)
AXIOM LUMINOS dRF	透視線量	117.34	121.55	3.58
	撮影線量	14.06	14.83	5.54
	入射総線量	131.40	136.38	3.79
CUREVISTA	透視線量	117.58	118.85	1.08
	撮影線量	13.11	14.47	10.36
	入射総線量	130.69	133.31	2.01

・アクリル厚の変化による表示値と実測値の誤差

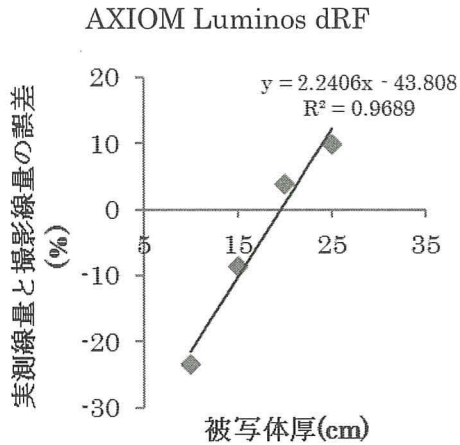


Fig.6 被写体厚と誤差の関係

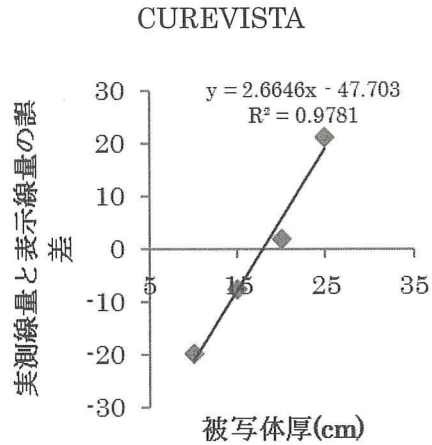


Fig.7 写体厚と誤差の関係

・実測値と近似式値の比較

Table.2 実測値と近似式値の関係(被写体 20cm 撮影 10回 透視時間 6分)

透視装置	線量	実測値 (mGy)	表示値 (mGy)	近似式から求めた総線量 (mGy)	実測値と近似値の誤差 (%)	表示値と近似値の誤差 (%)
AXIOM LUMINOS dRF	透視線量	121.55	117.34	118.36	2.70	-0.86
	撮影線量	14.83	14.06	13.66	8.63	2.93
	入射総線量	136.38	131.40	132.01	3.31	-0.46
CUREVISTA	透視線量	118.85	117.58	109.22	8.82	7.66
	撮影線量	15.47	13.11	11.82	30.91	10.96
	入射総線量	134.31	130.69	121.03	10.97	7.98

【結果のまとめ】

・アクリル厚 20cm における表示線量に対する実測値の誤差はおおむね 10%以内にとどまり、良好な相関を示した。・アクリル厚を変化させた場合、SIEMENS 社製の装置では 20cm、HITACHI 社製の装置では 18cm 付近で実測線量が表示線量と同等の値をとる。被写体厚がこれより大きくなると、実測線量が表示線量を上回り、装置が線量を過小評価している可能性があるため注意が必要である。・近似式から求めた線量も実測値、表示値と比較して大きな誤差はなく、近似式より総線量の算出及び線量管理が可能といえる。

【結論】

・視装置毎の表示値と実測値の比較において、アクリル厚 20cm にて誤差範囲は約 10%の範囲内であった。・線量表示値を参考にして、近似式等を用いて補正をすることでより適切な被ばく線量管理が可能である。

今回の測定結果からも分かるように、透視装置の被ばく線量管理を運用していくには、装置の表示値と実測値の関係を把握しておくことが重要となる。

## 小児心臓 CT の撮影条件の検討

鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 臨床技術部 放射線部  
 淵村有紀 木屋尾祐太朗 小磯美奈 中島祐二 西郷康正 池田睦  
 鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 放射線科  
 内匠浩二

### 【はじめに】

乳幼児心臓領域において ADCT (Volume Scan) を用いた撮影条件についての報告は少ない。当院では、乳幼児における胸部大血管の先天性心疾患(主に心奇形)に対して手術時のナビゲーションとなる 3D 作成のために心電図同期 Volume Scan を行っている。

### 【検討項目】

物理評価では 80kV と 120kV について MTF と NPS を検討し、視覚評価では自作ファントムを用いて撮影条件を一对比較法により乳幼児心臓領域の至適撮影条件について検討し、また segment 再構成した場合の心位相(HR)に対する最適な心位相について文献と当院で撮影した臨床画像を比較検討した。

### 【使用機器】

CT 装置 : Aquilion ONE (東芝メディカルシステムズ社)

Workstation : Zio Z800 (ザイオソフト株式会社)

画像解析ソフト : Image J (NIH)

ファントム : 寒天ファントム 10cm φ (自作) DSA-1 形ファントム (京都科学社)

### 【方法】

#### ■物理評価

MTF はワイヤ法を用い 80kV 400mA と 120kV 250mA について比較し、NPS は水ファントムを用い 80kV と 120kV が SD18 になるような撮影条件で比較した。

表 1 : ファントムの撮影条件

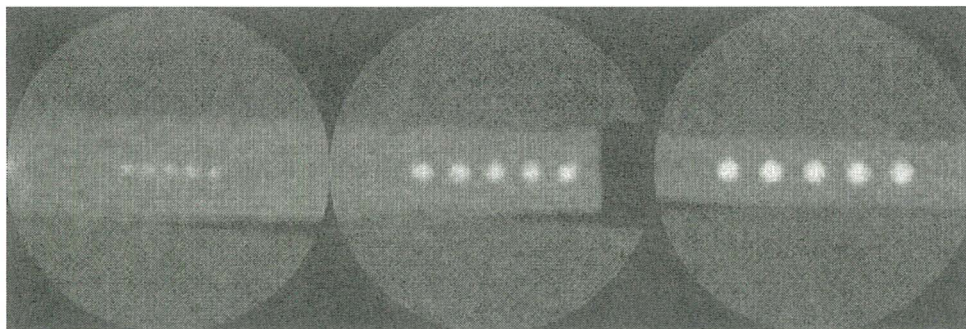
管電圧 [kV]	mAs	スキャン速度 [sec/rot]	AIDR
80	6,15,33	0.35	±
120	6,15,33	0.35	±

#### ■視覚評価

DSA-1 形ファントム (図 1) の 3mm 径に CT 値が 80kV で撮影した際に 350HU 程度になるように希釈した造影剤を注入し、乳幼児の体厚を表現するために自作の寒天ファントムで挟んだものを、表 1 にある撮影条件で 150bpm の心電図同期で心位相 40%~60%、4segment の Prospective Scan で撮影したものを、診療放射線技師 4 名、放射線科読影医 1 名で一对比較法を用いて評価した。

#### ■心位相の評価

参考文献<sup>1),2),3),4)</sup>と当院で撮影した臨床例 (図 2) の結果を比較する。



1mm φ

2mm φ

3mm φ

図 1 : DSA-1 形ファントム

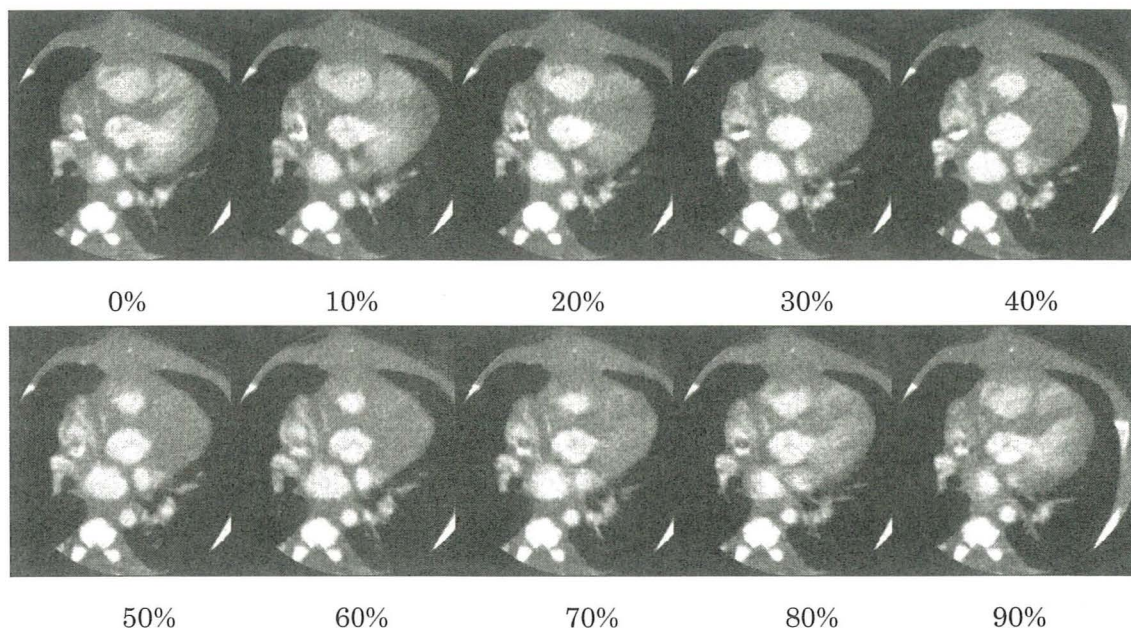


図 2 : HR133~150bpm の臨床例(0%~90%の心位相で再構成【結果】

■物理評価

表 2 より 80kV と 120kV で MTF の結果ほぼ変わらなかった。

表 3 より NPS は 80kV に比べ 120kV の方が良い結果となり、AIDR をかけたものが ORG より良い結果となった。

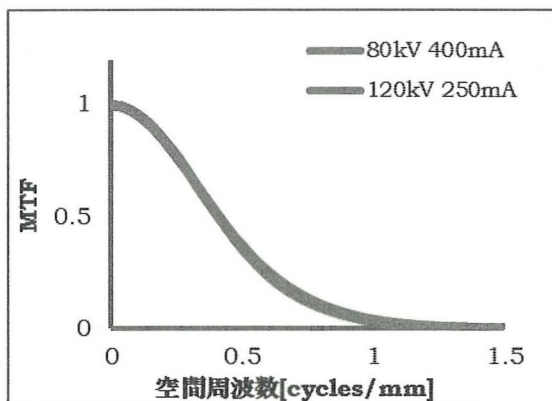


表 2 : MTF

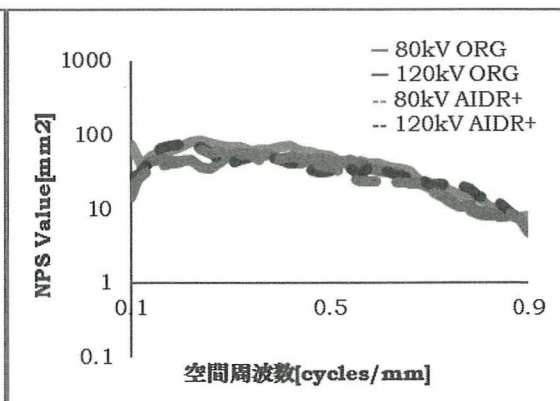


表 3 : NPS

■視覚評価

一対比較法は分散分析により、それぞれの結果は有意差があるとされ、ヤードスティック法を用いて表現すると

図 3 のようになった。右にシフトするほど評価が高く、80kV 33mAs がどのファントムの径でも一番良い結果となった。また、同条件でも AIDR をかけたものが ORG より評価は良いとされた。

■心位相の評価

文献より HR133~150bpm の範囲内の場合の最適な心位相は収縮末期付近が良いとされた。図 4 を比較すると収縮末期付近で辺縁が綺麗に描出されていた。

【まとめ】

物理評価で NPS の結果は 80kV に比べ 120kV の方が良かったが、視覚評価では 80kV の場合で評価が高かった。また、表 1 の線量の DLP を比較すると、80kV で撮影した場合は 120kV で撮影した場合より被ばく線量が 30%程低くなった。更に Prospective Mode と Continuous Mode の DLP を比較すると全体的に約 20%減少する結果となり、全位相を撮影し適切な心位相で 3D を作成するこ

とが理想であるが、被ばくを考慮し心位相を絞った Prospective Scan を採用することが望ましいと考えられた。

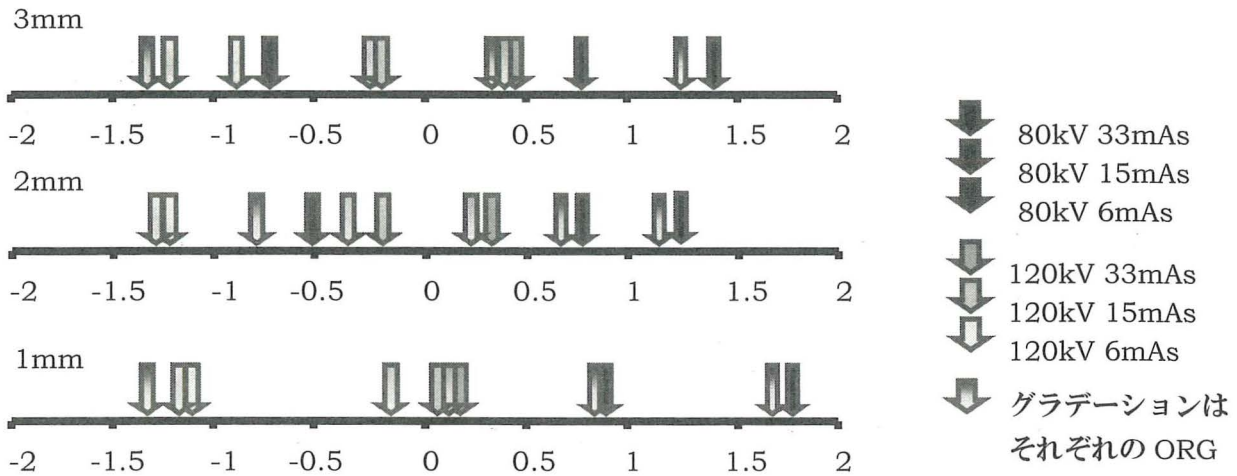


図3：一対比較法による結果

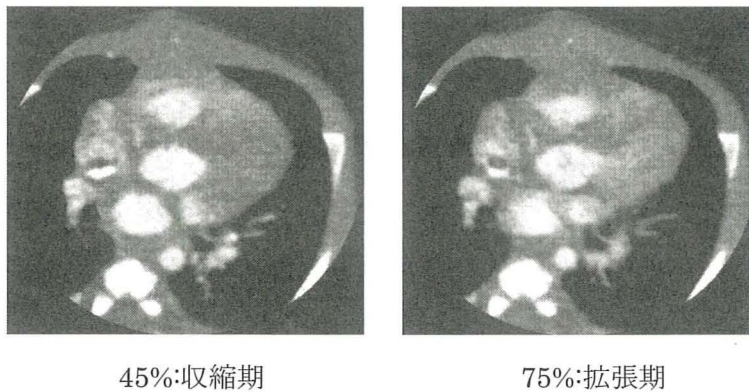


図4：45%の心位相と75%の心位相の比較

【参考文献】

**1)Use of 320-detector computed tomographic angiography for infants and young children with congenital heart disease.**

Al-Mousily F, Shifrin RY, Fricker FJ, Feranec N, Quinn NS, Chandran A.  
Department of Pediatrics, University of Florida, P.O. Box 100296, Gainesville, FL 32610-0266, USA.

**2)Prospective electrocardiography-triggered CT angiography of the great thoracic vessels in infants and toddlers with congenital heart disease: feasibility and image quality.**

Pache G, Grohmann J, Bulla S, Arnold R, Stiller B, Schlensak C, Langer M, Blanke P.  
Department of Diagnostic Radiology, University Hospital Freiburg, Hugstetter Str. 55 79104 Freiburg, Germany. gregor.pache@uniklinik-freiburg.de

**3)Evaluation of image quality and radiation dose at prospective ECG-triggered axial 256-slice multi-detector CT in infants with congenital heart disease.**

Huang MP, Liang CH, Zhao ZJ, Liu H, Li JL, Zhang JE, Cui YH, Yang L, Liu QS, Ivanc TB, Vembar M.  
Department of Radiology, Guangdong Academy of Medical Sciences, Guangdong General Hospital, 106 Zhongshan Er Road, Guangzhou, People's Republic of China.

**4)Low-dose prospective ECG-triggering dual-source CT angiography in infants and children with complex congenital heart disease: first experience.**

Cheng Z, Wang X, Duan Y, Wu L, Wu D, Chao B, Liu C, Xu Z, Li H, Liang F, Xu J, Chen J.  
Shandong Medical Imaging Research Institute, Shandong University, No.324, Jingwu Road, Jinan, Shandong, 250021, China.

## アルツハイマー型認知症における解析ソフトの比較検討

さかき脳神経外科  
平原 大助

はじめに

認知症は現在のところ治療法は無く、進行を遅らせる事が重要であり、早期発見に画像診断は重要な位置を占める。

初期アルツハイマー型認知症の画像診断は、神経心理学的検索より優れているとの報告があり、特に早期アルツハイマー型認知症診断支援システム (Voxel-based Specific Regional analysis system for Alzheimer's Disease, 以下 VSRAD) は 1.5T-MRI の診断ツールとして広く用いられている。

今回比較検討に用いた BAAD (Brain Anatomical Analysis using DARTEL) は、第 40 回日本磁気共鳴医学会にて発表された SPM8 を用いた VBM (voxel-based morphometry) を支援するソフトで、解析前に元データが解析可能かチェックすることや、ROI が 98 ヶ所と全脳をカバーしており、AD 以外へも応用力が高く年齢補正や頭蓋内容積補正という特徴を持った新たな解析ソフトである。

目的

VSRAD Plus と VSRAD Advance と BAAD の 3 ソフトで Z スコアの違いや相関係数や処理速度を確認し、どの解析ソフトが臨床に有用かの検討を行った。

方法&対象

3D-T1強調画像を撮像し、VSRAD AdvanceではVSRAD Advanceフローで、VSRAD Plusでは [6] 自動補正フローで、BAADではBAADを用いて解析を行った。

BAADは海馬の左右、海馬傍回の左右と4つのROIの結果が得られるが、早期発見が患者の予後を左右する事から、最もZスコアの高いものを結果として採用した。

対象は当院をもの忘れの症状で訪れた42名で男性11名、女性31名、52歳～93歳 (平均74歳) であった。

## 使用機器

1. 日立エシエロンベガ1.5T
2. 頭部専用8CH RAPID コイル
3. VSRAD PLUS (Ver3.00.0012)
4. VSRAD Advance (Ver4.31.00.13)
5. BAAD (Ver2.01)

## 結果

平均ZスコアはPlus=1.65, Advance=1.58, BAAD=1.75となった。

相関係数はAdvanceとBAADで0.69, PlusとBAADで0.68, AdvanceとPlusで0.80となった。

解析に要する時間はPlus=2min42sec, Advance=5min59sec, BAAD=10min15secとなった。

処理に使用したPCのスペックを図1、Zスコアの結果を図2、相関係数のグラフを図3に示す。

## 考察

VSRAD同士でも相関が少し低い事が分かった。これはAdvanceの解析精度がDARTEL (SPM8)により向上した事と、文献<sup>(1)</sup>よりVSRAD AdvanceではPlusよりROIの設定が海馬により近い設定となった事が要因と考えた。

BAADは解析精度もAdvanceと同等であったが、解析にかかる時間は約2倍を要した。これはVSRADでは解析前に3Dデータを圧縮してからデータを軽くし、解析することに起因する差と考えた。

VSRADとBAADで診断が変わる症例があったが、これはVSRADは年齢補正や頭蓋内容積補正を行わずにglobal normalization (得られた灰白質の平均化)を行なっていることから、脳全体の萎縮が強い症例では海馬傍回の評価が過小になること、また解析前のデータ圧縮により嗅内野のような狭い領域の正確な検定が行えないからであると考えた。

おわりに

VSRADには「MRによる情報提供」や「データの蓄積」などのメリットがあるが、解析前に解析可能なデータかどうかの判別が出来ないデメリットもあった。

過小評価の症例では早期からの治療が行えなくなるリスクがあるため、VSRAD以外の解析ソフトでも評価を行うことが患者の予後に貢献できる可能性が示唆された。

BAADは、インプット&アウトプットなどの臨床での使い勝手がVSRADに比べ見劣りする事や4bitOS専用であることなどの問題点もあるが、脳全体の萎縮の評価を客観的に容易に行うことが出来たる解析ソフトであることがわかった



コンピュータの基本的な情報の表示

Windows Edition

Windows 7 Professional

Copyright © 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

Service Pack 1

Windows 7 の新しいエディションの追加機能の取得



システム

評価:	 Windows エクスペリエンス インデックス
プロセッサ:	Intel(R) Core(TM) i5-3470 CPU @ 3.20GHz 3.60 GHz
実装メモリ (RAM):	8.00 GB (7.89 GB 使用可能)
システムの種類:	64 ビットオペレーティング システム
ペンとタッチ:	このディスプレイでは、ペン入力とタッチ入力は利用できません



## 当院における脂肪抑制法 IDEAL の使用経験

公益社団法人 鹿児島共済会 南風病院

医療技術部 放射線技術科

山下友也 藤崎誠 中原武志 久保幸子 白石朋之

木村圭佑 上川智弘 高田橋司 伊原孝志

### [ はじめに ]

2010年6月に当院のGE1.5T MRI装置がSignaHDxtにバージョンアップした。これにより新しい撮影技術が導入され、多目的な検査が可能になった。

今回、脂肪抑制法 IDEAL について通常の脂肪抑制法との比較、および使用経験について発表する。

まず、IDEALとは3つの非対称的なTEで撮影し、フィールドマップを作成することにより、ピクセルごとに静磁場不均一を計算し画像を生成する。通常の脂肪抑制法（CHESS法など）と比べ、磁場が不均一となりやすい部位でも良好な脂肪抑制画像を撮影することができる。また IDEAL の撮影では、IDEAL Water（脂肪抑制画像）、IDEAL Fat（脂肪画像）、IDEAL In Phase（通常のT1強調画像）、IDEAL Out of Phaseの4つの画像を同時に取得できる。

### [ 通常の脂肪抑制と IDEAL の比較 ]

通常の脂肪抑制と IDEAL の画像がどのように違うか比較した。

#### (1) ファントム撮影による比較

ファントムを用いてブラーリングの影響を、バンド幅、ETL（エコートレイン数）を変更して撮影し比較を行った。Fig.1(a)は

通常の脂肪抑制 T2 強調画像、(b)は同条件

での IDEAL の T2 強調画像である。同条件では IDEAL の方が画像の辺縁がボケておりブラーリングの影響が出ているのが分かる。(c)は(b)の撮影条件でバンド幅を広げ、ETL を小さくした画像である。(b)と比較するとブラーリングの影響は小さくなったが、SN の悪い画像となった。これらにより、当院では IDEAL を使用するときは、なるべく少ないエコートレイン数、および、SN に注意してバンド幅を広く設定して撮影を行っている。

(撮影条件)



(a)通常の脂肪抑制 T2WI  
BW19.2kHz  
ETL20



(b)IDEAL T2WI  
BW19.2kHz  
ETL20

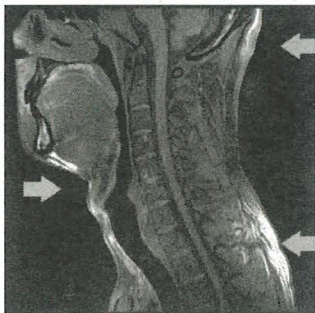


(c) IDEAL T2WI  
BW62.5kHz  
ETL10

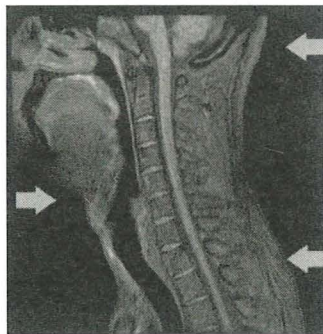
(Fig.1)ブラーリングの比較

(2) ボランティア撮影による比較

実際にボランティア撮影をして通常の脂肪抑制と IDEAL の比較を行った。Fig.2 は通常の脂肪抑制画像、Fig.3 は IDEAL の画像である。矢印のように脂肪抑制のムラが生じやすい頸部の前方や後方で、IDEAL の方が脂肪抑制のきいたムラのない画像になっている。磁場の不均一がおこりやすい部位において IDEAL は有用である。



(Fig.2)通常の脂肪抑制 T1WI

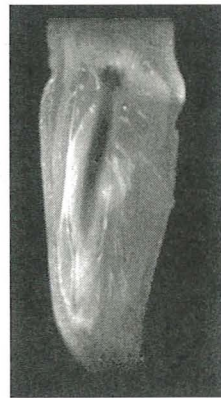


(Fig.3)IDEAL T1WI

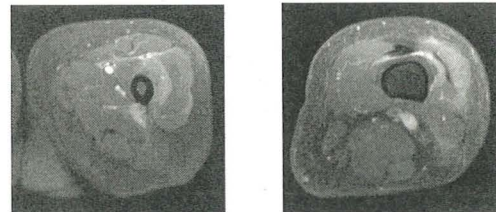
[ 臨床画像 ]

(大腿部炎症)

Fig.4 は造影後の IDEAL T1 強調の SAG 画像、Fig.5 は造影後の IDEAL T1 強調の上部と下部の AX 画像である。このように撮影範囲が広い部位でも全体にムラのない画像が得られることにより、造影効果ははっきり分かる画像が得られた。



(Fig.4)造影後 IDEAL T1WI SAG



大腿上部

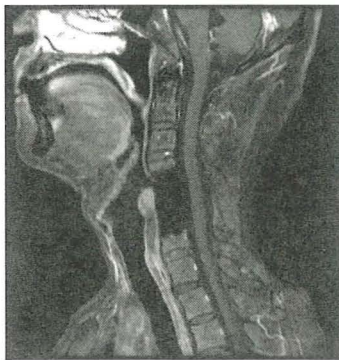
大腿下部

(Fig.5) 造影後 IDEAL T1WI AX

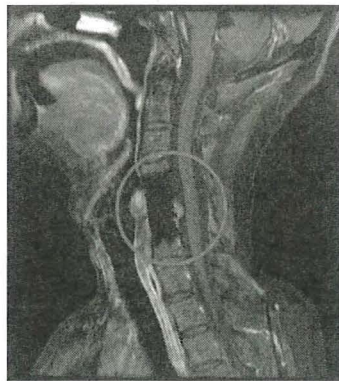
(頸椎腫瘍固定術後)

Fig.6 は頸椎腫瘍固定術後の画像である。体内金属のある患者の撮像は推奨されていないが、どうしても撮像しなくてはならない場合がある。頸椎に金属があったが、造影後 IDEAL T1 強調 SAG 画像で、金属アーチファクトの少ない画像で、なおかつ

脂肪抑制の均一な画像が得られた。また、同一患者でのフォローアップの造影後 IDEAL T1 強調 SAG 画像が Fig.7 である。画像の印の部分に頸椎腫瘍の再発を認めた。IDEAL を使い金属のアーチファクトの影響を抑え、均一な脂肪抑制画像が撮影できたことにより再発を見つけた症例であった。



(Fig.6) 造影後 IDEAL T1WI SAG



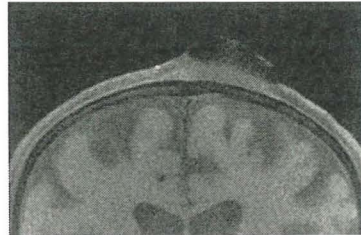
(Fig.7) 造影後 IDEAL T1WI SAG (再発)

(頭頂部腫瘍)

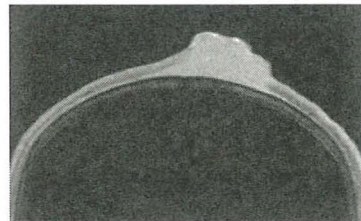
頭頂部腫瘍の症例を提示する。頭頂部腫瘍を通常の脂肪抑制 T1 強調で撮影したところ Fig.8 の画像のように腫瘍部分でムラが生じた。次に、IDEAL T1 強調で撮影したところ Fig.9 の画像のように脳実質の信号がない画像になった。そこで腫瘍部分にシムボリュームを設定し、中心周波数を確

認し撮影したことにより、Fig.10 のように脳実質の信号がある画像を得ることが出来た。

このように IDEAL を用いて撮影をした場合でも、部位によっては撮影条件に気をつけて設定する必要がある。



(Fig.8) T1WI COR (通常の脂肪抑制)



(Fig.9) T1WI COR IDEAL (失敗例)



(Fig.10) T1WI COR IDEAL (成功例)

[ まとめ ]

IDEAL は磁場の不均一な部位でも良好な脂肪抑制画像を得ることができた。ただし、IDEAL を使用するときは、撮影時間の延長や、ブラーリング、体動による影響を受けやすいという点も考慮して撮影する必要がある。

平成25年度 第1回(公社)鹿児島県診療放射線技師会理事会 議事録

期日：平成25年4月6日(土) 14時～17時

場所：鹿児島大学病院3階カンファレンスルーム

参加者 理事：池田 睦 新村栄次 藤崎拓郎 石本裕二 中島祐二 平田 勝  
藤坂智史 平賀真雄 島児末治 野中康博

監事：鮫嶋宗俊

傍聴者：隈元満広(坂下地域理事代理) 村野和久(岡野地域理事代理)

議事録署名人：池田 睦 鮫嶋宗俊

会長挨拶

池田 睦：ただいまより理事会を開催します。定款により前支部長を含めた16名で理事会を行います。

理事8名以上で成立です。本理事会は監事1名と12名の理事(代理2名含む)出席があったので成立します。

はじめに委嘱状、依頼状を配布します。職場では兼業願いが必要な場合は施設長宛を使用してください。

\*議題に入る前に会長より定款(配布資料)の説明が行われた。

14条の説明

池田 睦：池田を会長とし10名の理事を常務理事、6名の支部長を地域理事として公益法人の申請をおこないました。

あと4名理事を増やすことができるので、6月総会時に選挙を行います。

中原前大島支部長が異動になったので、大島地域理事の選挙も同時に行う。

現在副会長は1名なので全員揃ったところでもう1人の副会長を指名したい。

17条の説明

池田 睦：7項より理事会(監事 代表理事、常務理事、地域理事)を3箇月に1回行う。

常務理事会(監事 代表理事 常務理事)を2カ月に1回行う。常務理事会で議決して理事会で承認をする。

24条の説明

池田 睦：社団法人の時は予算総会を3月決算総会を6月に開いていたが、今後は定款に沿って総会は年1回6月行う。

ただし、今回は移行の年度なので4月に予算総会を行い6月に決算総会を行う。

日本診療放射線技師会も年1回、6月に決算と予算を同時に行っている。

どうしても2回行わないといけないときは臨時総会を行うことができる。

島児末治：4月にできないのか？

池田 睦：決算が4月はできないので6月になる。4月と5月は総会で了解していただく。

28条、30条の説明

池田 睦：日本診療放射線技師会と鹿児島県診療放射線技師会の会費の同時徴収が始まったので、鹿児島県診療放射線技師会の会員数が増えたため、過半数も多くなりました。総会の出席と委任状の数を増やすように理事の方はお願いします。

34条の説明

池田 睦：常務理事会を開き議決した内容を理事会で承認を求めなければならない。今後とも地域理事の方も出席をお願いします。

37条の説明

池田 睦：常務理事会、理事会ともに過半数の出席とその過半数の同意をもって決する。意見はありませんか？

平賀真雄：20名の理事に対して現在16名で4名足りない理事についてはどうなるのですか？

池田 睦：4名は常務理事でもない地域理事でもない常務理事を補佐する理事になる。

○議題

1. 公益社団法人後の技師会の運営について（理事会、地域研修会、事務所事務処理等）  
（公益社団法人定款に基づき開催予定）

1) 理事会（常務理事会、理事会）

①頻度

池田 睦：常務理事会は2箇月に1回 理事会は3箇月に1回開催する。

②開催場所

池田 睦：常務理事会は坂元事務所 理事会は広さなどを考慮して大学などで行う。希望があれば教えてください。

③開催方法（WEB会議も考慮するか？）

池田 睦：大島、大隅地域理事が毎回参加するのは難しいだろうとのことで検討している。WEB会議についてはまだ環境が整っていないし、継続事項とする。

2) 地域研修会の運営方法

池田 睦：支部の名称は使えない

島見末治：今までの支部の活動、支部理事はどうなるのか？

池田 睦：今までと同じ形で地域理事にお任せする形になる。正式には支部理事とは明記できない、世話人という形になる。

島見末治：正式な名称もなく知り合いみたいな形でお願いするのですか。

鮫嶋宗俊：新しく内規をつくって行くとよいでしょう。

池田 睦：内規をつくって名称は変えても今までの支部理事さんと活動を行う。

これまで活動してきたことを残したほうが、今後も活動しやすいでしょう。

島見末治：助成金というのはないということだが、経費はどうなるのか？

池田 睦：通常地域の集まりであった時の必要経費であれば認められる。

島見末治：講師を呼んだりしたときどうするのか？

池田 睦：講師を呼ぶときは前もって申請してください 別紙に謝礼などは資料があります。

中島祐二：講師の謝礼も肩代わりしてもらおうのも大変でしょうから事前に送付することもできます。

研修会は常務理事が参加しますのでお願いしてもよい。

今までのように預けておいて払っていただくことは公益法人になって税金の問題もありますので、財務担当理事から払わせてください。

野中康博：非会員から500円とっていたがどうするのか？

中島祐二：研修会の収入として予算に入れてあるし、会員のとの差をつけるためにとったほうがいい、公益法人から領収書は出せる。常務理事に預けてもいいです。

池田 睦：地域の運営が窮屈になる可能性もあるが、公益法人になりましたので会計処理はうまくやらないといけません。

監査も事業も理事会も厳しい監査が待っています。会計も厳しくやっていかないといけません。

島児末治：地方の方が研修会に参加しにくくならないようにしてください。

### 3) 事務所事務処理等（当番制）

池田 睦：公益法人として事務員がいないのは問題があるとのことで、事務員がいない代わりに理事が対応するというので、理事も勤務があるので週2回勤務時間外に理事が交代で当番を行うことでFAXや問い合わせの処理をすることで申請している。

藤坂智史：当番表の例（別紙：総務）を示します。週の前半と後半で1人ずつ常務理事と新たに加わる4人の理事と鹿児島地域理事が交代で当番を行う予定です。

#### ①ホームページ上での問合せへの対応

池田 睦：メールアドレスを公開します。

#### ②ファックスへの対応方法

池田 睦：当番理事が受け取る。

#### ③転送電話を考えるか

池田 睦：転送電話は今のところ行わない どうしても無理な場合は考える。

### 4) 理事人数の増加（定款では理事人数20名まで可能）

池田 睦：定款に沿って4名増加します。

### 5) 総会の開催時期（公益法人定款では年1回）

池田 睦：定款に沿って年1回とします。

何か質問はありませんか？

質問なし

池田 睦：議決をとります。議題1.公益社団法人後の技師会の運営についてについて了承いただける方は挙手をお願いします。

池田 睦：全員一致で了承されました。

## 2. 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会平成25年度予算総会 準備 （新定款に基づく最初の総会）

### 1) 日時：4月21日（日）

藤坂智史：総会スケジュール（別紙：総務）をご覧ください。総会と学術大会を10時から

13時まで行います。

大学の人は19日(金)に準備を手伝ってもらいます。21日は9時に来て準備しましょう。

2) 場所：鹿児島大学医学部インテリジェントホール

藤坂智史：会場の関係で常務理事と地域理事の席を別紙のとおり配置することとします。

3) 25年度事業計画案（別紙：総務）

池田 睦：社団法人のころから公益性の高い事業をしていたので大きくは変わっていないが、支部を地域と改め地域研修会を実施する。支部長会議がなくなり理事会となる。

鹿児島乳腺画像研究会が加わる。新たな研究会として超音波を考えている。

平賀真雄：臨床検査技師さんなどと連携して会員以外も参加できるような会をつくってほしい

池田 睦：県の技師会でもバックアップしていきたい 検討は今から

平賀真雄：熊本も大分も研究会があって検査技師さんも来ており幅広くやっている。

池田 睦：会員外も参加できるようにやれたらよい。

鮫嶋宗俊：いい話で、こちらからもいけるようにできたらよいです。

池田 睦：ではもう少し検討してから立ち上げていきたいと思います。

25年にできるかは分からないが継続事項ということで進めていく

池田 睦：管理士部会も活動、研修会を開催してほしい

放射線管理を藤崎さん 機器管理を西元さん 画像管理を島児さんに部会長をお願いしている。

池田 睦：女性の会 会員の掘り起こしをしていきたいが、あまり勧誘しないで、会を続けていくことで将来的に会員になってくれることを期待したい。

第2回も松之下さんをお願いしている。25年度の事業として行う。

池田 睦：ホームページの活動促進 現在掲示板みたいになっているので、見直す。アドレスも公開し、技師会の問い合わせ先とする。

池田 睦：公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会規程集を定款を含めて発行する。

その他、いろいろな委員会も見直しをしないといけないと考えている。他に何かないでしょうか？

鮫嶋宗俊：秋季学術大会の開催を隔年ごとになっているのを毎年、特別企画に祝賀会をくわえる。

藤崎拓郎：フレッシューズセミナーの開催の内容の文言を変えてください

中島祐二：その他の事業に福利厚生事業がある。

池田：福利厚生事業は載せられないので、その他の事業から削除します。

他、細かな修正は常務理事に任せてくださいおねがいします。

4) 予算案（別紙：財務）

中島祐二：仮の25年度の予算案です。

公益社団法人化にあわせて別紙のとおり予算設定をしてあります。今までと違いイベントごとの費用も会議費、消耗品などにばらしてある。

公益のためか法人のためか振り分ける必要がある。その中で公益のための予算が6割を超えないといけないのでいままでの予算と異なる。管理科目も変わった。

会費は70歳以上の会員を免除した人数で計算してある。  
九州放射線技師会費の500円はスルーするので予算に入れない  
公認会計士さんとの話で減価償却費の基準を変えている。  
今後も話し合いが必要

5) 議長

藤坂智史：正議長は鹿児島生協病院の隈元さん 副議長は鹿屋医療センターの白坂さんの推薦をもらっています。

6) 進行

藤坂智史：鹿児島医療センターの瀬筒さんをお願いしてあります。

議事録署名人は池田会長と新村副会長でお願いします。

池田 睦：何か質問はありませんか？

質問なし

池田 睦：議決をとります、2. 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会平成25年度予算総会 準備について了承いただける方は挙手をお願いします。

池田 睦：全員一致で了承されました。

3. 学術大会研究発表会

1) 日時：4月21日(日)

2) 場所：鹿児島大学医学部インテリジェントホール

3) 演題数

藤崎拓郎：9題申込があります。演題の締切がもうすぐです。

4) セッション振り分け

藤崎拓郎：時間の都合上2セッションに分ける。

5) 座長

藤崎拓郎：2名、学術理事に一任してください

6) 進行

藤崎拓郎：学術理事で行います。以上です。

池田 睦：何か質問はありませんか？

質問なし

池田 睦：議決をとります、3. 学術大会研究発表会について了承いただける方は挙手をお願いします。

池田 睦：全員一致で了承されました。

4. 社団法人鹿児島県放射線技師会平成24年度決算総会

1) 日程：6月22日(土)

2) 場所：パレスイン鹿児島

3) 収支決算書

池田 睦：作成しておりません。

4) 議長

藤坂智史：未定です。

5) 進行

藤坂智史：未定です。

6) 講演会

池田 睦：総会の後に講演会をしないといけないが、現在のところ未定です。

池田に一任してください 何か質問はありませんか？

質問なし

池田 睦：議決をとります、4. 社団法人鹿児島県放射線技師会平成24年度決算総会について了承いただける方は挙手をお願いします。

池田 睦：全員一致で了承されました。

5. 公益社団法人設立祝賀会

1) 日程：6月22日（土）

2) 場所：パレスイン

3) 記念講演会

池田 睦：中澤会長の講演を依頼したが、6月22日は都合がつかないとのことで、九州理事の大分の村上理事に講演をお願いした。

池田 睦：記念公演として鮫嶋監事に鹿児島県放射線技師会の歴史などをお願いしたい  
鮫嶋宗俊：了解しました。

4) 祝賀会

池田 睦：村上理事にもスピーチをお願いする。

池田 睦：鹿児島県知事、鹿児島市長、他別紙のとおり出席のお願いをしたい

鮫嶋宗俊：薬剤師会、歯科医師会もお願いしてはどうか

池田 睦：出席のお願いをします。何か質問はありませんか？

質問なし

池田 睦：議決をとります、5. 公益社団法人設立祝賀会について了承いただける方は挙手をお願いします。

池田 睦：全員一致で了承されました。

6. 委嘱状について

1) 理事、監事、部会長、各委員会役員、各研究会世話人代表（別紙：総務）

藤坂智史：委嘱状を作成し送付します。

2) 各委員会役員の見直し、選出（別紙：総務）

池田 睦：消化管研究会の世話人は誰でしょうか？

平賀真雄：南風病院のフチワキ タカシさんです。

池田 睦：藤崎理事は部会長と世話人代表も兼ねているが、大丈夫か？

藤崎拓郎：大丈夫です。

3) その他（大島地域は交代？）

池田 睦：中原理事は移動になりましたので、大島地域理事の選挙を行います。質問はありませんか？

質問なし

池田 睦：議決をとります、6. 委嘱状について了承いただける方は挙手をお願いします。

池田 睦：全員一致で了承されました。

## 7. 平成26年度よりの総会について

### 1) 公益社団法人定款では年1回の開催

まとめて4月に行くか？

池田 睦：4月は決算が間に合わないのので6月に行います。質問はありませんか？

質問なし

池田 睦：議決をとります、7. 平成26年度よりの総会について了承いただける方は挙手をお願いします。

池田 睦：全員一致で了承されました。

## 8. リレー・フォー・ライフ・ジャパンかごしま参加

### 1) 日程：5月11日（土）、12日（日）

### 2) ウォーターフロントパーク（ドルフィンポート前広場）（別紙：総務）

### 3) 放射線技師会のブース設定（骨密度測定、パネル展示を行う）

池田 睦：癌患者、家族のためのイベントで去年は行事と重なり参加できませんでした。

今年は協力すると伝えてあります。11日だけでよいでしょう。

藤崎拓郎：パネルは癌治療に関するパネルにします 質問はありませんか？

質問なし

池田 睦：議決をとります、議題8について参加ということで了承いただける方は挙手をお願いします。

池田 睦：全員一致で了承されました。

## 9. 名刺の作成の説明

藤坂智史：公益社団法人化で名称が変わったため、名刺を作成します。

希望の方はメールでいただいていますので、近日中に注文します。

## 10. 公益社団法人各種規定の整備（別紙：総務）

### ○報告事項

#### 1. 公益社団法人登記終了（池田報告）

池田 睦：別紙（別紙：総務）のとおり、3月19日付で県知事より

公益社団法人の認定を受けています。

法務局に登記の申請書類を預けてあり、登記完了の連絡を待つのみです。

#### 2. レントゲン週間報告（池田報告）

池田 睦：実施した内容、講演の内容などは良かったのだが、一般市民の参加が少なく、事前の宣伝が足りなかったとみています。

25年度は広告、宣伝の見直しが必要かと思われます。

#### 3. 女性技師の集い報告（新村報告）

新村栄次：37名の参加（学生4名、理事6名、講師3名）懇親会17名

池山メディカルジャパンさんの人工乳房を作る講義とニップルを作った。

原田学園の学生の動向、各施設の報告があった。

見たことない女性技師さんが多数いらっしやった。女性の視点での内容ということで今後も継続していく懇親会7名の参加

## 4. 夜間急病センター研修会報告（平田報告）

新村栄次：耳鼻科領域の一般撮影の講習会ということで、急患として撮ることは少ない、CTを撮るかもしれないが、耳鼻科の先生が一般撮影の何を見ているか興味深い内容であった。

池田 睦：市からの援助もある。今、講習会2回やっていますが、3回やってもいいです。

平田 勝：リーダー研修会と兼ねて、3回やっています。

## \* 組織図（別紙：総務）について

池田 睦：地域理事は今までの支部長の名前でいいですか。大島は変わります県立大島の田端さんに地域理事になってもらうよう話をします。

業務執行理事ですが、総務担当を藤坂、財務担当を中島、学術担当を藤崎、石本、組織担当を佐藤 編集・広報担当を平田、福利厚生担当を原口、表彰担当を大久保でお願いします。

副会長を新村ともう一人、もう一人の副会長は島児さん引き受けませんか？

島児末治：引き受けていいですよ。

池田 睦：定款に沿っているか検討してまた任命します。

## ○その他

## 1. 九州地域放射線技師会会長職の受諾

池田 睦：役員会で引き受けました。任期は1年です。

宮崎から引き継ぎの連絡待ちです。年1回九州地域の研修会が熊本か福岡であります。九州地域の教育委員が動いてくれる。我々はお手伝いをする。

学術大会などがあります。これも各技師会がしますのでお手伝いをする。

折角池田が会長をしているし、九州新幹線も開通しているので、鹿児島での研修会開催も可能と考えられます。

## \* 故障・事故例調査の協力について（別紙：会長）

池田 睦：JART から依頼が来てます。

実態調査に協力頂く施設として、理事の施設を挙げておきますのでよろしく願います。

4月15日までに返事をします。他に協力して頂ける施設がありましたら、15日までに池田にメールをください

## \* 次回理事会

池田 睦：次回の理事会は6月22日の総会時に行う。その前に常務理事会を行い6月22日に了承を得ることとする。

## \* ニュースについて

藤坂智史：6月22日の総会の委任状、祝賀会の参加を募りたいので、5月初めには葉書を会員に発送したい、ニュースと一緒に発送したい。5月末には出欠をもらいたい。

池田 睦：5月の連休明け7日を締め切りとしてニュースを作成しましょう。

湯ノ口さんの本のことを載せたい

その他載せたいことがありましたら、平田理事までお願いします。

## \* カウント申請について（別紙：学術）

藤崎拓郎：必ず事前連絡してください、ホームページに載せただけでは認めません。

内容をメールで連絡がないとカウント申請できません。

学術と社会奉仕活動のカウントがありますので、送ってください

\*12月1日の講習会について

藤崎拓郎：基礎技術講習、昨年度はMR、今年度は一般撮影で講師を検討中です。

講師がなかなか見つからないので理事の皆様にも協力をお願いします。

\*4月27日MR研究会

藤崎拓郎：よろしくお願いします。

\*6月2日のフレッシューズセミナー（別紙：学術）について

藤崎拓郎：新人のみでなくベテランも参加するようにしてください。

JARTもベテランもカウントに認めた。

\*現在の支部の残っている資金について

池田 睦：返してもらっていいのか？

藤崎拓郎：会計上問題なければ返さなくてもいいのでは？

中島祐二：返してください。

○閉会

池田 睦：以上で第1回理事会の行程を終了しました。これで理事会を閉会します。

次回の理事会は6月22日の12時ごろ集まってもらって行いたいと思います。

本日はお疲れ様でした。

## 平成25年度 第2回(公社)鹿児島県診療放射線技師会理事会 議事録

期日：平成25年6月22日(土) 13時～14時半

場所：鹿児島大学医学部保健学科インテリジェント講義室

出席者 理事：池田 睦 新村栄次 大久保光男 藤崎拓郎 石本裕二 中島祐二 原口 誠  
平田 勝 佐藤洋一 藤坂智史 坂下周一郎 岡野三男 平賀真雄 島児末治  
中原隆重 野中康博

監事：鮫嶋宗俊

議事録署名人：池田 睦 鮫嶋宗俊

### 会長挨拶

池田 睦：只今より第2回理事会を開催します。本理事会は監事1名と16名の理事出席があります。過半数の理事が出席しておりますので本理事会は成立します。

池田 睦：本理事会は公益法人となり新しい定款に沿って行いますのでよろしくお願いいたします。理事の方は定款まで目を通しておいってください。6月5日に常務理事会が有りましたので、そこで決まったことを理事会で承認していただきたいと思います。まず定款の説明をします。資料をご覧ください。

本理事会、総会も公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会定款に沿って行います。

\*議題に入る前に会長より定款(配布資料)の説明が行われた。

### 第6章 理事会(権限)

第33条 理事会は次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定。
- (2) 理事の職務の執行の監督。
- (3) 会長、副会長、常務理事及び地域理事の選定及び解職。
- (4) 総会の日時及び場所並びに目的である事項の決定。

(常務理事会)

第34条 この法人に常務理事会を置く。

- 2 常務理事会は会長、副会長及び常務理事をもって構成する。
- 3 常務理事会は次の事項を審議する。
  - (1) 理事会から委任された事項及び緊急に処理すべき事項に関する事。
  - (2) 理事会において討議すべき事項に関する事。
- 4 常務理事会において議決した事項は、理事会に報告し、その承認を求めなければならない。

池田 睦：6月5日に常務理事会を行いましたのでその事項を今回の理事会で承認して貰います。

第37条 理事会及び常務理事会の決議は、決議について特別な利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数の同意をもって決する。

池田 睦：半数以上出席していますので今理事会は成立します。議決は理事の過半数の出席、承認が必要になります。

## (会員の資格の取得)

第7条 この法人に入会しようとする者は、所定の入会申込書を会長に提出し、理事会の承認を受けなければならない。

池田 睦：新規入会者がいた場合は理事会での承認が必要です。常務理事会では承認しましたので、再度理事会での承認となります。新しい会員の方が6名いますので理事会での承認をお願いします。

## (理事の職務及び権限)

第17条 会長は、この法人を代表し、会務を総括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、この法人の業務を執行する。
- 3 理事は、理事会を構成し、会務の執行を決定する。
- 4 常務理事は理事会において別に定めるところにより、業務を分担執行する。
- 5 地域理事は各地域を掌握する。
- 6 会長、副会長、常務理事及び地域理事以外の理事は常務理事を補佐する。
- 7 会長、副会長及び常務理事は3箇月に1回以上自己の職務の執行状況を理事会に報告しなければならない。

池田 睦：定款には3ヶ月に一回以上、会長、副会長、常務理事の職務執行状況を理事会に報告するようになっております。理事会での発言が報告事項となりますので、副会長、常務理事の職務執行状況の報告を各自よろしくお願いします。この定款が有効になりました4月からの職務執行状況でよろしいです。まだ3ヶ月も経っていませんので内容は少ないと思います。口頭でお願いします。

## (議事録)

第38条 理事会及び常務理事会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成しなければならない。

- 2 議事録には出席した会長及び監事が記名押印をしなければならない。

池田 睦：理事会、常務理事会にも議事録が必要です。議事録署名人は会長と監事です。

## 第5章 総会（権限）

第23条 総会は次の事項について決議する。

- (1) 会員の除名
- (2) 理事及び監事の選任又は解任
- (3) 外部監事の報酬等の額
- (4) 事業計画及び収支予算の決定
- (5) 事業報告、貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）並びにこれらの附属明細書の承認
- (6) 定款の変更
- (7) 解散及び残余財産の処分
- (8) その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

池田 睦：今回は(5)、(8)を総会で審議します。次年度からは(4)、(5)を6月の総会で1度に審議します。

## (定足数)

第28条 総会においては総正会員の過半数の出席がなければ開会することができない。

池田 睦：現在の会員数はどのくらいですか？

藤坂智史：476名です。

池田 睦：それでは、238名以上の出席（委任状不含む）が必要となります。出席のハガキが74名でしたので、委任状の回収が必要となります。会員数が多いほど委任状の回収は大変になりますので、各理事は自施設や近隣の施設への周知をよろしく願います。

池田 睦：今回追加理事の選挙がございます。地域理事も含めて定数が20人です。地域理事の交代も有りました。大島支部の中原さんから田畑さんへの交代がありましたので、交代に伴う選挙を行います。定款で理事が16名から20名に増えましたので、あと4人の追加選挙を行います。立候補者は3名ありました。選挙管理委員長は市立病院の永田さんで選挙の管理を行ってもらっています。定員4名に対して3名の立候補があり定員に達していないという事で無投票当選となっています。内容は大園選挙管理委員のほうから説明があります。選挙で当選された理事の承認は総会でを行います。

## (決議)

第29条 総会の決議は、総正会員の議決権の過半数を有する会員が出席し、出席した正会員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。この場合において、議長は正会員として議決に加わる権利を有さない。

池田 睦：総会の成立は会員の過半数の出席（委任状も含む）です。会費の同時徴収により登録上の県の会員数が増えました。過半数の出席者（委任状含む）を集めるのは以前よりも大変になりました。理事のご協力を今まで以上にお願します。

- 3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第14条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

池田 睦：理事の選任は候補者ごとに行わなければなりません。今回は4人の候補者がいますので4回の議決が必要になります。

## (議事録)

第31条 総会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成しなければならない。

- 2 議事録には、議長及び出席した理事が記名押印しなければならない。

池田 睦：総会の議事録には議長、出席した理事の記名押印が必要です。従いまして今回、認印のご持参をお願いしたところです。今回の総会は平成24年度の決算総会ですので地域理事は該当しませんが、公益社団法人の総会ですので定款に沿えば地域理事も今回も該当します。

池田 睦：以上で定款の説明を終わりますが何か質問はありますか？

質問なし

池田 睦：無いようなので、今日の議題に入ります。

## 議題

### 1. 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会平成24年度決算総会

池田 睦：事業報告について、事前に資料を配布していましたが何か質問はないですか？

質問なし

池田 睦：決算書は先週の日曜日に監査を受けました。総会資料の中に掲示してあります。中島理事説明をお願いします。

中島祐二：総会資料をご覧ください。(内容の読み上げ)

予備費支出としては、今回各地域支部にPCと外付ハードディスク、技師会にプロジェクターを購入し持ちまわしで使用予定です。詳しくは総会で行います。

池田 睦：公益法人に移行後は、現金ベースが事務所移転の積立金となりますので、公益法人前に必要な備品を購入したため資産の合計が目減りをした。総会の進行は？

藤坂智史：議長は鹿屋医療センターの白坂さん。副議長は鹿児島厚生連病院の梶さんになります。

司会進行は鹿児島市立病院の今田さんとなります。

池田 睦：以上が公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会平成24年度決算総会の議題でしたが、全体を通して何か質問はありますか？

平賀真雄：事業報告について、MRIの研修会の参加者数は41名ですが、県内参加者の割合はどれくらいですか？

藤崎拓郎：半数が県外からの参加者です。

池田 睦：JARTの委託事業の為、全国から集まってきます。西日本からの参加が多いです。JARTへは報告していますか？

藤崎拓郎：しています。

池田 睦：県内への報告は？

藤崎拓郎：会報かニュース、で案内をしていると思いますが、確認します。

藤坂智史：会報117号で報告されています。

平賀真雄：JARTからの委託事業であるが、他の研修会などは参加者が少ない。講師費等かなりの費用が掛かっているが、研修会を再考する必要があるのではないか？この予算を地方の研修会にあてた方が効果的なのではないか？

藤崎拓郎：現在20名以上の参加者がないと開催されないことになっている。趣旨が会員への還元になっている。

池田 睦：JARTも公益法人になり公益性の高い事業をおこなう上で、地方への委託事業となっている。

池田 睦：他に質問がないようです

池田 睦：議決をとります。議題1. 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会平成24年度決算総会について了承いただける方は挙手をお願いします。

池田 睦：全員一致で了承されました。

## 2. 特別講演会

### 1) 「鹿児島県の地震・津波対策」

鹿児島県危機管理防災課 防災企画班 出口秀昭

### 2) 座長 池田 睦

池田 睦：今回は鹿児島県の機器管理防災課にお願いしてあります。鹿児島県の地震津波対策について依頼してあります。本日は鹿児島県危機管理防災課 防災企画班 出口秀昭さんに講演をしていただきます。アニメーション等を使用しているのでわかりやすい内容となっています。薩摩川内への影響について大変興味深い内容となっています。

池田 睦：何か質問等ありますか？

質問無し

池田 睦：議決をとります。議題2. 特別講演会について了承いただける方は挙手をお願いします。

池田 睦：全員一致で了承されました。

## 3. 理事追加選挙について（別紙資料）

### 1) 立候補者

### 2) 大島地域理事の交代

池田 睦：選挙管理委員の大菌さんより発表してもらいます。立候補者は、鹿児島市医師会病院の斉藤さん、市立病院の瀬戸さん、南風病院の藤崎さんの3名が立候補しました。また、大島地域理事が中原さんから田畑さんへ移行しましたので選挙を行っています。選挙管理委員よりその報告があると思います。新しく理事になられる方は総会で一言挨拶してもらいます。前大島理事の中原さんには会報で原稿をお願いする予定です。

池田 睦：何か質問等ありますか？

質問無し

池田 睦：議決をとります。議題3. 理事追加選挙について了承いただける方は挙手をお願いします。

池田 睦：全員一致で了承されました。

## 4. 地域運営規程について

### 1) 各地域理事からの意見

池田 睦：現在諸規定を作成中であるが、各地域の意見を集約しています。（別紙参照）

池田 睦：各地域の世話人に関しては、人選人数等各地域にお任せします。各地域理事何かありませんか？島児理事何かありませんか？

島児末治：ありません。

池田 睦：副地域理事に関しても、副地域理事を代行で理事会に出席しても定款ではオブザーバーとなる。各地域の運営上置くのは構わない。平賀理事何かありませんか？

平賀真雄：特に置く必要はないと思われる。

島児末治：副地域理事を置かないのであれば、地域理事と常務理事との担当制はどうか？

池田 睦：定款に副地域理事を載せるか？載せないかについて？地域で必要であるならば置くのは構わないが定款に載せるかどうかについてどう思いますか？

岡野三男：特に置く必要はないと思われる。

野中康博：定款に沿って、特に置く必要はないと思われる。

池田 睦：それでは副地域理事は定款には載せないようにします。

池田 睦：議決をとります。副地域理事は定款には載せない件について了承いただける方は挙手をお願いします。

池田 睦：全員一致で了承されました。

池田 睦：地域総会に関して、地域総会の名称、開催有無は地域理事に一任し、地域規定には記載しない方向で検討しているがどうですか？

島兒末治：県の方で決めなければ統一性がないのではないかと？

池田 睦：中島理事、地域で開催されたものの結果はどのような形で報告がありますか？予算について？

中島祐二：予算のみの請求になります。

池田 睦：各地域での研修会は〇〇地域研修会でいいと思うが、世話人会の場合は名称は統一しなくてもいいのか？中島理事どうですか？

中島祐二：監査の時に説明しやすいので統一していた方がいい。

池田 睦：会計報告の時、名称が統一された方が良いので、地域連絡会という名称でいいですか？

#### 各地域理事承認

藤崎拓郎：勉強会・講習会等は JART のポイントが付きますので申請を行ってください。

坂下周一郎：各地域世話人への委嘱状や領収書の形式も統一してほしい。委嘱状は各世話人が自施設への施設長への報告の為に必要ではないか。

池田 睦：必要性を感じますが、委嘱状を出せるか県などに相談し検討します。

池田 睦：また地域事務所に関しては必要ないと思われます。またスポーツ交流等は公共性がなく、定款では認められませんのでご理解をお願いします。公的事業としては、県民の福祉の向上、会員の資質の向上、放射線管理や啓発を計上しています。福利厚生としては叙勲表彰等を上げているが、回数が少ないため県から認められていません。

池田 睦：何か質問等ありますか？

島兒末治：地域の年間計画書の書式等は？

池田 睦：書式はありません。地域事業に関しては、開催前に内容等を理事会に諮ってください。

池田 睦：理事会は3ヶ月に1回行われるので、それに間に合うようにして下さい。日程等がかぶった場合は理事会で調整をしますので、理事会で承認されてから本格的に活動すればいいのではないかと。

池田 睦：総務で書式等を検討し、地域の研修会等は来年度から理事会で諮っていくようにします。

平賀真雄：学術担当に連絡すればいいですか？

池田 睦：そうですね。

坂下周一郎：交通費・研修会等の領収書の書式は統一しますか？

中島祐二：名称と参加氏名とサインがあれば、エクセルで簡単に作ってもらっても構いません。交通費は公共交通機関の金額の範囲でお願いします。

石本裕二：領収書を発行するのは県ですよね？

池田 睦：はい

中島祐二：地域研修会の交通費等は地域で立替えていただき、予め分かっている講師費等は常務理事が持っていく。

池田 睦：地域規定に関しては、改めて地域理事の方の意見をいただきますので、今回はこれでよろしいでしょうか？

池田 睦：何か質問はありますか？

質問無し

池田 睦：議決をとります。4. 地域運営規程について了承いただける方は挙手をお願いします。

池田 睦：全員一致で了承されました。

## 5. 超音波研究会設立要望書

### 1) 設立要望書

池田 睦：平成25年度の事業計画に上げていましたので、平賀さん説明をお願いします。

平賀真雄：開催は年4回を予定しています。10回をワンクールとして行いたいと思います。それと鹿児島には鹿児島医学超音波研修会がありますのでそれとかぶらないようにします。検査技師の参加も見込めるため公益性もと持たれると思います。会費はどうしますか？会員・非会員の区別はつけるのか？金額はどうするのか？差をいくらかにするのか？

池田 睦：各研究会も含めて統一した方がいいでしょう。治療研究会はどうですか？

藤崎拓郎：治療は参加者が少ないので会員1000円非会員2000円、九州地域になると会員500円非会員3000円となっています。

平賀真雄：消化器研修会は25年度の予算として総額7万円位を予定しています。

中島祐二：研究会で集めたお金は県の財務に上がってくるが、多分足りないので県技師会からの助成金は必要になります。

池田 睦：会員0円非会員500円で統一しますか？

島児末治：検査技師への案内はどうしますか？

平賀真雄：研究会等を通じて広げていく予定です。

池田 睦：メーカーを通して、なるべくお金がかからないようにお願いします。

池田 睦：25年度の様子を見て、来年度以降の金額は考えていきましょう。

池田 睦：地域研修会と、各研究会はわけますか？

新村栄次：CT研究会は会費を取っていません。

島児末治：メーカーと共催でも問題はありますか？

池田 睦：問題はありません

池田 睦：地域研修会、各研究会とも統一します。 会員0円非会員500円とします。

中島祐二：今年度からですか？

池田 睦：今年度からです。

平賀真雄：会員とはJARTに入っていれば県外からの参加者でも問題はありますか？

池田 睦：ありません。

平賀真雄：8月3日に第1回目の研究会を市内で開催予定です。

池田 睦：何か質問はありますか？

質問無し

池田 睦：議決をとります。5. 超音波研究会設立要望書について了承いただける方は挙手をお願いします。

池田 睦：全員一致で了承されました。

#### 6. 新規入会者の承認

藤坂智史：配布資料のとおり6名の新入会者と、新たに1名の新入会者があり、鹿児島県診療放射線技師会への入会を承認しました。

何か質問はありますか？

質問無し

池田 睦：議決をとります。6. 新規入会者の承認について了承いただける方は挙手をお願いします。

池田 睦：全員一致で了承されました。

#### 7. 富吉 司氏叙勲祝賀会準備(7月6日)(別紙参照)

藤坂智史：配布資料の祝賀会マニュアルをご覧ください1)参加者51名 2)祝辞：鮫嶋宗俊 3)来賓挨拶：中條政敬 4)乾杯：梶 岩雄 5)万歳：村山光生

池田 睦：祝辞以外の方は了解がとれています。鮫嶋監事よろしいですか？

鮫嶋宗俊：了解しました。

藤坂智史：当日はリーダー研修会の後に叙勲祝賀会が予定されています。またマニュアルを理事の皆様に送ります。

鮫嶋監事：来賓祝辞を先にしてもらってからの方がよい。来賓挨拶ではなく来賓祝辞にしてください。

池田 睦：では、中條先生の来賓祝辞の後に、鮫嶋さんの祝辞をお願いします。

藤坂智史：了解しました。他に質問ありますか？

質問無し

池田 睦：議決をとります。7. 富吉 司氏叙勲祝賀会準備について了承いただける方は挙手をお願いします。

池田 睦：全員一致で了承されました。

#### その他

島尻末治：各地域の規約等は県に報告したほうがいいのか？

池田 睦：してください

#### ○報告事項

##### 1. 会長会議報告(別紙参照)

池田 睦：診療放射線技師法の第26条の改正を他4団体と要望書を厚生労働省に提出した。検診時に医師不足のため医師の同行が難しいことと、現状に当てはまらないため。県の検診業務にはさほど影響は出ていないが発端となった山口では厳しい状況が続いている模様。

石本裕二：山口では医師が同乗しているしせつもあるが、九州管内ではさほど影響は出ていない。

2. JART総会報告 (別紙参照)

池田 睦より報告がなされた。

3. 畦元省吾参議院選出馬後援について

1) 経緯の説明 2) 必要性 3) 有効獲得票数 4) 後援会よりの挨拶

池田 睦：総会後に大久保さんからと畦元さんの後援会の方が来て話をされます。

また、6月28日に福岡で第1回の九州地域放射線技師研修会を行います。

4. 日本放射線技師連盟入会について

池田 睦：鹿児島県では現在3名の連盟登録を行っていますが、多くの方の参加をお願いします。

5. 技師会事務所当番について

池田 睦：PCのアドレスを公開するか検討中である

原口 誠：文字ベースで、コメントを書き込める方式にした方がよい。書き込み方式なので公益性も保たれる。

6. 会長、副会長、各常務理事の職務執行状況報告

池田 睦：多忙なのはみなさん承知なので省略します。

新村栄次：女性の会の代表世話人

藤坂智史：理事会・総会の準備。ニュース・会報の原稿準備等

藤崎拓郎：フレッシュャーズセミナー開催・8月4日に抜針講習会の予定。12月1日にMRIの基礎講習予定

中島祐二：各会計業務・

原口 誠：ホームページの更新

石本裕二：フレッシュャーズセミナーでの講師

大久保光男：リレーホールムへの参加。事務所当番

平田 勝：7月の急病センター研修会の準備。会報の原稿依頼。

佐藤洋一：理事会・総会の議事録の作成

池田 睦：以上が常務理事の執行状況です。

○継続事項

1. 公益社団法人祝賀会

2. 副会長選出の件

池田 睦：継続事項は次会まで持ち越しにします。

○その他

1. 7月25日(木)中澤会長との会食について

出席者：池田 新村 鮫島

2. 平成25年度第1回九州地域放射線技師研修会

池田 睦：6月28日に福岡で行います。講演は2題です。

3. 第29回日本診療放射線技師学術大会（島根県）参加登録について

池田 睦：予定では2500名です。

その他

坂下 周一郎：鹿児島地域の研修会を10月26日で進めていいですか？

池田 睦：進めてください

平賀真雄：秋季の学術大会は、テーマを『読影補助』『鹿児島県の実態 今後の取り組み』とし、講師をJARTの加藤先生を呼ぶ予定 研究会の皆様の協力もよろしくお願いします。

新村栄次：レントゲン週間でマンモ研究会から共同でマンモ検診をさせてもらえないかと依頼がありました。

池田 睦：常務理事会で検討します。

野中康博：地域研修会を大隅地域が9月7日ですよね？ 南薩地域は9月27日に予定しています

岡野三男：北薩は11月9日に地域研修会を予定しています。

藤崎拓郎：PCを地域理事に配布しますのでよろしくお願いします。

池田 睦：以上で、第2回理事会を終わります。次回は3ヶ月後です。よろしくお願いします。

## 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 臨時総会議事録

- ・日時：平成25年4月21日（日）10:00～11:00
- ・会場：鹿児島大学医学部保健学科 講義棟6階 インテリジェンス講義室

### 総会次第

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 資格審査
4. 議長団選出
5. 議事録署名人選出
6. 議事

#### 議案第1号

平成25年度事業計画案に関する件

#### 議案第2号

平成25年度収支予算案に関する件

#### 議案第3号

その他

7. 議長団解任
8. その他
9. 閉会の辞

## 出席

理事	池田 睦	新村栄次	大久保光男	藤崎拓郎	石本裕二	中島祐二
	原口 誠	平田 勝	佐藤洋一	藤坂智史	坂下周一郎	平賀真雄
	島児末治	野中康博				
監事	西元広男	鮫嶋宗俊				
議長	隈元満広	白坂記男				

- ・正会員数 464名（平成25年4月21日 現在）
- ・出席会員数 55名 委任状数191名 合計246名

## 総会開始

### 1. 開会の辞

新村栄次副会長による臨時総会開会の辞が行われた。

### 2. 会長挨拶

池田 睦会長より挨拶が行われた。

### 3. 資格審査

藤坂智史理事より正会員数（平成25年4月21日現在）464名のうち出席55名、書面表決者191名、合計232名が出席し、過半数以上にあたるため本総会は成立したことを認める旨の報告が行われた。

### 4. 議長団選出

会場からの立候補はなく、執行部一任との発言により、正議長に鹿児島生協病院の隈元 満広氏、副議長に鹿屋医療センターの白坂 記男氏を推薦し、満場一致で選出した。

## 議長登壇

### 5. 議事録署名人選出

議事録署名人について、藤坂理事より議事録署名人について新定款の31条より議長及び出席した理事をもって議事録署名人とする説明が行われた。

### 6. 議事

#### 1) 議案第1号 平成25年度事業計画案

池田 睦会長より別冊配布した総会資料により説明が行われた。

#### 2) 議案第2号 平成25年度収支予算案

中島裕二財務理事より別冊配布した総会資料により説明が行われた。

正議長：議事議案第1号から議事議案第2号までの質疑を受けた。

質問者：厚生連病院 石山氏

石山：予算のところ、事業費について、諸借料の中身、諸謝金の内容を教えてください。

中島：諸借料は主に会場費、諸謝金についてはスタッフへの交通費や講師への謝礼金となっている。主な事業なので諸謝金が膨らんでしまう。今までの実績を踏まえて計上している。

石山：建物の償却費について、また理事の会務はボランティアで行っているが、業務量も多く大変なので理事への報酬等は考慮しないのか？役員報酬がないのはおかしいのではないか

中島：限られた予算の中で活動していく必要があり、役員報酬や事務員へ業務委託し事務員への人件費が膨らむと、公益活動比率が下がってしまうので、現状では事務職員を雇ったりはできない状況である。

会長：技師会の会務は、本来の仕事の後に行っていて、夜遅くまでかかることもある。事務職員に委託する方法もあるが公益活動や会費等を考慮すると現時点では難しい。理事の報酬に関しても、公益申請の折、理事は無報酬で行うよう県から指導があった。将来的には事務職員に委託していかないと監査が通らなくなるので、この問題についても会員と話し合わなければならない。

諸謝金に関しても、今までは支部に助成金を一律渡していたが、今後は活動ごとに申請を行い活動費を渡すことになる。助成金が諸謝金に含まれているので諸謝金額が膨らんでいる。

質問者：梶 岩雄氏

梶：収入と支出に差があるが説明をお願いします。

中島：減価償却費が関係していて、減価償却費と事務所建て替え費の積み立て分を合わせると、収支が合う計算になる。

池田：事務所移転に関して、現事務所は交通の便が悪く老朽化が進んでいるので、事務所移転も将来的に考えていかなければならない。

質問者：南風病院 淵脇氏

淵脇：各研究会への助成金に関して、公益法人になったらどのように変わっていくのか。助成金の上限等について目安を教えてください。

中島：上限は無くなったが、財源に限りがあるので、金額が膨らみそうな場合はあらかじめ連絡をください。

淵脇：申請について、その都度行うのか、まとめて行うのか？

中島：理想は年間計画を出してもらおうか、その都度申請を行うか。助成金に関しては理事会等で検討する。

会長：各研究会などの活動費は、財源が限られていますので、常識的な範囲内の活動をお願い

いします。

正議長：他に会場から質疑はないでしょうか。

質疑ないようですので採決に入ります。

議案第1号対して異議のない方の挙手をお願いします。

(採決)

挙手多数により議案第1号は承認されました。

議案第2号対して異議のない方の挙手をお願いします。

(採決)

挙手多数により議案第2号は承認されました。

### 3) 議案第3号 その他

副議長：続いて議案第3号の その他 に入ります。

執行部並びに会場からのご意見・提案はないでしょうか。

副議長：ないようですので、これで議案第3号その他を終了します。

### 7. 議長団退席

副議長：以上を持ちまして議案第1号から議事議案第3号までの審議を終わり、私たちの議長を退かせて戴きます。会場の皆様のご協力ありがとうございました。

### 8. その他

執行部および会長からの意見・提案はなし。

### 9. 閉会の辞

本総会は終了し、新村栄次副会長による閉会の辞が行われた。

# 平成 25. 4. 21 臨時総会



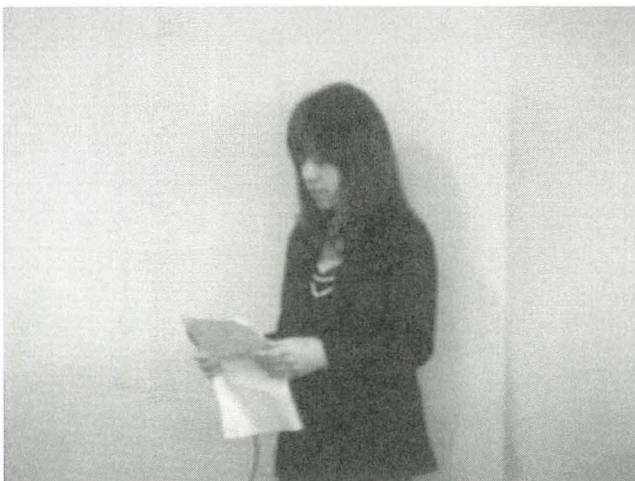
監 事



議 長



鹿児島地域理事



司 会



理 事

## 平成25年度 臨時総会 出席者 (順不同)

1	岡田 淳徳	41	三反田 正紀	81	市原 正道
2	村山 光生	42	川原 浩	82	浅井 愛邦
3	山口 信夫	43	原口 誠	83	日高 稔
4	鮫嶋 宗俊	44	野中 康博	84	原口 織歌
5	梶 岩雄	45	藤坂 智史	85	本村 克朗
6	大久保 光男	46	四本 齊	86	木屋尾 祐太郎
7	西本 孝市	47	浮田 啓一郎	87	西村 美幸
8	池田 睦	48	大園 健一	88	木村 圭佑
9	新村 栄次	49	坂下 周一郎	89	小屋 保浩
10	室屋 純一	50	藤崎 誠	90	岩元 亮太
11	橋口 善治	51	中島 さおり	91	上川 智弘
12	竹之内 学	52	坂井 宣彦	92	梅北 陽平
13	石山 重行	53	久保 幸子	93	瀬筒 美紀
14	村野 和久	54	淵脇 崇史	94	上床 達哉
15	伊原 孝志	55	吉野 健	95	渡邊 義治
16	瀬戸 和人	56	中原 武志	96	大迫 俊一
17	平賀 真雄	57	平原 大助	97	柳川 絢海
18	松本 俊也	58	丸尾 美由紀	98	持留 浩輔
19	園田 実郎	59	下園 大介	99	寺園 将
20	瀬戸口 勲	60	佐々木 崇	100	山下 友也
21	齊藤 二郎	61	本村 江利子	101	大塚 佳純
22	藤崎 拓郎	62	小磯 美奈	102	池田 隆太
23	児玉 公輝	63	元日田 調	103	若松 重良
24	松野下 直美	64	佐藤 洋一		
25	末永 浩二	65	梶 祐幸		
26	西郷 康正	66	福留 三朗		
27	松下 芳正	67	上釜 健作		
28	西元 辰也	68	白石 朋之		
29	馬場 隆行	69	穂山 和章		
30	田口 利樹	70	坂本 幸望		
31	島児 末治	71	白坂 記男		
32	前迫 秀利	72	新留 寿		
33	隈元 満広	73	郭 武浩		
34	廣瀬 親	74	齊藤 朋典		
35	園田 隆	75	小谷 弘樹		
36	中島 祐二	76	塔尾 政彦		
37	江平 俊雄	77	岩永 崇		
38	井ノ上 祐二	78	西元 孝海		
39	有蘭 良一	79	奥 好史		
40	平田 勝	80	東 幸浩		

## 第92回 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会

### 定時総会議事録

- ・日時：平成25年6月22日（土）15:00～16:20
- ・会場：鹿児島大学医学部保健学科 講義棟6階 インテリジェンス講義室

#### 総会次第

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 資格審査
4. 議長団選出
5. 議事録署名人選出
6. 議事
  - 議案第1号  
平成24年度事業報告に関する件
  - 議案第2号  
平成24年度決算報告に関する件
  - 議案第3号  
平成24年度監査報告に関する件
  - 議案第4号  
役員補欠選挙に関する件
  - 議案第5号  
その他
7. 議長団解任
8. その他
9. 閉会の辞

## 出席

理事 池田 睦 新村栄次 大久保光男 藤崎拓郎 石本裕二 中島祐二  
 原口 誠 平田 勝 佐藤洋一 藤坂智史 坂下周一郎 岡野三男  
 平賀真雄 島児未治 中原隆重 野中康博

監事 西元広男 鮫嶋宗俊

議長 白坂記男 梶 祐幸

選挙管理委員 大園健一（永田隆二 選挙管理委員長代理）

- ・正会員数 476名（平成25年6月22日 現在）
- ・出席会員数 55名 委任状数189名 合計244名

## 総会開始

## 1. 開会の辞

新村栄次副会長による第92回定時総会開会の辞が行われた。

## 2. 会長挨拶

池田睦会長より挨拶、新定款に沿って選挙がおこなわれること、九州各県放射線技師会の公益化の現状、診療放射線技師法26条の問題、診療放射線技師の第23回参議院選挙への立候補報告が行われた。

## 4. 資格審査

藤坂智史総務理事より正会員数476名（平成23年6月22日現在）のうち244名（書面表決者189名を含む）が出席し総会が成立する旨の報告が行われた。

## 5. 議長団選出

会場からの立候補はなく、執行部より正議長に鹿屋医療センターの白坂記男氏、副議長に厚生連病院の梶祐幸氏を推薦し、満場一致で選出された。

## 議長団登壇

## 6. 議事録署名人選出

藤坂智史総務理事より公益社団法人移行後の新定款の31条に沿って議長及び出席した理事をもって議事録署名人とする説明が行われた。

## 7. 議事

正議長：議長及び出席した理事をもって議事録署名人に選出して早速審議に入ります。

時間の関係上、議事議案第1号から議事議案第3号まで続けて説明を受けた後、質疑応答及び採決にはいたいと思います。

正議長：議事議案第1号から議事議案第3号まで執行部の説明をお願いします。

- 1) 議事議案第1号 平成24年度会務報告について  
池田睦会長より平成24年度事業報告の総括が述べられた。  
藤坂智史総務理事より別冊配布した総会資料により事業報告の説明がなされた。
- 2) 議事議案第2号 平成24年度決算報告について中島祐二財務理事より別冊配布した総会資料により説明がなされた。
- 3) 議事議案第3号 監査報告について  
鮫嶋宗俊監事、西本広男監事より別紙配布資料監査結果について、会務執行は的確に行われている。事業については順調に執行運営されている。会計処理は間違いなく処理されている。その他特に指摘すべき事項は認められないとの報告があった。

議事議案第1号から議事議案第3号までの一括質疑応答に入った。

正議長：会場より質問はないですか？

正議長：ないようですので採決に入ります。

議案第1号対して異議のない方の挙手をお願いします。

(採決)

挙手多数により議案第1号は承認されました。

議案第2号対して異議のない方の挙手をお願いします。

(採決)

挙手多数により議案第2号は承認されました。

議案第3号対して異議のない方の挙手をお願いします。

(採決)

挙手多数により議案第3号は承認されました。

以上により議事議案第1号から議事議案第3号は承認された。

議長交代

4) 議事議案第4号 役員補欠選挙に関する件について

副議長：議案第4号、役員補欠選挙に関する件について会長より役員選挙規定について説明をお願いします。

会長：今回、新定款に沿った理事4名、地域理事1名の選挙を行います。

副議長：只今説明がありました役員選挙についてご意見がありますか？

副議長：選挙管理委員より選挙について報告をお願いします。

選挙管理委員：永田隆二選挙管理委員長代理、選挙管理委員の大園健一です。

公益社団法人鹿児島県放射線技師会役員選挙結果を報告します。

平成25年5月20日付の鹿児島県診療放射線技師会ニュースに平成25年役員選挙の告示を掲示しました。公益社団法人化に伴う理事定数の充足及び、大島地域理事変更の選挙であり、定数5名（うち1名は大島地域理事）です。

平成25年6月12日午後5時までに立候補4名の届け出がありました。

候補者が役員定数を超えませんでしたので、公益社団法人・鹿児島県診療放射線技師会の役員選挙規程第10条の無投票当選に該当しました。よって平成25年6月22日の鹿児島県診療放射線技師会総会にて4名を当選者としました。

当選者 理事 藤崎 誠さん 齊藤 二郎さん 瀬戸 和人さん  
地域理事 田畑 一文さん 以上 報告いたします。

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会選挙管理委員会委員長代理、選挙管理委員  
大園健一

副議長：只今報告がありました、役員選挙に関しましてご意見ありますか。

副議長：ないようですので採決に入ります。

それでは、定款29条第3項に沿って各候補者ごとに決議にはいります。

藤崎 誠さんの理事当選を承認される方は挙手をお願いいたします。

(採決)

挙手多数により藤崎 誠さんの当選は承認されました。

齊藤 二郎さんの理事当選を承認される方は挙手をお願いいたします。

(採決)

挙手多数により齊藤 二郎さん当選は承認されました。

瀬戸 和人さんの理事当選を承認される方は挙手をお願いいたします。

(採決)

挙手多数により瀬戸 和人さんの当選は承認されました。

田畑 一文さんの地域理事当選を承認される方は挙手をお願いいたします。

(採決)

挙手多数により田畑 一文さんの当選は承認されました。

副議長：以上をもちまして、議案第4号の審議を終了します。

以上により議事議案第4号は承認された。

副議長：続いて議案第5号の その他 に入ります。

執行部並びに会場からのご意見・提案はないでしょうか。

副議長：ないようですので、これで議案第5号その他を終了します。

## 8. 議長団退席

副議長：以上をもちまして議案第1号から議事議案第5号までの審議を終わり、私たちの議長の責を退かせて戴きます。会場の皆様のご協力ありがとうございました。

## 9. その他

池田会長より議事に協力していただいた会員へのお礼の言葉があった。

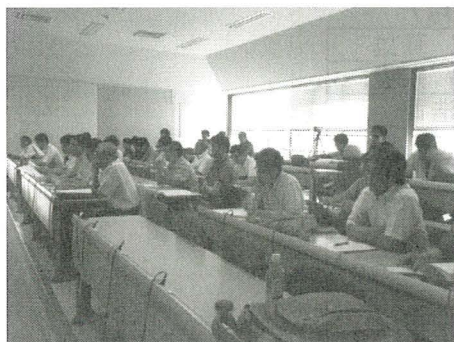
また、選挙で当選した4名の方の自己紹介が行われた。

別紙総会資料より診療放射線技師法26条の問題、6月28日の第1回九州放射線技師会研修会の開催説明、日本放射線技師連盟の説明、あぜサポータ登録案内、選挙運動について、島根全国学術大会の準備状況・事前登録案内、公益社団法人の認定にあたって申請したことを行っていく説明がなされた。

## 10. 閉会の辞

すべての審議を終え、本総会が終了し、新村栄次副会長により閉会が宣言された。

# 平成25年 定時総会



会 場



会長あいさつ



監 事



技師連盟 大久保氏



議 長



松野下氏



新 理 事



特別講演



理 事

## 92回 定時総会 出席者 (順不同)

1	湯ノ口 武司	26	大徳 尚司	51	平賀 真雄
2	原口 誠	27	中島 さおり	52	鮫嶋 宗俊
3	山口 信夫	28	梶 祐幸	53	隈 浩司
4	下園 大介	29	西 憲文	54	藤坂 智史
5	野中 康博	30	梅北 陽平	55	小屋 保浩
6	瀬戸口 勲	31	橋口 善治	56	白坂 記男
7	岡野 三男	32	斉藤 二郎	57	恵 智徳
8	園田 実郎	33	富松 正明	58	今田 万里代
9	中原 隆重	34	平田 勝	59	島児 末治
10	石本 裕二	35	瀬戸 和人	60	橋口 満
11	木村 圭佑	36	西元 辰也	61	石山 重行
12	持留 浩輔	37	佐藤 洋一	62	淵脇 崇史
13	山下 友也	38	梶 岩雄	63	山下 一也
14	新村 栄次	39	池田 睦	64	浅井 愛邦
15	田川 伸夫	40	穂満 信行	65	穂山 和章
16	弓場 翔美	41	藤崎 拓郎	66	西本 孝市
17	村野 和久	42	西郷 康正	67	隈元 満広
18	井ノ上 祐二	43	大園 健一	68	岩元 亮太
19	松山 芳郎	44	坂下 周一郎	69	坂本 幸望
20	藤崎 誠	45	岩永 崇	70	坂元 成行
21	日高 稔	46	奥 好史	71	長野 勝悟
22	上川 智弘	47	新留 寿	72	高田橋 司
23	上床 達哉	48	大久保 光男		
24	田畑 一文	49	松野下 直美		
25	児玉 公輝	50	室屋 英人		

## 平成24年度決算総会事業報告総括

### 総括

平成24年度も前年度と同様に本会創立の目的である診療放射線学及び診療放射線に関する技術の向上発展並びに県民保健の維持発展に寄与する事業を行った。

事業の中で最も重要だったのが公益法人移行への申請手続きであった。平成23年10月に定款改定の臨時総会を会員の4分の3以上の出席を得て開催する事ができ、無事に定款を改定する事ができた事を受け、平成24年度は具体的な公益法人申請の手続きを鹿児島県の医務課医務係並びに学事法制課と行った。医務係との面会を計2~3回、申請書のやり取りを計8回行い、修正・訂正を重ねて平成24年12月21日に公益法人審議会を受審し、12月25日付けで鹿児島県知事宛てに公益認定の答申書(推薦書)を貰えました。年が明けて3月19日付けで公益法人認定書が鹿児島県知事名で発行され、今度は法務局への登記の手続きに入りました。登記書類を作成し3月25日に全ての手続きを終了しました。4月17日に鹿児島地方法務局より登記完了通知を受け、公益法人移行完了届を鹿児島県知事宛てに送付し全ての手続きが完了しました。これにより平成25年4月1日より公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会として新たにスタートをする事ができ、鹿児島県の技師会会員の皆様方にご報告する事ができました。これまでの会員の皆様方のご理解とご協力に感謝申し上げます。

さて、平成24年度の事業報告として、フレッシュャーズセミナー、リーダー及びリーダー育成研修会、レントゲン週間イベント、総会時の特別講演、秋季学術大会、市民健康まつり、鹿児島県診療放射線技師女性の集い、原子力防災訓練への参加、地域保健協力、環境測定及び放射線管理の指導、支部長会議、各種表彰申請を行いました。

また、日本診療放射線技師会主催で鹿児島県放射線技師会の委託事業として、診療放射線技師基礎講習の「MRI検査」、静脈注射の抜針講習会の2つの事業を行いました。

その他に6支部の研修会を各支部で計8回行いました。

研究会活動は鹿児島消化器画像研究会4回、鹿児島県放射線治療技術研究会を2回、鹿児島CT研究会を4回、MRI研究会を1回開催しました。

管理士部会の研修会は放射線管理士部会、放射線機器管理士部会、画像情報管理士部会研修会をそれぞれ1回ずつ開催しました。それぞれの詳細な内容は事業報告をご覧ください。

平成24年度に計画しました事業はその全てを開催する事ができました。また、日本診療放射線技師会からの委託事業も鹿児島県の事業として対応でき、多くの会員の参加にも繋がりました。ただ、事業の中にはPR不足や事業内容により、一般市民の参加が少なかったりした事業もあり、次年度への反省点として引き継いでいきたいと思っております。平成24年度についてご支援ありがとうございました。

## 平成24年度事業報告

本会創立の目的である、診療放射線学および診療放射線に関する技術の向上発展ならびに県民保健の維持発展に寄与するため以下16の事業を行った。

### 1. 生涯学習の推進

安全で質の高い医療の提供を求める県民の負託に応えるためには、卒後教育が重要である。また、大きく変化していく診療放射線技術や社会情勢に対応すべく生涯学習の推進に努める。

### 2. フレッシュアップセミナーの開催

社会人・医療人としての心構えや接遇についての教育を行うとともに、臨床現場ですぐに役に立つ一般撮影・CT・MRI等の研修を行う。

日時：平成24年7月1日

場所：鹿児島大学医学部 第4講義室

対象：会員および非会員

内容：マナー・エチケット、医療安全感染対策、気管支解剖、入会案内

参加人数：37名

### 3. リーダー及びリーダー育成研修会

放射線部門のリーダーとして、いかにして優秀な人材を育てていくか、どのように行動することが県民や病院に貢献できるか等の研修会を開催する。また、次代を担うリーダーの育成に努めるとともに施設間の情報の交換を行う。

日時：平成24年10月13日（土）

場所：ホテルレクストン鹿児島

対象：会員

内容：「診療放射線技師教育における  
マネジメントの重要性」  
済生会熊本病院 技師長 和田 博文

参加人数：34名

### 4. レントゲン週間に放射線展ならびに市民公開講座の開催

日本放射線技師会が推進する『国民から見える職業へ』『期待に応える専門職種として』のスローガンを達成するために、県民と直に接し、放射線技師の業務等を紹介するため、当会独自のイベントを開催する。また、市民公開講座や無料検診を行うことにより、より公益性を高めていく。

日時：平成25年3月10日（日）

会場：鹿児島商工会議所ビル4階アイムホール

対象：一般市民、会員、非会員

内容：骨密度測定・講義・放射線パネル展

参加人数：42名（一般市民7+会員35）

### 5. 特別企画の実施

第91回総会時に特別講演もしくはシンポジウムを開催し、技術の向上を図るとともに時代に即したテーマについての討論を行う。

日時：平成24年6月9日（土）

会場：鹿児島県歴史資料館 黎明館 2階講堂

対象：会員および非会員

内容：「診療報酬改定のポイント及び

施設基準の届出について」

ニチイ学館

参加人数：77名

### 6. 支部研修会の実施

6支部（鹿児島支部、南薩支部、北薩支部、霧島・始良支部、大隅支部、大島支部）研修会を支部長の企画において開催する。また、開催の規模や頻度に応じた助成を行う。

鹿児島支部

平成24年度 第11回鹿児島支部研修会

日時：平成24年11月17日（土）

会場：南風病院 ANNEX I

内容：教育講演、特別講演、会員発表

対象：会員、非会員

参加人数：62名

**南薩支部**

## 第25回南薩支部研修会

日時：平成24年9月8日（土）  
 会場：メディアポリス指宿「天珠の館」  
 対象：会員および非会員  
 参加：47名（うち非会員8名）  
 内容：メーカー講演、施設紹介

## 第26回南薩支部研修会

日時：平成25年2月23日（土）  
 会場：県立薩南病院（＝南さつま市加世田）  
 対象：会員および非会員  
 参加：33名（技師27名）  
 内容：会員発表4、メーカー講演1、支部総会。  
 ほか：懇親会16名参加。

**【スポーツ交流大会】**

## 第9回南薩支部スポーツ交流大会

日時：平成24年10月21日（日）  
 会場：加世田運動公園多目的グラウンド  
 対象：会員および非会員  
 内容：ソフトボール競技  
 参加人数：34名

**北薩支部**

## 第21回北薩支部研修会・総会

日時：平成24年10月20日15時～  
 場所：川内市医師会立市民病院 会議室  
 対象：会員及び非会員  
 参加人数：48名（うち非会員4メーカー2名）

**霧島・始良支部**

## 霧島・始良支部研修会

日時：平成25年3月9日（土）  
 場所：霧島市立医師会医療センター 大会議室  
 対象：会員及び非会員  
 参加人数：会員15名、非会員12名

**大隅支部**

## 第32回大隅支部研修会

日時：平成24年8月4日  
 場所：鹿屋市中央公民館  
 対象：会員及び非会員  
 参加人数：27名 メーカー7名

## 第33回大隅支部研修会

日時：平成25年2月23日  
 場所：県民健康プラザ鹿屋医療センター  
 対象：会員及び非会員  
 参加人数：34名

**大島支部**

## 平成24年度 大島支部研修会

日時：平成24年2月2日  
 場所：県立大島病院講堂  
 対象：会員及び非会員  
 参加人数：22名

**7. 支部長会議の開催**

各支部と県理事との連携を密にするための支部長会議を開催し、会務運営に支部の要望や意見を反映していく。また、各支部の行事等の調整を図っていく。

**支部長会議**

日時：平成24年10月13日（土）  
 場所：ホテルレクストン鹿児島  
 対象：理事、監事および支部長  
 参加人数：14名

**8. 秋季学術大会の実施**

## 平成24年度鹿児島県放射線技師会秋季学術大会

日時：平成24年10月20日（土）15時～  
 会場：川内市医師会立市民病院 2階 会議室  
 内容：会員発表  
 参加人数：48名

## 9. 各研究会の実施

消化管研究会、放射線治療研究会、CT研究会、MR研究会を県の事業とし、研究会の充実を図るとともに非会員に対して入会の勧誘を積極的に行う。また、各研究会の活動が充実していくための助成を行う。

### 鹿児島消化器画像研究会活動報告

#### 第38回鹿児島消化器画像研究会

日時：H24年4月26日

場所：厚生連病院

対象：会員および非会員

参加者：30名

#### 第39回鹿児島消化器画像研究会

日時：H24年7月21日（土）14時半～

場所：南風病院 ANNEX-I

対象：会員および非会員

参加者：42名

#### 第40回鹿児島消化器画像研究会

日時：H24年10月25日

場所：厚生連病院

対象：会員および非会員

参加者：23名

#### 第41回鹿児島消化器画像研究会

日時：H25年1月26日

場所：南風病院

対象：会員および非会員

参加者：35名

### 鹿児島県放射線治療技術研究会活動報告

#### 第8回鹿児島放射線治療技術研究会

日時：H24年7月28日（土）15時～

場所：鹿児島大学病院第4講義室

対象：会員および非会員

参加者：118名（内 学生76名）

#### 第9回鹿児島放射線治療技術研究会

日時：H24年12月8日（土）14時～

場所：鹿児島大学病院第4講義室

対象：会員および非会員

参加者：41名

### 鹿児島CT研究会活動報告

#### 第16回鹿児島CT研究会

日時 H24年5月16日（水）19：00～21：00

場所 鹿児島医療センター2階大会議室

「CT造影理論～造影理論を理解しよう」

参加者102名

#### 第17回鹿児島CT研究会

日時 H24年7月18日（水）19：00～21：00

場所 鹿児島医療センター2階大会議室

「救急医療における頭部CT検査」

参加者110名

#### 第18回鹿児島CT研究会

日時 H24年11月21日（水）19：00～21：00

場所 鹿児島医療センター2階大会議室

「CT室での急変時の対応～救急医療チームの一員として何が出来るか～」

参加者95名

#### 第19回鹿児島CT研究会

日時 H25年1月23日（水）19：00～21：00

場所 鹿児島医療センター2階大会議室

「脳卒中の画像診断とt-PA静注療法について」

参加者75名

### MRI研究会活動報告

#### 第15回鹿児島MRI研究会

日時 H25年4月27日（土）15：00～18：30

場所 鹿児島大学医学部第4講義室

参加者42名

### 10. 管理士部会による研修会開催

安全で質の高い医療を提供するためには、放射線管理・機器管理・画像情報管理を適正に行うことが不可欠である。これらの管理は、日々の業務の中で継続的に実践することが重要である。より効率的な管理を行ううえで必要な講習会を管理士部会主催で開催する。

#### 放射線管理士部会

平成24年度 鹿児島県放射線管理士部会研修会

日時：平成24年7月21日（土）15時～

会場：鹿児島大学医学部 第4講義室

内容：放射線漏洩線量測定に関する講義及び測定実習

参加人数：33名

#### 機器管理士部会

放射線機器管理士部会（大隅支部研修会と共催）

日時：平成24年8月4日（土）

場所：鹿屋市中央公民館

参加人数：34名

#### 画像情報管理士部会

医療画像情報制度管理士移行講習会

日時：平成24年9月22日（土）8時半～

場所：鹿児島大学医学部臨床実習棟第4講義室

主催：（社）鹿児島県放射線技師会

日本放射線技師会

参加数：41名

### 11. ホームページの活用促進

ホームページの更新に伴い内容の充実を図り、会員、県民に積極的に情報を発信する。また各支部からも情報発信しやすいシステムを構築する。更新中

### 12. 各種イベント等への積極的参加・協力

他関係団体との共催である市民健康まつり等

に積極的に参加し、他職種との連携を深めるとともに公益法人としての社会的役割を果たす。

#### 市民健康まつり

日時：平成24年10月21日（日）10時～

場所：鹿児島アリーナ

内容：骨密度測定 放射線相談、展示

実行委員：15名

入場者数：342名

### 13. 原子力防災支援

原子力災害時に適正かつ迅速に対応するために必要な研修に出席する。また、県が開催する原子力防災訓練に参画し、放射線に関する専門家としての放射線技師の存在を誇示していく。

（原子力防災訓練）

平成24年度鹿児島県原子力防災訓練

日時：平成24年8月11日（土）

場所：川北交流センター

内容：一次スクリーニング

参加人数：6名

### 14. 地域保健協力事業

鹿児島市医師会より委託を受けた鹿児島市夜間救急センター放射線業務に対して、診療放射線技師を派遣する。業務の安全ならびに質の高い画像情報を提供するために必要な連絡調整会議や研修会を開催する。

派遣登録者数：19名

第1回夜間急病センター研修会

日時：平成24年8月31日（金）18時半～

場所：鹿児島市精神保健福祉交流センター

対象：派遣登録者（会員）

参加人数：21名

第2回夜間急病センター研修会

日時：平成24年10月13日（土）15時半～

場所：レクストン鹿児島

対象：派遣登録者（会員）

参加人数：16名

### 第3回夜間急病センター研修会

日時：平成25年3月15日（金）18時半～  
場所：鹿児島市精神保健福祉交流センター  
対象：派遣登録者（会員）  
参加人数：15名

### 15. 公益法人申請

臨時総会の定款改訂の承認を得て、公益社団法人の申請を行った。

### 16. その他の事業

#### 環境測定事業

いちき串木野市立脳神経外科センター

実施日 H24年4月、9月

測定者 大久保、小磯

博悠会温泉病院

実施日 H24年4月、9月

測定者 大久保、小磯

ふくいわ耳鼻咽喉科クリニック

実施日 H24年4月、11月

測定者 西郷

黒木外科胃腸科病院

実施日 H24年6月、12月

測定者 大久保、妙円園

田上クリニック

実施日 H24年7月、H25年1月

測定者 隈、西元

守屋病院

実施日 H24年7月、H25年1月

測定者 藤崎、佐々木

村永整形外科クリニック

実施日 H24年7月

測定者 藤崎、佐々木

### 出版事業

平成24年7月：ニュース57号発行

平成24年9月：第116号会報発行

平成25年2月：第117号会報発行

### 福利・厚生事業

○梶岩雄先生 厚生労働大臣表彰祝賀会

日時：平成24年6月9日（土）18時半～

場所：ホテル吹上荘

参加人数：46名

○岡田淳徳先生 瑞宝双光章受賞祝賀会

日時：平成25年3月10日（土）18時～

場所：ホテル パレスイン鹿児島

参加人数：58名

○特別功労賞

表彰規程細則第1条に基づく表彰

西本孝市 前会長（平成19年度から20年度）

○功労賞（副会長）

表彰規程細則（第1条）に基づく表彰

大久保光男（副会長：平成15年度より

2期4年

○感謝状

表彰規程細則（第1条）に基づく表彰

大久保 光男（役員歴10年以上（11年）、

島兒 末治（大隅支部長15年以上）

### 組織拡大事業

フレッシュャーズセミナー、各支部研修会、各研究会等にて会員勧誘を実施

### 他団体との連携

以下、関連団体と連携し、学術大会等を開催した。

公益社団法人日本診療放射線技師会

### 平成24年度理事会

- 第1回理事会：平成24年5月9日
- 第2回理事会：平成24年7月13日
- 第3回理事会：平成24年9月19日
- 第4回理事会：平成24年11月14日
- 第5回理事会：平成25年1月11日
- 第6回理事会：平成25年3月5日

### 日本診療放射線技師会主催講習会

平成24年度 診療放射線技師基礎講習  
「MRI 検査」

日時：平成24年12月2日（日）

場所：鹿児島大学医学部臨床講義実習棟2F  
「第4講義室」

対象：会員および非会員

参加人数：42名

### 静脈注射（針刺しは除く）講習会

日時：平成25年1月27日10時～

場所：鹿児島大学医学部

対象：会員および非会員

内容：DVDによる講義（視聴）及び実習

参加人数：50名

### 鹿児島県診療放射線技師 女性の集い

平成25年3月16日

鹿児島市立病院視聴覚室

参加者：女性技師33名 女学生4名 他10名

社団法人鹿兒島県放射線技師会

## 収支計算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日 単位:円

科 目	予算額	借 方	貸 方	決算額	構成比
【会費収入】			2302000	2302000	57
正会員会費収入	2975000		2282000	2282000	56.5
準会員会費収入	20000		20000	20000	0.5
【事業収入】			610000	610000	15.1
広告収入	450000		390000	390000	9.7
環境測定事業収入	360000		220000	220000	5.4
【補助金等収入】			61000	61000	1.5
民間助成金収入	100000		61000	61000	1.5
【負担金収入】		164000	456000	292000	7.2
九州地域放射線技師会会費	211000	164000	164000		
市医師会負担金	292000		292000	292000	7.2
【雑収入】			776393	776393	19.2
受取利息収入	10000		10983	10983	0.3
雑収入	150000		765410	765410	18.9
【事業活動収入計】		164000	4205393	4041393	100
【事業費支出】		3707229	212500	3494729	86.5
広報活動費支出	170000	485795		485795	12
調査事業費支出	20000	14500		14500	0.4
渉外対策費支出	10000	14777		14777	0.4
旅費交通費支出	200000	182000		182000	4.5
表彰対策費支出	10000	36106		36106	0.9
出版物頒布費支出	60000	140879		140879	3.5
生涯教育セミナー費支出	100000	979040		979040	24.2
夜間急病センター研修委託費支出	262000	114000		114000	2.8
鹿兒島支部助成金支出	150000	150000		150000	3.7
大隅支部助成金支出	70000	70000		70000	1.7
大島支部助成金支出	50000	50000		50000	1.2
霧島始良支部助成金支出	50000	50000		50000	1.2
南薩支部助成金支出	70000	70000		70000	1.7
北薩支部助成金支出	50000	50000		50000	1.2
会報印刷費支出	550000	464500		464500	11.5
ニュース印刷費支出	40000	41040		41040	1
環境測定事業支出	260000	155280		155280	3.8
ホームページ運営費支出	40000	36000		36000	0.9
関連団体会議費支出	250000	330000		330000	8.2

社団法人鹿兒島県放射線技師会

## 収支計算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日 単位:円

科 目	予算額	借 方	貸 方	決算額	構成比
【管理費支出】		1606030	13000	1593030	39.4
総会費支出	140000	182529		182529	4.5
委員会費支出	10000	11920		11920	0.3
支部長会費支出	20000	8600		8600	0.2
会長会議旅費支出	50000	21000		21000	0.5
理事会旅費支出	50000	25000		25000	0.6
委員会旅費支出	60000	21500		21500	0.5
支部長会議旅費支出	80000	53500		53500	1.3
什器・備品費支出	180000	156000		156000	3.9
消耗品費支出	40000	41152		41152	1
印刷製本費支出	50000	81100		81100	2
通信運搬費支出	30000	59096		59096	1.5
部会通信費支出	5000	6000		6000	0.1
役員渉外費支出	15000	43767		43767	1.1
維持管理費支出	90000	73816		73816	1.8
事務所雑費支出	10000	1085		1085	
火災保険料支出	73000	72546		72546	1.8
租税公課支出	76000	228122		228122	5.6
雑費支出	50000	519297	13000	506297	12.5
【事業活動支出計】		5313259	225500	5087759	125.9
〔事業活動収支差額〕		5477259	4430893	-1046366	-25.9
【固定資産取得支出】		1915000		1915000	47.4
什器備品購入支出		1915000		1915000	47.4
【投資活動支出計】		1915000		1915000	47.4
〔投資活動収支差額〕		1915000		-1915000	-47.4
〔当期収支差額〕		7392259	4430893	-2961366	-73.3
前期繰越収支差額				15158054	375.1
〔次期繰越収支差額〕		7392259	4430893	12196688	301.8

社団法人鹿児島県放射線技師会

## 正味財産増減計算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日 単位:円

科目	前年度	借方	貸方	当年度	構成比
【受取会費】	2401000		2302000	2302000	57
正会員受取会費	2275000		2282000	2282000	56.5
準会員会費			20000	20000	0.5
【事業収益】			610000	610000	15.1
広告	390000		390000	390000	9.7
環境測定事業	217000		220000	220000	5.4
【受取補助金等】	68400		61000	61000	1.5
受取民間助成金	68400		61000	61000	1.5
【受取負担金】	466300	164000	456000	292000	7.2
九州地域放射線技師会会費	163500	164000	164000		
市医師会負担金	292800		292000	292000	7.2
【雑収益】	330541		776393	776393	19.2
受取利息	35301		10983	10983	0.3
雑収益	295240		765410	765410	18.9
(経常収益計)	3888241	164000	4205393	4041393	100
【事業費】	3922391	4107021	212500	3894521	96.4
広報活動費	42000	485795		485795	12
調査事業費	0	14500		14500	0.4
渉外対策費	2204	14777		14777	0.4
旅費交通費	141000	182000		182000	4.5
表彰対策費	63620	36106		36106	0.9
出版物頒布費	85500	140879		140879	3.5
生涯教育セミナー費	178840	979040		979040	24.2
夜間急病センター研修委託費	0	114000		114000	2.8
鹿児島支部助成金	150000	150000		150000	3.7
大隅支部助成金	70000	70000		70000	1.7
大島支部助成金	50000	50000		50000	1.2
霧島始良支部助成金	50000	50000		50000	1.2
南薩支部助成金	70000	70000		70000	1.7
北薩支部助成金	50000	50000		50000	1.2
会報印刷費	464000	464500		464500	11.5
ニュース印刷費	71100	41040		41040	1
環境測定事業費	213700	155280		155280	3.8
ホームページ運営費	65800	36000		36000	0.9
関連団体会議費	309000	330000		330000	8.2
九州地域放射線技師会費	211000	212500	212500		
通信運搬費	10745	10605		10605	0.3
租税公課	47052	50207		50207	1.2
減価償却費		399792		399792	9.9

社団法人鹿兒島県放射線技師会

## 正味財産増減計算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日 単位:円

科 目	前年度	借 方	貸 方	当年度	構成比
【管理費】	1480311	1828583	13000	1815583	44.9
総会費	275000	182529		182529	4.5
委員会費	16056	11920		11920	0.3
支部長会費	15660	8600		8600	0.2
会長会議旅費	0	21000		21000	0.5
理事会旅費	30000	25000		25000	0.6
委員会旅費	64500	21500		21500	0.5
支部長会議旅費	64700	53500		53500	1.3
什器・備品費	270000	156000		156000	3.9
消耗品費	76067	41152		41152	1
印刷製本費	95550	81100		81100	2
通信運搬費	39340	59096		59096	1.5
部会通信費	0	6000		6000	0.1
役員渉外費	61220	43767		43767	1.1
維持管理費	76498	73816		73816	1.8
事務所雑費	11823	1085		1085	
火災保険料	72546	72546		72546	1.8
租税公課	81221	228122		228122	5.6
雑費	194930	519297	13000	506297	12.5
減価償却費	625002	222553		222553	5.5
(経常費用計)	6035204	5935604	225500	5710104	141.3
(当期経常増減額)	-2146963	6099604	4430893	-1668711	-41.3
(税引前一般正味財産増減額)	-2146963	6099604	4430893	-1668711	-41.3
(一般正味財産増減額)	-2146963	6099604	4430893	-1668711	-41.3
一般正味財産期首残高	30925113			30925113	765.2
【一般正味財産期末残高】	30925113	6099604	4430893	29256402	723.9
[正味財産期末残高]	30925113	6099604	4430893	29256402	723.9

社団法人鹿児島県放射線技師会

## 貸借対照表

平成24年4月1日～平成25年3月31日 単位:円

科 目	前年度	借 方	貸 方	当年度	構成比
現金	108920	1102954	1201783	10091	
普通預金	1210800	7375596	7039930	1546466	5.3
郵便貯金	6516685	3211000	6000000	3727685	12.7
定期預金	5934149	10797		5944946	20.3
【現金及び預金】	13770554	11700347	14241713	11229188	38.4
未収会費	1302000		399000	903000	3.1
未収負担金	93000		28500	64500	0.2
(流動資産合計)	15165554	11700347	14669213	12196688	41.7
土地	7900000			7900000	27
建物	11330000			11330000	38.7
減価償却累計額	-4078800		407880	-4486680	-15.3
(基本財産合計)	15151200		407880	14743320	50.4
仕器備品	1447480	1915000		3362480	11.5
仕器備品減価償却累計額	-831621		214465	-1046086	-3.6
(その他の固定資産合計)	615859	1915000	214465	2316394	7.9
(固定資産合計)	15767059	1915000	622345	17059714	58.3
[資産合計]	30932613	13615347	15291558	29256402	100
前受金	7500	7500			
預り金		212500	212500		
(流動負債合計)	7500	220000	212500		
[負債合計]	7500	220000	212500		
うち基本財産への充当額	15151200			15151200	51.8
[一般正味財産]	30925113	6099604	4430893	29256402	100
[正味財産]	30925113	1668711		29256402	100
[負債及び正味財産]	30932613	1888711	212500	29256402	100

資産別固定資産減価償却内訳表

自 24年 4月 1日  
至 25年 3月 31日

物件名称	数量	償却方法	取得用 計画上 の区分	償却率	期間	取得価額	期首帳簿価額	当期増減額	普通償却額	特別(割増)償却額	当期減損損失額 当期償却額	当期償却限度額	期末帳簿価額	(減損損失累計額) 償却累計額	備考
【 土地 】															
2-00 鹿児島市東坂元4丁目28-11 (132.24平米)	1	非償	H11.4			7,900,000	7,900,000						7,900,000		
※資産計※ 土地						7,900,000	7,900,000						7,900,000		
【 建物(定額) 】															
1-00 木造スレート葺き2階建て (67.9平米)	1	旧定額	H11.4 H11.4	25	0.040	12	11,330,000	7,251,200	407,880		407,880	407,880	6,843,320	4,486,680	
※資産計※ 建物(定額)						11,330,000	7,251,200		407,880		407,880	407,880	6,843,320	4,486,680	
【 器具及び備品 】															
3-00 財務会計システム	1	旧定額	H18.4 H18.4	6	0.166	5	564,200	56,420	28,210		28,210	28,210	28,210	535,990	償却完了
4-00 総務用ノートパソコン	1	定額	H19.4	6	0.167	12	117,800	29,450	19,672		19,672	19,672	9,778	108,022	
5-00 テレビモニター	1	定額	H21.4 H21.4	6	0.167	12	160,000	88,000	26,720		26,720	26,720	61,280	98,720	
6-00 レーザープリンター	1	定額	H21.4 H21.4	6	0.167	12	68,980	37,939	11,519		11,519	11,519	26,420	42,560	
7-00 電離箱サーベイメータ	1	定額	H22.4 H22.4	6	0.167	12	346,500	242,550	57,865		57,865	57,865	184,685	161,815	
8-00 学術用ノートパソコン	1	定額	H23.4 H23.4	6	0.167	12	190,000	161,500	31,730		31,730	31,730	129,770	60,230	
9-00 PCN O P C ノートパソコン一式	8	定額	H25.3 H25.3	4	0.250	1	1,640,000		34,166		34,166	34,166	1,605,834	34,166	
10-00 P C E P P プロジェクター	1	定額	H25.3 H25.3	5	0.200	1	275,000		4,583		4,583	4,583	270,417	4,583	
※資産計※ 器具及び備品						3,362,480	615,859	1,915,000	214,465		214,465	214,465	2,316,394	1,046,086	
※合計※						22,592,480	15,767,059	1,915,000	622,345		622,345	622,345	17,059,714	5,532,766	

# 平成24年度 監査報告書

平成25年6月16日

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

会 長 池田 睦 殿

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

監 事 西元 広男

監 事 鮫嶋 宗俊



監事両名は、平成24年度の技師会運営に関する監査を技師会事務所において実施し、協議の上、この監査報告書を作成したので、以下のとおり報告する。

## 記

### 1. 監査の概要

理事会に出席する他、会長及び担当理事から技師会運営に関する報告を受け、会務執行、事業計画及び会計処理について監査した。

### 2. 監査の結果

#### (1) 会務執行

会員の異動状況報告、各種の議事録、文章綴りを閲覧した結果、定款及び総会決議に違反する事実は認められず的確に処理されていることを認める。

#### (2) 事業について

事業計画に基づき順調に執行運営されていることを認める。

#### (3) 会計処理

収支状況について収支計算書ならびに証拠書類などを審査した結果、不整の連は認められず、諸帳簿類の記載ならびに会計処理は間違いなく処理されていることを認める。

#### (4) その他

特に指摘すべき事項は認められない。

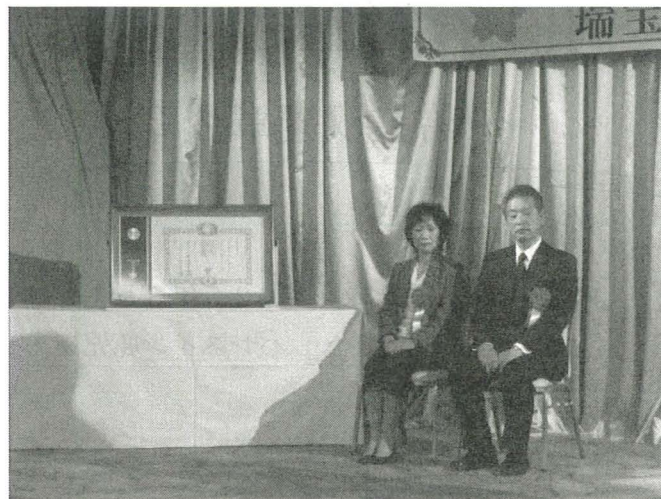
# 岡田 淳徳先生 祝賀会

～瑞宝双光章受章～

日時：平成25年3月10日（日）18：00～

会場：パレスイン鹿児島

- ① 開会の挨拶：池田睦 会長
- ② 略歴紹介：鹿児島大学病院 西郷康正氏
- ③ 来賓 祝辞：堂園晴彦先生
- ④ 祝辞：富吉 司氏
- ⑤ 花束贈呈：西郷康正氏、新村栄次 副会長
- ⑥ 謝辞：岡田 淳徳氏
- ⑦ 乾杯の音頭：村山光生氏
- ⑧ スピーチ：小川 臣人氏、米倉 誠耕氏、湯ノ口 武司氏
- ⑨ 祝電披露：司会 淵村 有紀氏
- ⑩ 万歳三唱：山口信夫氏



岡田夫妻



開会挨拶 池田会長



花束贈呈



祝辞 富吉氏



乾杯の音頭 村山氏



祝辞 鮫島氏



万歳三唱 山口氏



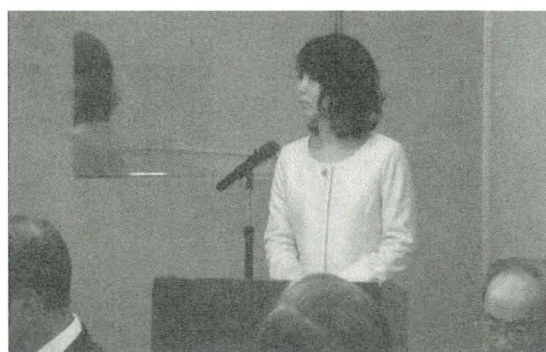
来賓挨拶 堂園氏



略歴紹介 西郷氏



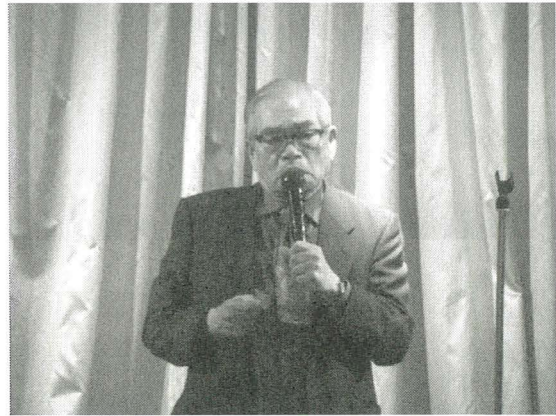
謝辞 岡田氏



司会者 淵村氏



小川氏



湯ノ口氏



米倉氏

# 富吉 司先生 祝賀会

～瑞宝双光章受章～

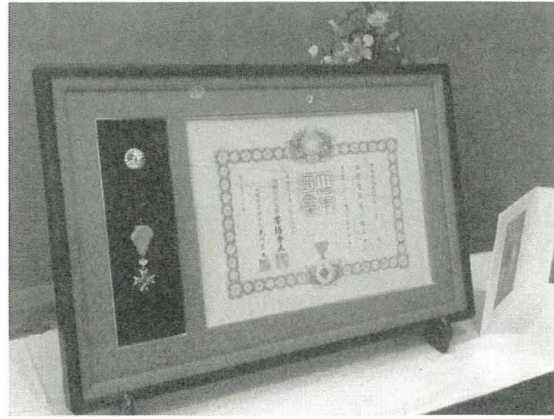
日時：平成25年7月9日（土） 17：30～

会場： パレスイン鹿児島

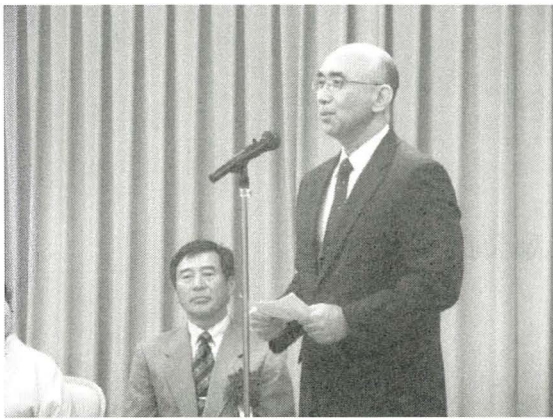
- ① 開会の挨拶 : 池田睦 会長
- ② 略歴紹介 : 鹿児島大学病院 西郷康正氏
- ③ 来賓 祝辞 : 中條政敬先生
- ④ 祝辞 : 鮫嶋宗俊氏
- ⑤ 花束贈呈 : 藤崎拓郎理事、新村栄次 副会長
- ⑥ 謝辞 : 富吉 司先生
- ⑦ 乾杯の音頭 : 梶 岩雄氏
- ⑧ スピーチ : 岡田淳徳氏
- ⑨ 祝電披露 : 司会 原口誠理事
- ⑩ 万歳三唱 : 村山光生氏



富吉夫妻



勲章



開会挨拶 池田会長



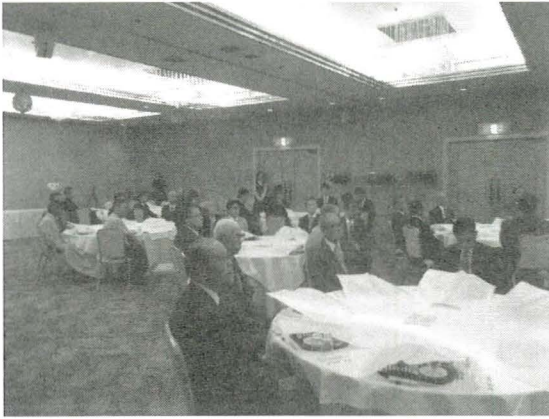
花束贈呈



祝辞 岡田氏



乾杯の音頭 村山氏



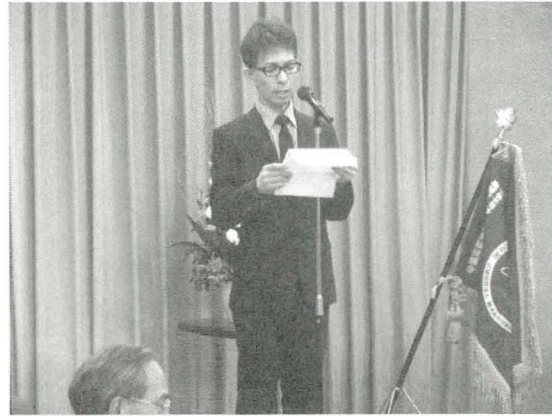
会 場



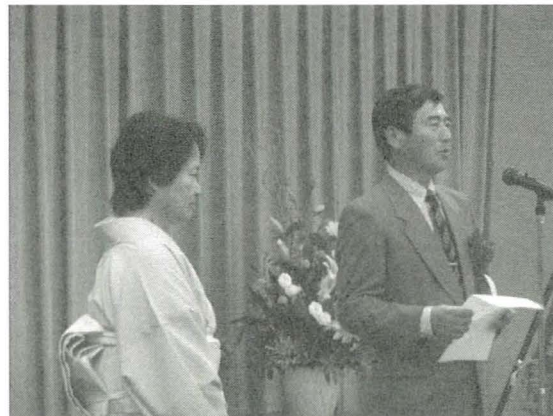
祝辞 鮫島氏



来賓挨拶 中条氏



略歴紹介 西郷氏



謝辞 富吉氏



万歳三唱 村山氏



司会者 原口氏



集合写真

## お願い 会員情報の修正について

総務理事 藤坂智史

鹿児島県診療放射線技師会会員の皆様、日本診療放射線技師会（JART）に登録されている会員情報に間違いはありませんでしょうか？

希に会報、ニュース、委任状などが届かず返送されてきたり、連絡先が変更されておらず、連絡が取れない会員様がいらっしゃいます。

会員情報の修正は日本診療放射線技師会ホームページの会員情報システムからできますので、変更が生じた場合はできるだけ早く修正をお願いします。

# 会費納入について

## 納入方法および納入期限について

**鹿児島県診療放射線技師会会費は平成 25 年度より日本診療放射線技師会会費との合算請求となりました。**

県単独での会費徴収は行っておりません、日本診療放射線技師会会費の収納代行業者である SMBC ファイナンスサービスより払込票が発送されています。

請求書には SMBC ファイナンスと記されておりますが、本会からの請求となります。

日本診療放射線技師会より会費請求書が届いていない方はご一報ください。

職場でまとめてお支払いを希望される場合や払込票を紛失された会員の方はお手数をおかけいたしますが、日本診療放射線技師会事務局までご連絡ください。

会費納入期限は日本診療放射線技師会および鹿児島県診療放射線技師会会費納入規定により当該年度の 9 月 30 日までとなっています。

但し、新入会および年度途中の入会者についてはこの限りではありません。

お問い合わせ先: 鹿児島大学病院 中島まで      電話: 099(275)5664

## 漏洩線量測定事業のご案内

(公社)鹿児島県診療放射線技師会では、放射線を取扱う専門職として資格を有する団体の一般社会への利益還元事業と公益事業の一環として、放射線安全管理の啓蒙を兼ねた環境測定事業を行っています。基本的には、該当施設会員と放射線管理士部会からの派遣会員の2名で実施する予定です。

料金は、会員がいる施設が、基本料金2万円+測定料1方向5千円(その他の施設は基本料金4万円、ただし、歯科医院等の場合は、基本料金は2万円)となっています。

測定希望の施設がありましたら、見積等をご提示しますので、下記へお問い合わせ下さい。

(公社)鹿児島県診療放射線技師会事務局 鹿児島大学病院 臨床技術部放射線部門  
(099-275-5664) 放射線管理士部会 担当 藤崎

## 理事・監事

役職名	氏名	勤務先施設名	勤務先電話番号
会長	池田 睦	鹿児島大学病院	099-275-5664
副会長	新村 栄次	今給黎総合病院	099-226-2211
監事	西元 広男		
監事	鮫嶋 宗俊		
表彰理事	大久保 光男	川内市医師会立市民病院	0996-22-1111
学術理事	藤崎 拓郎	鹿児島大学病院	099-275-5664
学術理事	石本 裕二	公益財団法人福岡県すこやか健康事業団総合健診センター	0942-35-8195
財務理事	中島 祐二	鹿児島大学病院	099-275-5664
福利厚生理事	原口 誠	JA厚生連健康管理センター	099-256-1133
編集・広報理事	平田 勝	鹿児島市医師会病院	099-254-1125
組織理事	佐藤 洋一	鹿児島市立病院	099-224-2101
総務理事	藤坂 智史	鹿児島大学病院	099-275-5664
鹿児島地域理事	坂下 周一郎	鹿児島大学病院	099-275-5664
北薩地域理事	岡野 三男	丸田病院	0996-32-2263
霧島・始良地域理事	平賀 真雄	霧島市立医師会医療センター	0995-42-1171
大隅地域理事	島見 末治	垂水市立医療センター垂水中央病院	0994-32-5211
大島地域理事	田畑 一文	鹿児島県立大島病院	0997-52-3611
南薩地域理事	野中 康博	医療法人 菊野会 菊野病院	0993-56-1135
理事	瀬戸 和人	鹿児島市立病院	099-224-2101
理事	齊藤 二郎	鹿児島市医師会病院	099-254-1125
理事	藤崎 誠	鹿児島共済会南風病院	099-226-9111

## 広告掲載一覧(順不同)

会社名	郵便番号	住所	電話番号
安西メディカル株式会社	141-0033	東京都品川区西品川3-6-25	03-3779-1611
バイエル薬品株式会社	892-0847	鹿児島市西千石町11-25 鹿児島フコク生命高見馬場ビル2F	099-805-2536
富士フィルムRIファーマ株式会社 福岡支店	812-0018	福岡市博多区住吉三丁目1番1号 富士フィルム福岡ビル	0992-53-0091
朝日レントゲン工業株式会社 九州営業所	812-0042	福岡市博多区東比恵2丁目19番27号 静代ビル	092-251-7278
株式会社メディソンアコマ西日本販売	812-0065	福岡市東区二又瀬新町13番17号	092-621-0221
GEヘルスケアジャパン株式会社 鹿児島営業所	890-0062	鹿児島県鹿児島市与次郎2丁目4-35 KSC鴨池ビル3F	099-255-0701
南九州電子サービス株式会社 鹿児島営業所	890-0806	宮崎市広島1丁目1番10号	099-253-7397
株式会社 舞研	891-0115	鹿児島市東開町4番94号	099-266-2501
日本メジフィジックス株式会社 鹿児島営業所	892-0842	鹿児島市東千石町2番1号 (芙蓉ビル3F)	099-805-2005
東芝メディカルシステムズ株式会社	892-0844	鹿児島県鹿児島市山之口町1番10号 (鹿児島中央ビルディング)	099-226-7792
第一三共株式会社 鹿児島営業所	892-0847	鹿児島市西千石町17-3 太陽生命鹿児島第二ビル3F	099-219-9171
株式会社ドクターネット	105-0013	東京都港区浜松町2丁目7番1号 第38荒井ビル7階	028-657-8200
株式会社 八郷医療器	890-0114	鹿児島市小松原一丁目29-5	099-268-0010



おもいやりをたしかに



HACHIGOU  
MEDICAL  
INSTRUMENT

株式会社

八郷医療器

〒891-0114 鹿児島市小松原一丁目29-5  
TEL099-268-0010  
FAX099-267-7790



確かな技術で  
より高い安全性をめざして  
医療用リニアック、  
治療計画装置をサポートします

南九州電子サービス株式会社  
<http://www.mkds.jp>

本社 宮崎市広島1丁目1-10 TEL0985-29-8371  
鹿児島 鹿児島市鴨池2丁目15-2 TEL099-253-7397

GE Healthcare

## 世界で最も、 高齢者の笑顔が 輝いている国へ。

高齢者へのやさしさを追求し、  
新たなソリューションを開発しています。

高齢社会を見つめた最適な医療の形が、いま求められています。  
例えば、自宅と医療が密接につながった安心できる仕組みを。  
年齢を重ねることによるリスクを、可能な限り低減できるテクノロジーを。  
高齢者が、幸せで輝かしい人生を送れるような、  
やさしい医療環境をサポートするために、  
GEヘルスケアは皆さまとともに歩みつづけます。

## Silver to Gold.

GEヘルスケア・ジャパン  
カスタマー・コールセンター 0120-202-021 [www.gehealthcare.co.jp](http://www.gehealthcare.co.jp)

healthmagination



GE imagination at work



バッテリー搭載式ポータブルX線装置

# PX-20BT

# Kenko



**PS-B10** 低床ベッド対応の回診用支持器

回診用X線撮影装置

# adore MX-116



画像診断機器・販売サービス 株式会社ケンコー・トキナー メディカルイメージング部製品販売店

株式会社 **メディソンアコマ** 西日本販売

〒812-0065 福岡市東区二又瀬新町13番17号 TEL (092) 621-0221 FAX (092) 621-0225  
<http://www.md-acoma.com/> メール [info@md-acoma.com](mailto:info@md-acoma.com)



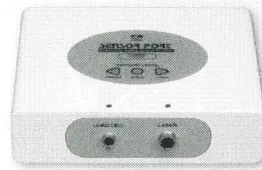
技術、生る、愛づる

## 呼吸同期システム Respiratory Gating System AZ-733V

本装置は呼吸センサーを介して呼吸時の体表の動きを捉え呼吸波形として表示します。得られた呼吸波形により呼吸位相に同期したゲート信号を出力します。高精度外部放射線治療時代において体幹部の呼吸性移動を考慮した治療が要求されています。本装置は外部放射線治療装置と組み合わせ自由呼吸下や呼吸停止下での呼吸同期照射を高次元で可能にします。また本装置とCT装置との組み合わせは治療計画における鮮明な4DCT画像を作成します。



Wave Deck and PC



Sensor Port



Load Cell

安西メディカル株式会社

〒141-0033 東京都品川区西品川3-6-25  
Tel.03-3779-1611 Fax.03-3779-6606

www.anzai-med.co.jp

lopamiron®  
lopamidol

非イオン性尿路・血管造影剤 〈イオパミドール注射液〉

イオパミロン®注

150

300

370

300シリンジ

370シリンジ

処方せん医薬品（注意—医師等の処方せんにより使用すること）

薬価基準収載

■効能・効果、用法・用量、警告・禁忌・原則禁忌を含む  
使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

本剤の商標は イタリアの許諾に基づく

(2011年11月作成)



資料請求先  
バイエル薬品株式会社  
大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001  
http://www.bayer.co.jp/byl

IOP-11-4012



www.buken.co.jp

## 株式会社 舞 研

〒891-0115 鹿児島市東開町4-94 TEL 099-266-2501  
FAX 099-266-2601  
sound,lighting,visual,art

株式会社 熊本舞研 株式会社 宮崎舞研

nihon  
medi+physics




f o r t h e h a p p i n e s s



明日の幸せを願い、「診る」そして「治す」核医学。

私たちは、がんや心臓病、脳血管疾患および認知症などの早期発見に役立つSPECT・PET検査用放射性医薬品や、がん治療用の医療機器、疼痛緩和に有効な治療薬などの創出を通じ、これからも皆様の健康に貢献します。

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号 TEL (03)5634-7006(代)  
<http://www.nmp.co.jp/>

 日本メジフィジックス株式会社

2009年8月作成

**TOSHIBA**  
Leading Innovation >>>



**AIDR 3D**  
integrated

**ONE**  
*Aquilion*<sup>TM</sup>  
VISION EDITION

ADCTは、ついに第2世代へ。

Quantum Vi Detector

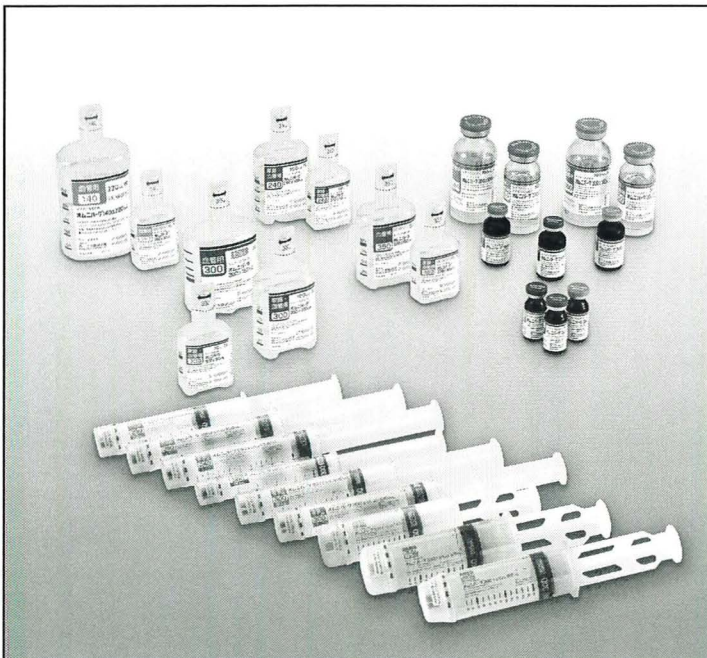
超高速0.275秒回転、780mmワイドボアガントリ  
90kW新開発ジェネレータ、耐遠心力性能強化のX線管球  
新画像再構成ユニット



東芝メディカルシステムズ株式会社

本社 〒324-8550 栃木県大田原市下石上1385番地  
<http://www.toshiba-medical.co.jp>

東芝キャナ Aquilion ONE TSX-301C 認証番号: 224ACBZX00004000



日本薬局方 イオヘキソール注射液(バイアル製剤)  
オムニパーク300注50mL・100mL(尿路・血管用)  
オムニパーク350注50mL(尿路・血管用)  
オムニパーク350注100mL(血管用)

イオヘキソール注(バイアル製剤)

オムニパーク240注20mL(尿路・血管用)  
オムニパーク300注20mL(尿路・血管用)  
オムニパーク350注20mL(尿路・血管用)  
オムニパーク180注10mL(脳槽・脊髄用)  
オムニパーク240注10mL(脳槽・脊髄用)  
オムニパーク300注10mL(脊髄用)

イオヘキソール注(プラスチックボトル製剤)

オムニパーク140注50mL・220mL(血管用)  
オムニパーク240注50mL・100mL(尿路・血管用)  
オムニパーク300注50mL・100mL(尿路・血管用)  
オムニパーク300注150mL(血管用)  
オムニパーク350注50mL(尿路・血管用)  
オムニパーク350注100mL(血管用)

イオヘキソール注

オムニパーク240注シリンジ100mL(尿路・血管・CT用)  
オムニパーク300注シリンジ50mL(尿路・CT用)  
オムニパーク300注シリンジ80mL・100mL(尿路・血管・CT用)  
オムニパーク300注シリンジ110mL・125mL・150mL(CT用)  
オムニパーク350注シリンジ70mL・100mL(血管・CT用)

★効能・効果、用法・用量、警告、禁忌および使用上の注意等の  
詳細につきましては、製品添付文書をご参照ください。

非イオン性造影剤

処方せん医薬品<sup>※</sup> 薬価基準収載



**オムニパーク**<sup>®</sup>  
OMNIPAQUE<sup>®</sup>

※注意—医師等の処方せんにより使用すること



Daiichi-Sankyo

製造販売元(資料請求先)

**第一三共株式会社**

東京都中央区日本橋本町3-5-1

2013年3月作成

# ニーズにあわせて『選べる』遠隔読影サービス

クラウド型遠隔読影ASPサービス

## Virtual-RAD



### 読影は今の先生そのまま

ドクターネットはシステムをご提供するだけ。今までどおりの先生に読影してもらえますので安心。

先生は今のまま。いつも読影してもらえたら……

### 高額な設備投資は不要

クラウド型なので、高価なサーバーの購入は不要。

遠隔画像診断支援サービス

## Tele-RAD



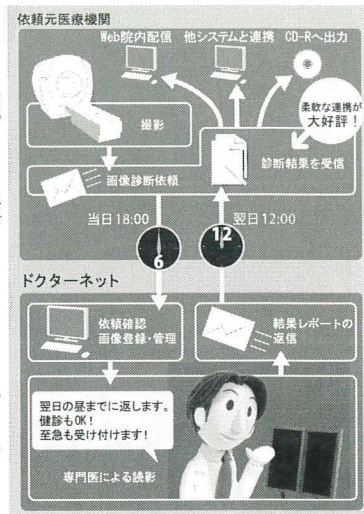
### 国内最大級の放射線科専門医集団が読影

医療機関様からいただいた読影依頼を、240名を超える放射線科医が読影。サブスペシャリティごとの読影で、精度の高い読影レポートをお届けします。

### 翌日12時返却 至急2時間返却

午後6時までにいただいた依頼を翌日正午までに返却。  
至急の依頼は2時間以内に返却。

先生の手が足りない。早くレポートが欲しい……



ドクターネットではご協力いただける放射線技師を募集しています。

▶ 詳細はウェブからお問い合わせください。www.doctor-net.co.jp

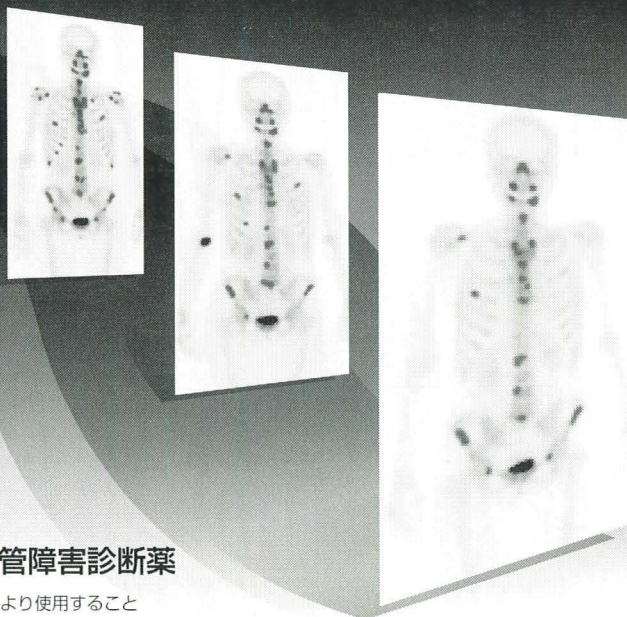


株式会社ドクターネット 医療と人と社会を技術でつなぐ遠隔画像診断のリーディングカンパニー

東京本社 105-0012東京都港区芝大門2丁目5-5 12階 TEL : 03-3459-5665

宇都宮本社 028-657-8200 / 大阪事業所 06-4862-5018 / 福岡事業所 092-409-2760

# FUJIFILM



放射性医薬品 / 骨疾患診断薬・脳腫瘍及び脳血管障害診断薬

処方せん医薬品 注意—医師等の処方せんにより使用すること

## テクネ® MDP 注射液/キット

放薬基：メチレンジホスホン酸テクネチウム (<sup>99m</sup>Tc) 注射液 / 注射液 調製用 [薬価基準収載]

※「効能又は効果」、「用法及び用量」、「使用上の注意」等については添付文書をご参照下さい。

製造販売元

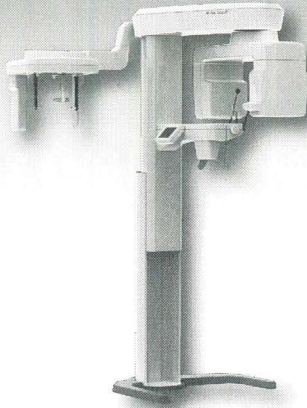
富士フイルム RIFAーマ株式会社

資料請求先：〒104-0031 東京都中央区京橋2-14-1 兼松ビル  
ホームページ：http://fri.fujifilm.co.jp

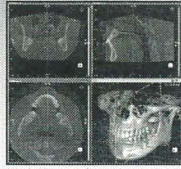
TEL 03(5250)2620



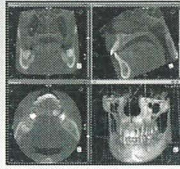
# すべての人に、新しい感動を。



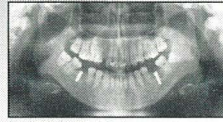
**AUGE SOLIO**  
アーム型X線CT診断装置  
製品番号: 220AABZ0007000



■AUGE SOLIO CT (A-mode)



■AUGE SOLIO CT (I-mode)



■AUGE SOLIO FFDパノラマ



■AUGE SOLIO CMOSセファロ

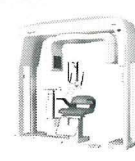
## ニーズに合わせたMORE 3D SERIESのラインナップ



**AUGE**  
アーム型X線CT診断装置  
製品番号: 220AABZ0027000



**AZ3000CT**  
アーム型X線CT診断装置  
製品番号: 220AABZ0034000



**Alphard**  
アーム型X線CT診断装置  
製品番号: 218AABZ0004000

## MORE 3D SERIES 撮影モード

	AUGE SOLIO	AUGE	AZ3000CT	Alphard
CT A-mode	●	●	●	
CT I-mode	●	●	●	●
CT D-mode	●	●	●	●
CT P-mode				●
CT C-mode				●
パノラマ	●	●	●	
セファロ				レイサム
TMJ	●	●	●	
上顎歯	●	●	●	
手根管	●	●		

◎オプションです。

仕様および価格は、改良のため予告なく変更することがあります。

**Asahi** 私たちの「機しき」は、進化のために *Gentility, it is for evolution.*

**朝日レントゲン工業株式会社** URL: <http://www.asahi-xray.co.jp> E-mail: [sales@asahi-xray.co.jp](mailto:sales@asahi-xray.co.jp)

本社: 〒601-8203 京都府京都市南区久世山町376-3 TEL: 075-921-4330 FAX: 075-921-6675  
※ 日本国内の各拠点の詳細につきましては、WEBサイトに掲載しております。

ISO 13485 医療機器品質マネジメントシステム認証取得  
ISO 9001 品質マネジメントシステム認証取得  
ISO 14001 環境マネジメントシステム認証取得





